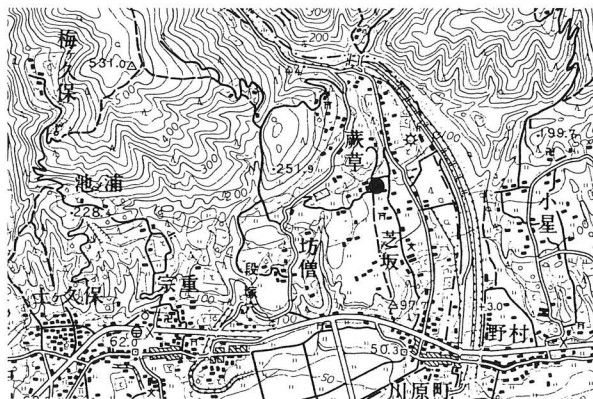


当遺跡は野村谷川を臨む「薬師地区」と、その西側の比高差約20mの上位面にある「芝坂地区」に分けられる。「薬師地区」では縄文時代後期の屋外炉1基の他、調査区北東部で室町時代の集落跡を検出している。当該期の遺構として掘立柱建物10棟以上、土坑215基、柱穴715基などが検出されたが、15世紀代に比定される備前焼播鉢や土師質釜・鉢、14世紀代の備前焼甕などが出土している。

一方、「芝坂地区」ではまとまった集落跡は検出されなかったものの、平安時代の炭窯・鎌倉時代の土師質土器焼成窯などが検出された⁽¹⁹⁾。

(4) ウエノ遺跡 (池田町ウエノ)

吉野川右岸の標高130m台の池田町ウエノに位置するウエノ遺跡は、弥生時代の集落跡とともに、宋銭12枚が出土した柱穴をはじめ、土師質鍋や青磁など室町時代の遺物が出土している。室町期の遺構は後世の削平によって失われているものが多いようであるが⁽²⁰⁾、平安期から中世前半の遺物の出土が伴わないことから、中世後期にかけて再び集落の形成が見られだした可能性があるものと考えたい。



第259図 薬師遺跡位置図



第260図 1 供養地遺跡 2 山田遺跡(II)
3 ウエノ遺跡位置図

本節で取り上げた各遺跡は吉野川中流域から上流域の段丘上に立地する遺跡群であるが、いずれも南北朝期から室町期にかけて次第に安定化が図られることが確認できるものである。

5 その他の中世集落遺跡

ここでは、前節までに記してきたような中世前期の「沖積低地」・中世後期の「洪積台地」に該当しない中世の遺跡を概観する。

(1) 神宮寺遺跡 (上板町神宅)

神宮寺遺跡は上板町神宅字神宮寺の宮ヶ谷川によって形成された扇状地の側縁部に位置する。ここでは13～15世紀にわたる建物群及び石組墓・石塔墓・土坑墓等が検出された。また、山側斜面を削り平坦面を造成した整地層上で礎石をとまなう3間×3間の建物が確かめられたが、南側に1間幅の向拝を付設した構造をもつことと柱穴の1つから68枚の北宋銭を埋納した土師質土器片が出土していることが注目される⁽²¹⁾。

この建物が、この付近に伝承として残る中世段階の「神宮寺」と呼ばれた寺院とどう結びつくのか興味もたれる。

(2) 前田遺跡 (土成町土成)

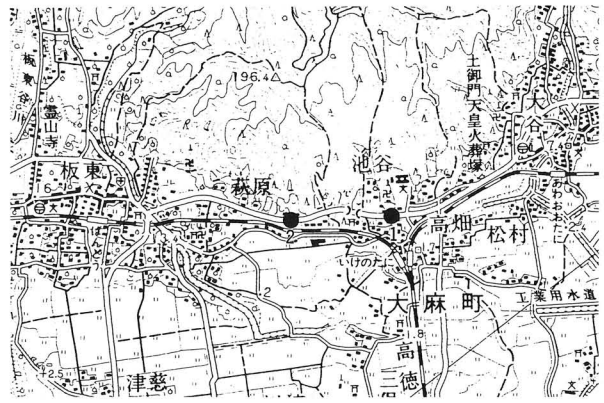
前田遺跡は土成町土成字前田に位置し、宮川内谷川・九頭宇谷川をはじめ、近隣の小河川が形成する県内最大規模の複合扇状地の先頂部に立地する。当遺跡では中世の鍛冶関連の遺構・遺物が注目されるが、縄文時代・弥生時代・平安時代・中世・近世の遺構・遺物の確認できた複合遺跡である。中世に関しては八棟の掘立柱建物や土坑が検出されているが、出土遺物に関しては土師質の杯皿が大部分を占め、これに若干の搬入品が混じるという土器組成である。遺物からの年代観として、東播系須恵質土器のこね鉢が多くを占め備前産播鉢が若干程度であること、輸入磁器も概ね12世紀半ばから13世紀半ばまでのもので占められることから、当遺跡においては、14世紀までにその盛期が過ぎるものと考えられている⁽²²⁾。

(3) 土成前田遺跡 (土成町土成)

土成前田遺跡は土成町の熊谷寺がのる山の南裾に位置し、扇状地の先頂部にあたる。(2)の前田遺跡とはわずかに数10m隔てた距離にある。県道船戸切幡上板線改良工事に伴う調査であるが、調査では旧石器であるサヌカイトの横長剝片を素材としたナイフ型石器からはじまり、縄文時代・弥生時代・平安時代・鎌倉時代の遺物が出土した複合遺跡である。殊に杯蓋・杯身などの須恵器の出土量が多いことに目をひかれるが、遺構としては掘立柱建物跡1棟が検出されたのみである。鎌倉時代のものとしては東播系須恵質土器のこね鉢・備前焼播鉢が出土しており、鎌倉後期の年代観が与えられる。この時期の遺構としては溝1条と若干の土坑等が検出されたにとどまる⁽²³⁾。

(4) 中内遺跡・山の下東遺跡 (鳴門市大麻町)

中内遺跡は鳴門市大麻町池谷に所在し、県道鳴門池田線改良工事に伴って調査されたものである。この地域では、阿讃山脈南麓に萩原墳墓群・宝幢寺古墳群・天河別神社古墳群をはじめとする古墳の群集地域として知られるが、当遺跡はその山裾部の水田地帯に所在する。遺構としては江戸時代初頭の水田跡が検出され、中世に該当するものは検出されなかったが、包含層より中世前期の遺物が出土している。特徴的なこととして、東播系須恵質土器のこね鉢が出土しているのに対し、備前窯系の遺物が出土していないことが指摘できる。このことから考えて、鎌倉時代前半までに1度集落としては途絶えるものと判断したい。



第261図 1 中内遺跡 2 山の下東遺跡位置図

山の下東遺跡は、中内遺跡同様県道鳴門池田線改良工事に伴って調査されたもので、萩原墳墓群の位置する山のすぐ西の山裾に位置する。当遺跡でも明治時代以降に大谷焼陶土採掘のため大きく掘削されていたが、調査区南西端で護岸工事を施した水路と石敷道路を検出している。この水路等は出土した瓦器碗や青磁碗の年代観から鎌倉時代前半の時期が考えられている⁽²⁴⁾。

(5) 田上遺跡 (II) (脇町西田上)

脇町西田上の吉野川北岸の標高約100mの段丘上に位置する田上遺跡 (II) は岩倉城本丸跡が所在する

尾根上に立地する。平成6年度の調査では600基近い柱穴や40基に余る土坑の他、犬走り等が検出された。また、7年度の調査でも600基以上の柱穴や130基の土坑、炭窯などが検出された。出土した遺物としては岩倉城が築城されたと考えられる時期を遡る12世紀から13世紀代前半にかけてのものから17世紀代の時代幅が考えられている。讃岐の西村窯須恵器碗や東播系須恵質鉢、青磁・白磁、備前や常滑のほか伊万里や唐津の国内産陶磁器が見られるが⁽²⁵⁾、柱穴群の主体的な時期等については今後の整理作業の中で検討していく必要がある。

(6) 原遺跡(Ⅱ)(脇町北庄)

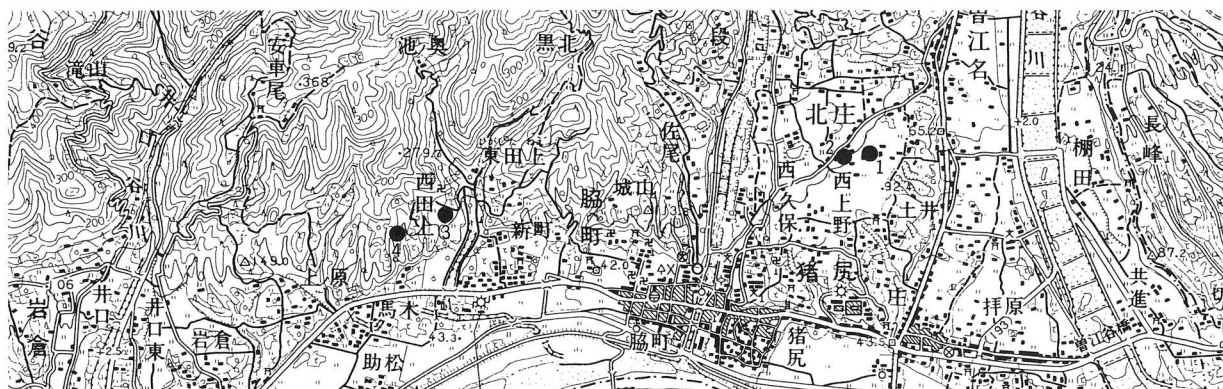
原遺跡は脇町北庄字原の曾江谷川右岸、標高約100mの段丘上に位置する。遺構としては切り合い関係にある掘立柱建物跡や柵列等が検出されているが、緑釉陶器片や黒色土器片・東播系須恵質土器片等の出土遺物から考慮して平安末期から鎌倉期前半の所産と思われる⁽²⁶⁾。しかし、その前後の時期に該当する遺物が検出されていないことや、出土遺物そのものも細片が多く量そのものも少ないことから考えて、まだこの洪積台地上の安定化は図れなかったものと判断される。

(7) 鶴射遺跡(脇町北庄)

鶴射遺跡は脇町北庄字鶴射の標高100m前後の段丘上に位置する。段丘の東は曾江谷川が、西側は大谷川が開析谷を形成しており、南側の吉野川沖積地との比高差も約40mを測る。黒色土器碗や摂津型土釜が出土しており、検出された2棟の掘立柱建物跡の年代観として平安時代中期の時期が与えられるが、出土する遺物も少量であることや前後する時期の遺物が見られないことなどから考えて、原遺跡(Ⅱ)同様短期間で消滅したものであろう⁽²⁷⁾。

(8) 山田遺跡(Ⅱ)(池田町ヤマダ)

池田町ヤマダの山田遺跡(Ⅱ)は、吉野川右岸の標高110m台の段丘上に位置する。調査では鎌倉時代から室町時代にかけての集石墓・集石遺構・柱穴群・溝状遺構などが検出されている⁽²⁸⁾。出土している瓦質土器類や備前産陶器の年代観から14世紀代に主となる時期の設定が考えられるが、詳細は今後の整理作業の中で明らかにされるであろう。



第262図 1 原遺跡(Ⅱ) 2 鶴射遺跡 3 田上遺跡(Ⅱ)
4 田上遺跡(Ⅲ)位置図

以上、集落の立地等を考慮しつつ徳島県内の中世集落遺跡の概要を記してきたが、包含層から中世の遺物が出土している事例も含めて、平成4年3月以前の分については、すでに福家清司「遺跡が語る阿波中世の流通」⁽²⁹⁾の中で「徳島県内の中世遺跡等調査一覧表」として整理されているので参照されたい。

なお、その後の調査で検出された中世の遺跡のうち、小稿で取り上げなかったものに、近世の磁器とともに備前産陶器・青磁片等が出土した脇町字西田上の田上遺跡(Ⅲ)⁽³⁰⁾や山田遺跡(Ⅱ)の東500mの地点にあり、中世後期の集石墓4基を検出している供養地遺跡などがある⁽³¹⁾。

6 おわりに

小稿では徳島県内の中世集落遺跡の調査事例を概観したが、中世初期の段階では谷あいの迫や谷戸に小集落が形成され、鎌倉期にいたると次第に沖積低地に集村化した集落景観が出現すること、さらに南北朝期から室町期になると洪積台地上にも安定化した集落が形成されはじめることなどが確認できた。

このような現象は、先の2本の拙稿でも指摘したように文献史料からも確認できることである。また、近年前川要氏が北陸地方の中世集落の立地等を検討されているが、そこでも同様のことが述べられており⁽³²⁾、概ねこのように考えて誤りないものと思われる。

なお、徳島県内では平成10年の明石海峡大橋の開通に向けて急速に高速道路網の整備が進められており、今後調査事例の増加や整理作業の進捗によって資料の増加が見込まれるが、それらについては今後の課題として、取り敢えず現在までに確認できた事例に基づいての概観であったことを述べて擱筆したい。

注

- (1) 『ヒストリア』138号 1993
- (2) 『鳴門史学』10集 1996
- (3) 坪之内徹「中世における荘園の開発と考古学上の問題点」『日本史研究』310号 1988、『奈良県史跡名勝天然記念物調査報告第49冊 矢部遺跡』奈良県立橿原考古学研究所 1986、江浦 洋「条里制施行の諸段階とその背景」『大阪文化財研究』創刊号 1991
- (4) 寺沢薫「大和における中世開発の一様相」『条里制研究』7号 1991、山川 均「条里制と村落」『歴史評論』538号 1995
- (5) 戸田芳美「中世初期農業の一特質」『日本領主制成立史の研究』岩波書店 1967 初出は1959
- (6) 永原慶二「荘園制支配と中世村落」『日本中世社会構造の研究』岩波書店 1973 初出は1962
- (7) 永原慶二「中世村落の構造と領主制」前掲注(6)永原著書 岩波書店 初出は1962
- (8) 段木一行「武蔵国における中世村落形態—谷戸集落の成立と展開—」『学芸研究紀要』1集 1984、後に同氏著『中世村落構造の研究』吉川弘文館 1986 所収
- (9) 阿部里司「古代人の生活遺構」『阿南市史 第1巻』1987
- (10) 徳島県埋蔵文化財センター辻佳伸氏の御教示による
- (11) 『おおぎ学園社会参加総合交流センター新築工事に伴う埋蔵文化財発掘調査実績報告書』徳島県埋蔵文化財センター 1995、石尾和仁「広田遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター 埋蔵文化財速報展平成7年度調査成果報告会資料』1996
- (12) 早瀬隆人・山下知之・計盛真一朗他「黒谷川宮ノ前遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.2 1991。

なお、近々に正式に報告書が刊行されるので詳細はそれによらねたい。

- (13) 石川直章他「古城遺跡C」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.2 1991
- (14) 『阿波国府跡第1次調査概報』～『同第10次調査概報』徳島市教育委員会 1983～1992、『阿波国分寺跡第1次調査概報』～『同第3次調査概報』徳島市教育委員会 1979～1981、天羽利夫・一山典「阿波 一 国分寺」及び同「三 国府」角田文衛編『新修国分寺の研究 第五卷上』吉川弘文館 1987
- (15) 『矢野銅鐸』徳島県埋蔵文化財センター 1993、氏家敏之「矢野遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.4 1993、栗林誠治「矢野遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.5 1994
- (16) 『矢野遺跡発掘調査概報』徳島市埋蔵文化財発掘調査委員会 1991
- (17) 藤川智之「上喜来蛭子～中佐古遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.2 1991、久保脇美朗「吉野川中流域における中世遺跡について」『徳島県埋蔵文化財センター研究紀要 真朱』創刊号 1992
- (18) 久保脇美朗「日吉～金清遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.1 1990、前掲注(17)久保脇論文
- (19) 「薬師遺跡(薬師地区・芝坂地区)実績報告」『四国縦貫道関連埋蔵文化財業務実績報告書 平成7年度』徳島県埋蔵文化財センター
- (20) 『池田警察署庁舎建て替え工事に伴う埋蔵文化財発掘調査実績報告書 平成6年度』徳島県教育委員会 1995、『池田警察署庁舎新築事業関連に伴う埋蔵文化財発掘調査実績報告書 平成7年度』徳島県埋蔵文化財センター 1995
- (21) 石川直章・早瀬隆人他「神宮寺遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.3 1992、平山義朗「神宮寺遺跡」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.4 1993
- (22) 辻佳伸『前田遺跡』徳島県埋蔵文化財センター 1993
- (23) 福家清司『土成前田遺跡』徳島県教育委員会 1989
- (24) 菅原康夫他『中内遺跡』徳島県教育委員会 1981
- (25) 「田上遺跡(Ⅱ) 東部地区実績報告書」『四国縦貫道関連埋蔵文化財発掘調査業務実績報告書 平成6年度』徳島県埋蔵文化財センター、「田上Ⅱ遺跡」『四国縦貫道関連埋蔵文化財発掘調査業務実績報告書 平成7年度』徳島県埋蔵文化財センター
- (26) 佐野耕市「原遺跡(Ⅱ)」『徳島県埋蔵文化財センター年報』Vol.5 1994
- (27) 「鶴射遺跡実績報告書」『四国縦貫道関連埋蔵文化財発掘調査業務実績報告書 平成6年度』徳島県埋蔵文化財センター
- (28) 「山田遺跡(Ⅱ) 実績報告書」『四国縦貫道関連埋蔵文化財発掘調査事業実績報告書 平成7年度』徳島県埋蔵文化財センター
- (29) 福家清司「遺跡が語る阿波中世の流通」『鳴門史学』7集 1993
- (30) 「田上遺跡(Ⅲ) 実績報告書」『四国縦貫道関連埋蔵文化財発掘調査業務実績報告書 平成7年度』徳島県埋蔵文化財センター
- (31) 「供養地遺跡実績報告書」『四国縦貫道関連埋蔵文化財発掘調査業務実績報告書 平成7年度』徳島県埋蔵文化財センター
- (32) 前川 要「中世の家族と住居」白石太一郎他編『考古学による日本歴史15 家族と住まい』雄山閣 1996
(石尾 和仁)

第3表 検出遺構一覧表 掘立柱建物跡

遺構内	地 区	規 模				棟方向	出 土 遺 物	備 考
		間数	梁間(m)	桁行(m)	面積(m ²)			
SA3001	A 区	1×1	2.4	2.1	5.04	N-4°-E	土師質杯	各柱穴に根石を置く。
SA3002	A 区	1×1	2.3	2.4	5.52	N-14°-E	土師質杯	2基の柱穴に根石を置く。
SA3003	A 区	3×1	2.3	5.8	13.34	N-6°-E	土師質杯・皿・椀 瓦質火鉢、陶器(常滑)	各柱穴に根石を置く。
SA3004	A 区	2×1	2.1	4.2	8.82	N-5°-E	土師質椀・鍋・羽釜	各柱穴に根石を置く。
SA3005	B 区	2×2	4.4	4.2	18.48	N-4°-E	土師質杯・皿・椀 瓦器椀、青磁碗 陶器(常滑)	各柱穴に根石を置く。
SA3006	B 区	2×2	4.4	4.3	18.92	N-4°-E	土師質杯、瓦器椀	各柱穴に根石を置く。
SA3007	B 区	2×4	6.2	8.5	52.70	N-3°-E	土師質杯・皿	柱穴に2段の根石を置く。 束柱の存在。 一部礎石。
SA3008	C 区	不明	2.1	—	不明	—		南辺一部検出。 1基の柱穴に根石置く。
SA3009	C 区	1×1	2.1	3.1	6.51	N-4°-E		2基の柱穴に根石を置く。
SA3010	C 区	3×1	2.9	6.6	19.14	N-4°-E		2基の柱穴に根石を置く。
SA3011	C 区	1×1	1.7	3.2	5.44	N-10°-E		
SA3012	D 区	2×1	2.0	4.2	8.40	N-20°-E		
SA3013	D～E区	2×1	2.2	4.4	9.68	N-19°-E		
SA3014	E 区	2×1	2.5	4.6	11.50	N-24°-E		

第4表 検出遺構一覧表 溝(鎌倉)

(単位cm)

遺構名	地 区	延 長	幅	深 さ	出 土 遺 物
SD3001	B区 B～C-7～8	618	170	76	土師質杯・皿・椀・鍋・高台付杯、瓦質椀・火鉢、瓦器皿・椀、須恵器甕、須恵質こね鉢
SD3002	B区 F-7	(171)	(49)	25	瓦器皿、青磁
SD3003	A区 B-5～6	231	58	29	土師質杯・皿
SD3004	A区 B-2	170	58	14	土師質杯
SD3005	A区 B～E-2～4	418	102～241	37	土師質杯・皿、須恵質こね鉢、陶器播鉢、白磁碗、鉄鍋、鉄釘、土錘
SD3006	A区 C-2～3	600	165～230	63	土師質杯・皿・椀・土錘、瓦器椀、鉄釘
SD3007	A区 B-4	308	105～210	10	
SD3008	A区 C～D-2～3	600	128～218	20～42	土師質杯・皿・土錘、鉄釘
SD3009	A区 B～C-3～5	1106	76～112	10～24	土師質杯・土錘
SD3010	A区 D～E-4	288	25～54	24～40	土師質皿
SD3011	A区 E-4	162	93～132	38	
SD3012	A区 E-4～5	166	113～138	31～37	土師質杯、瓦質羽釜、須恵質こね鉢

第5表 検出遺構一覧表 溝(鎌倉)

(単位cm)

遺構名	地 区	延 長	幅	深 さ	出 土 遺 物
SD3013	A区 D-4~5	354	78~160	13~49	土師質杯・皿、瓦器椀、鉄製品
SD3014	A区 D-6	103	32~47	17	
SD3015	C、D区 A~C-19~20	(1263)	54~68	—	
SD3016	C区 D~E-11~13	(1577)	159~228	11	土師質杯・椀・鍋・土錘、瓦質羽釜、鉄釘
SD3017	C区 E-11	357	16~26	—	
SD3018	C区 E~D-13~14	(970)	96~146	61	土師質杯・皿・椀・鍋・羽釜・土錘、瓦器椀 瓦質鍋・羽釜、陶器甕、銅銭
SD3019	C区 C~E-16~18	(2319)	33~442	95	土師質杯・土錘、須恵質こね鉢・椀・甕、青磁椀、瓦、ハケ、漆椀、刀形、硯蓋、板塔婆
SD3020	C区 C~E-14~16	(1484)	444~550	105	土師質杯・皿・椀・鍋・羽釜・土錘、瓦質羽釜、白磁皿、 青磁碗、串状木製品、鉄製品
SD3021	C区 A~C-18~19	1290	80~129	20~51	
SD3022	C区 B~C-18	496	31~51	8	
SD3023	C区 E~D-18	215	26~36	24	
SD3024	C区 C~E-18~19	(1221)	26~36	23~32	須恵質こね鉢
SD3025	D区 B~C-23~24	609	20~38	9	
SD3026	D区 C~D-20~21	470	97~126	36~58	瓦質搦鉢、須恵質こね鉢
SD3027	D区 C-21	145	51~56	26	
SD3028	F区 A~C-31~32	(745)	(610)~(624)	147	瓦質鍋、土師質鍋、陶器搦鉢・甕・盤
SD3029	F区 B~C-37~38	(256)	121~174	25	
SD3030	F区 B~C-34~35	542	116~199	69	土師器椀、陶器甕
SD3031	G区 B-38~39	287	84~119	40	陶器甕
SD3032	G区 B-39~40	280	140	32	瓦器椀、須恵質こね鉢
SD3033	G区 B-38~39	363	131~169	65	土師質皿、土師器椀、瓦質鍋、青磁碗
SD3034	G区 D~E-40	570	66~91	24	

第6表 検出遺構一覧表 溝(室町)

(単位cm)

遺構名	地 区	延 長	幅	深 さ	出 土 遺 物
SD2001	D、E区 A~E-25~29	(3450)	190~251	40	搦鉢、土錘、石斧、土師質杯
SD2002	D区 A~B-23~24	(900)	28~48	8	
SD2003	D、E区 A~E-19~21	(782)	22~23	49	
SD2004	C~E区 A~D-19~21	(2030)	98~168	13	青磁碗、白磁皿
SD2005	C~E区 A~E-17~20	(2450)	188~400	97	土師質杯・皿、瓦質火鉢、陶器搦鉢・壺・こね鉢、白磁皿、 青磁碗・皿、曲物、土錘
SD2006	C区 E~F-18~19	(410)	20~45	—	土錘
SD2007	C、D区 C~F-17~20	(920)	91~155	25~50	土師器椀、青磁碗、陶器甕
SD2008	C区 E~F-11~14	(1175)	65~98	15	土錘
SD2009	C区 E-11~12	568	16~28	4	
SD2010	C区 E~F-11~12	(639)	41~91	9	土師質鍋、土錘
SD2011	D区 A~D-25~28	(1862)	(125)~(218)	34	搦鉢
SD2012	E区 E-27~28	490	70~90	10	
SD2013	E区 D-27	420	75~90	12	
SD2014	G区 B~C-38~39	940	55~100	9~19	

第7表 検出遺構一覧表 井戸（鎌倉）

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SE3001	B区 E～F-9	357	172	80	土師質杯・皿、土錘
SE3002	A区 E-2	360	220	123	土師質杯・皿、青磁碗、土錘
SE3003	F区 E-37	167	151	171	

第8表 検出遺構一覧表 井戸（室町）

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SE2001	B-12	(350)	(300)	110	柄杓の底板片

第9表 検出遺構一覧表 土坑（鎌倉）

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SK3001	B区 B-9～10	70	60	12	土師質杯・碗、瓦器皿、土錘、青磁碗、鉄滓
SK3002	B区 B-9	(100)	(78)	(21)	土師質杯・皿・碗・土錘、陶器碗、瓦質盤等
SK3003	B区 B-9	(62)	(33)	(33)	土師質杯・皿・碗、瓦器碗、青磁碗
SK3004	B区 B-9	(146)	(111)	(24)	土師質杯・碗・瓦器碗、青磁碗
SK3005	B区 B-8～9	(135)	(106)	(19)	土師質杯・皿、土師器碗、陶器碗、白磁皿、青磁碗、鉄釘
SK3006	B区 B-8	76	74	18	土師質杯・皿、土師器碗、陶器碗、瓦器碗、須恵質碗、白磁皿
SK3007	B区 B-9～10	(96)	(52)	9	
SK3008	B区 B-9	122	63	21	土師質杯
SK3009	B区 B-8～9	77	72	24	土師質杯
SK3010	B区 B-8	(80)	(62)	39	
SK3011	B区 B-7	205	72	40	土師質皿・土錘、須恵質こね鉢、鉄釘
SK3012	B区 B-7	(190)	(66)	24	瓦器皿、須恵質こね鉢、鉄釘
SK3013	B区 B-8	113	85	36	
SK3014	B区 B-6～7	(105)	(49)	19	土師質杯・土錘、青磁碗
SK3015	A区 B-6～7	245	92	56	土師質杯・皿
SK3016	B区 B-6～7	169	66	34	土師質碗・鍋、甕、陶器甕、白磁皿、土錘
SK3017	B区 C-7～8	84	69	41	土師質皿
SK3018	B区 C-7	178	70	26	土師質杯・碗
SK3019	B区 C-7	176	97	46	土師質杯・皿、青磁碗、陶器甕、土錘
SK3020	B区 C～D-7	188	89	22	石鍋、石製品
SK3021	A区 C～D-6～7	89	82	22	土師質杯・皿
SK3022	B区 B～C-8	42	39	23	土錘
SK3023	B区 C-8	68	67	17	土師質杯・碗、瓦器碗、陶器甕、土錘
SK3024	B区 C-8	84	68	61	
SK3025	B区 C-8	112	74	14	土師質杯・碗・皿
SK3026	B区 C-8	138	110	61	土師質杯・皿・碗・鍋、瓦器皿、青磁碗等
SK3027	B区 D-9	104	104	45	
SK3028	B区 D-9	82	79	65	
SK3029	B区 D-8	101	58	22	
SK3030	B区 C～D-8	73	46	12	土師質杯・皿

第10表 検出遺構一覧表 土坑(鎌倉)

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SK3031	B区 C~D-8	91	65	41	土師質杯
SK3032	B区 D-7	142	67	18	土師質杯・皿・椀、鉄釘
SK3033	B区 D-8	97	57	16	
SK3034	B区 D-7	97	57	39	土師質杯
SK3035	B区 D-7	98	56	54	土師質杯・皿、瓦器椀、瓦質土錘
SK3036	B区 D-6	95	53	34	
SK3037	B区 D-6	82	61	28	土錘
SK3038	B区 E-7	125	98	48	瓦器椀、鉄滓
SK3039	B区 E-7	132	79	19	土師質杯、土錘、鉄滓
SK3040	B区 E-7	100	66	17	土師質杯
SK3041	B区 E~F-7	72	58	19	土師質杯・土錘
SK3042	B区 E-7~8	106	52	30	
SK3043	B区 E~F-7	93	76	32	土師質杯・皿・椀・土錘、鉄釘、鉄滓
SK3044	B区 E~F-7	163	100	17	土師質椀、鉄滓
SK3045	B区 F-7	88	65	11	
SK3046	B区 E-8	247	77	23	鉄滓
SK3047	B区 E-8	182	(88)	25	鉄釘、鉄滓
SK3048	B区 E-8	94	72	23	鉄滓
SK3049	B区 E-9	137	67	14	土師質皿、鉄滓
SK3050	B区 E-8	(67)	(42)	22	
SK3051	B区 E-10	85	68	27	
SK3052	B区 E-10	116	97	55	
SK3053	B区 E-10	70	57	—	
SK3054	B区 C-7	79	53	26	土師質杯
SK3055	B区 B-6	172	125	24	土師質杯・土錘、瓦器椀、銅銭、鉄釘
SK3056	B区 B-6	190	98	23	土師質皿、瓦器皿・こね鉢、土錘、鉄釘
SK3057	A区 B-5	66	53	30	土師質鍋
SK3058	A区 B-5	112	54	34	
SK3059	A区 B-4~5	80	60	13	
SK3060	A区 B-4~5	88	56	14	
SK3061	A区 B-4	68	(31)	34	土師質皿
SK3062	A区 B-2	88	25	16	
SK3063	A区 C-6	102	80	52	土師質皿
SK3064	A区 D~E-6	307	90	14	土師質杯・皿・椀・鍋、瓦器椀、青磁碗
SK3065	A区 D-6	141	135	31	土師質杯・皿・土錘、瓦器椀、陶器甕
SK3066	A区 D~E-5~6	87	65	23	
SK3067	A区 D-5	85	42	14	
SK3068	A区 D-5	76	62	21	陶器甕
SK3069	A区 D-5	228	115	17	土師質杯・皿、瓦器椀、須恵質こね鉢、銅銭等
SK3070	A区 D-5	(132)	72	40	
SK3071	A区 D-5	241	99	27	土師質杯・皿等

第11表 検出遺構一覧表 土坑(鎌倉)

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SK3072	A区 D~E-4~5	164	100	25	土師質杯・皿等
SK3073	A区 D-4~5	99	70	61	
SK3074	A区 D-4~5	240	103	26	土師質杯・皿等
SK3075	A区 D-4~5	110	62	36	土師質杯
SK3076	A区 D-4	99	66	26	
SK3077	A区 D-4	146	80	24	土師質羽釜、須恵質こね鉢
SK3078	A区 E-6	240	76	8	土師質杯・皿、青磁碗、砥石、土錘
SK3079	A区 E-5~6	172	52	47	土師質杯・椀
SK3080	A区 E-6	93	64	57	土師質杯
SK3081	A区 E-5~6	110	(56)	42	青磁碗、須恵質こね鉢
SK3082	A区 E-5	138	(68)	34	土師質鍋、瓦質羽釜
SK3083	A区 E-5	86	66	21	
SK3084	A区 E-4	106	82	21	土師質杯・皿・椀
SK3085	A区 E-3	98	64	36	
SK3086	A区 E-3	98	(28)	68	
SK3087	A区 E-3	86	67	19	
SK3088	A区 D-2	124	85	20	
SK3089	A区 E-2	219	825	32	土師質杯・皿・椀・土錘
SK3090	A区 D~6	(112)	93	43	
SK3091	A区 C~D-6	(151)	(38)	14	土師質皿、土錘
SK3092	A区 C~E-6	79	32	14	
SK3093	C区 C~B-12	95	91	45	
SK3094	C区 C-11	168	64	32	
SK3095	C区 C~D-10	(92)	(76)	7	土錘
SK3096	C区 D-11	93	68	50	
SK3097	C区 D-11	111	80	64	
SK3098	C区 D-11~12	124	88	29	
SK3099	C区 D~E-12	128	77	20	土錘
SK3100	C区 D-12	(93)	(32)	—	
SK3101	C区 E-11	149	39	28	土師質鍋等
SK3102	C区 E-12~13	146	84	18	土師質椀、瓦器椀、土錘
SK3103	C区 E-13	(138)	58	25	瓦器椀
SK3104	C区 E-14	133	41	19	
SK3105	C区 D-14~15	116	45	9	
SK3106	C区 C-17~18	164	85	16	
SK3107	C区 B-18	73	56	103	
SK3108	C区 B-18	167	82	49	
SK3109	C区 E-18	(142)	125	76	土師質皿・鍋
SK3110	C区 F-18	92	(75)	20	
SK3111	C区 C-12	(80)	80	36	土錘
SK3112	D区 B-21~22	196	120	36	瓦器椀

第12表 検出遺構一覧表 土坑 (鎌倉)

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SK3113	D区 B-22	113	88	11	
SK3114	D区 C-22	166	60	18	鉄釘
SK3115	D区 A-23	200	(76)	17	
SK3116	D区 C~D-21	105	74	29	
SK3117	D区 C-22	114	73	18	
SK3118	C区 D-17	(293)	187	8	
SK3119	F区 B-35~36	900	590	45	土師質杯・皿・土師質椀、須恵質こね鉢・甕等
SK3120	F区 B-35	(183)	117	33	土師質皿、土師質椀
SK3121	F区 B-35	209	148	27	
SK3122	F区 B-36	127	51	—	
SK3123	F区 B-37	125	80	22	鉄滓
SK3124	F区 B-38	(42)	50	13	
SK3125	F区 C-34	124	42	17	
SK3126	F区 C-35	111	55	11	
SK3127	F区 B-35	83	61	17	
SK3128	F区 C-36	133	99	15	
SK3129	F区 B-37	109	93	9	
SK3130	G区 B-38	82	68	17	土師質杯、陶器擂鉢
SK3131	G区 B-38	(82)	(68)	17	土師質鍋
SK3132	G区 B~C-40	130	115	32	銅製仏具
SK3133	G区 C-40	125	67	33	土師質杯、土師質椀、砥石
SK3134	G区 C-40	91	55	23	
SK3135	G区 C-40	90	68	12	
SK3136	G区 C-40	68	(28)	14	
SK3137	G区 C-40~41	58	(29)	10	
SK3138	G区 C~D-40	68	61	9	
SK3139	G区 D-40	(46)	80	20	土師質椀、土錘
SK3140	G区 C-38	135	72	15	
SK3141	G区 C-38	105	50	6	
SK3142	G区 C-38	175	65	18	土師質羽釜
SK3143	G区 B-39	179	65	(24)	
SK3144	G区 D~E-38	105	70	24	
SK3145	G区 B-39	(174)	65	32	

第13表 検出遺構一覧表 土坑 (室町)

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SK2001	C区 C~E-17	95	55	9	
SK2002	C区 C-19	(75)	38	—	
SK2003	C区 E~17-18	(205)	175	56	
SK2004	E区 D~E-25~26	235	170	34	
SK2005	E区 D~E-28	75	25	8	

第14表 検出遺構一覧表 不明遺構（鎌倉）

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SX3001	B区 B-7	(197)	(113)	25	土師質椀
SX3002	A区 D-5~6	394	171	28	土師質杯、皿、陶器甕、土錘
SX3003	A区 E-4~5	472	228	25	土師質椀、土錘、白磁碗
SX3004	A区 C~D-5	389	90	26	土師質杯・皿、青磁碗
SX3005	D区 B~C-22~23	(659)	264~293	(24~27)	土師質椀、土錘
SX3006	F区 C~E-33~34	985	845	43	
SX3007	F区 D-34	151	69	9	
SX3008	F区 E-33	(210)	182	12	
SX3009	F区 C~D-35	282	53~146	38	
SX3010	B区 E~F-9	(455)	185~280		

第15表 検出遺構一覧表 不明遺構（室町）

(単位cm)

遺構名	地 区	長 軸	短 軸	深 さ	出 土 遺 物
SX2001	D区 C-19	135	110	35	
SX2002	E区 E-24	(1580)	1860	16~26	

第16表 検出遺構一覧表 自然流路

(単位cm)

遺構名	地 区	延 長	幅	深 さ	出 土 遺 物
SR3001	G区	(2100)	(2700)	162	土師質土器、土師質椀

第17表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (1)

番号	器 種	法量 (cm)	形 態 の 特 徴	成 形・技 法	胎 土	色 調	備 考
1	土師質杯	口径 11.6 器高 3.1 底径 7.25	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後粗いナデ。内外面やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
2	土師質杯	底径 6.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部外面やや内彎し凹む。	底部静止糸切り後やや丁寧なナデ。底部内面やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
3	土師質杯	底径 8.25	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。内外面丁寧なナデ。	精良。	にぶい橙色	
4	土師質高台付皿	底径 6.4	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。内面やや丁寧なナデ。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。底部高台状に厚く突出。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
5	土師質皿	口径 6.3 器高 1.15 底径 5.35	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
6	土師質高台付皿	底径 5.2	底部は厚く、底部内面はやや凹む。	底部回転糸切り後丁寧なヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
7	土師質高台付皿	底径 4.5	底部よりやや内彎気味に立ち上がり、短い口縁部有り内面はやや凹み、中心部ややもり上がる。底部分厚く高台状に突出する。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
8	土師質高台付皿	底径 5.35	底部よりやや内彎気味に立ち上がり、短い口縁部が付く。底部は厚く高台状に突出し、底部内面はやや凹む。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	

第18表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (2)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
9	土師質高台付皿	底径 5.05	底部より内彎気味に立ち上がる。底部は厚く高台状に突出する。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
10	土師質碗	口径 10.7 器高 3.85 底径 3.5	底部より体部にかけてやや内彎しながら立ち上がり、中位より口縁部にかけてやや直線的に立ち上がる。中位より口縁部にかけてわずかに肥厚し、口縁端部はやや丸い。	底部はり付け高台。高台部は丁寧な仕上がりに。	砂粒を多く含む。	灰白色	
11	土師質碗	口径 11.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	内外面とも丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
12	土師質碗	口径 11.0	口縁端部はやや尖る。底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。	内外面とも丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
13	土師質碗	口径 11.8	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。	内外面とも丁寧なナデ。	精良。	灰白色	
14	瓦質火鉢	—	体部はややゆるやかに内彎し、口縁端部は平坦。	体部外面に菊花紋を施す。	微砂粒を多く含む。	灰色	
15	陶器	—	体部小片。	体部外面に格子目状の叩きを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
16	陶器	—	体部小片。	体部外面に格子目状の叩きを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
17	陶器	—	体部やや内彎。	体部外面に格子目状の叩きを施す。体部内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
18	陶器	—	体部やや内彎。	体部外面に格子目状の叩きを施す。内外面にユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
19	土師質碗	口径 11.3	体部は口縁部にかけて内彎する。口縁端部は尖る。体部外面上部に弱い稜あり。器壁全体にやや薄い。	体部、口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
20	土師質鍋	口径 33.4	「く」の字状口縁。口縁端部はわずかに肥厚し端面を平坦に仕上げる。	内面全体ヨコ方向のハケ目。口縁部の一部と体部の外面にユビオサエ後、縦方向のハケ目。	微砂粒を多く含む。	灰褐色	外面に煤付着
21	土師質羽釜	口径 20.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、鐙部水平方向に張り出す。口縁端部は平坦。	口縁部、鐙部ヨコナデ内外面ともユビオサエ痕残る。	砂粒を多く含む。	褐灰色	
22	陶器	—	体部小片。	体部外面に格子目状の叩きあり、内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
23	土師質杯	口径 11.2 器高 3.45 底径 7.0	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。内外面ともやや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
24	土師質杯	口径 11.2 器高 3.2 底径 7.3	口縁端部はやや丸い。底部より口縁部にかけて、直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。全面に丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
25	土師質杯	口径 10.5 器高 3.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部は尖り気味に仕上げる。	高台部やや丁寧なナデ内外面丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
26	土師質杯	口径 11.3 器高 2.9 底径 5.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	内外面ともに丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第19表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (3)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
27	土師質杯	口径 10.8 器高 3.55 底径 8.95	底部よりやや内彎しながら段階的に立ち上がる。口縁端部はやや外反し先端部は丸い。	体部外面ナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
28	土師質杯	口径 12.2 器高 3.4 底径 9.0	体部下位よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや外反する。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部内外面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
29	土師質杯	口径 11.8 器高 3.5 底径 8.7	体部やや内彎。口縁端部の先端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
30	土師質杯	口径 11.8 器高 3.6 底径 8.5	底部より内彎気味に立ち上がり、口縁部で外反する。外面下部に糸切り時の凹有り。	底部回転糸切り後体部内外面はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
31	土師質杯	口径 10.3 器高 3.6 底径 7.4	体部やや内彎しながら立ち上がる。口縁部もやや内彎し先端部は尖る。体部外面に成形による弱い稜あり。	内外面共丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
32	土師質杯	底径 8.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転切り後やや粗いナデ。底部内面はゆるやかなヨコナデ。	砂粒を多く含む。	明褐色	
33	土師質杯	底径 7.6	体部は直線的に外方へ開く	全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
34	土師質皿	口径 7.65 器高 1.0 底径 6.9	体部外面は直線的。口縁端部は丸い。	底部外面以外ロクロナデ。	精良。	にぶい橙色	
35	土師質皿	口径 6.65 器高 1.65 底径 5.85	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部にかけてやや外反する。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
36	土師質椀	口径 10.8	口縁端部はやや肥厚し先端部はやや丸い。底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部高台部はり付け高台。高台部はつぶれ底部はややもり上がる。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
37	土師質椀	口径 10.5 器高 3.3 底径 4.8	体部中で屈曲。口縁部は直線的。口縁端部は丸い。	高台部はヨコナデ。貼り付け高台。体部内面ナデ。	精良。	にぶい黄橙色	
38	土師質椀	口径 10.4 器高 3.2 底径 4.7	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部はり付け高台。高台部は丁寧なヨコナデ先端尖る。	精良。	灰白色	
39	土師質椀	口径 10.5 器高 3.3 底径 3.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部はり付け高台。高台部、体部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
40	土師質椀	口径 10.6 器高 3.3 底径 3.7	体部内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	口縁部外面ロクロナデ。外部にユビオサエ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
41	磁器碗	口径 15.9	体部やや内彎。口縁部やや外反し先端部はやや尖る。体部外面に蓮弁文を削り出す。	濃い緑色釉を薄く施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
42	陶器甕	底径 17.5	底部よりやや外反しながら立ち上がる。	体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
43	土師質杯	底径 6.4	口縁端部やや外反。体部やや内彎気味に立ち上がる。底部内面ややもり上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部内外面ゆるやかなロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
44	土師質杯	口径 10.55 器高 3.0 底径 7.3	体部口縁部やや内彎。口縁端部はやや尖る。器壁やや厚い。一部注ぎ口のような形態を示す部分有り。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り後ナデ。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	赤褐色	

第20表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (4)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
45	土師質杯	底径 7.0	体部やや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後ナデ。体部内外面やや丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
46	土師質杯	底径 7.7	体部やや内彎。	底部回転糸切り後ナデ。体部外面やや粗いロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
47	瓦器椀	口径 11.5	体部内彎。口縁部やや内彎口縁端部は丸い。器壁やや厚い。		微砂粒を多く含む。	黄灰色	
48	土師質杯	口径 8.0 器高 2.4 底径 5.1	体部やや外反し口縁部直線的に斜めに立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。板目有り。体部口縁部内外面ヨコナデ。底部内面ナデ。	微砂粒を含む。	灰白色一部 黒色	煤付着
49	土師質皿	口径 7.5 器高 1.1 底径 6.1	底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。口縁部やや大きく外反。口縁部はやや丸い。底部内面ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り。全体的に丁寧なロクロナデ。	微砂粒を含む。	にぶい黄褐色	内外面に煤付着 (灯明皿)
50	土師質杯	口径 12.0 器高 3.6 底径 6.1	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後、内外面共丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
51	土師質杯	口径 11.4 器高 3.2 底径 6.0	体部やや内彎しながら立ち上がる。口縁部やや外反し端部は丸い。体部外面ナデによる稜あり。底部内外面やや凹凸有り。全体に器壁薄い。	底部外面ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
52	土師質杯	口径 11.2 器高 3.7 底径 5.6	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。体部内外面共やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
53	土師質杯	口径 12.1 器高 3.55 底径 7.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
54	土師質杯	口径 12.4 器高 3.4 底径 7.7	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
55	土師質杯	口径 10.3 器高 3.4 底径 6.4	体部内彎し立ち上がる。口縁部直線的で端部は尖る。底部内面凹凸有り、中央部はやや凹む。	底部回転糸切り。全体にナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
56	土師質杯	口径 11.7 器高 4.0 底径 7.2	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
57	土師質杯	口径 10.4 器高 3.4 底径 7.8	体部は内彎しながら立ち上がる。口縁部は直線的に立ち上がり、端部は尖る。体部と底部の界、明瞭な稜有り。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	体部内面煤付着
58	土師質杯	口径 11.2 器高 3.3 底径 7.6	体部は内彎し、口縁部は直線的に立ち上がる。端部はやや尖る。体部と底部の界弱い稜有り。	底部回転糸切り。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	煤付着
59	土師質杯	口径 11.3 器高 4.1 底径 7.5	底部より内彎しつつ立ち上がり、口縁端部は尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部内外面とも粗いナデ。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
60	土師質杯	口径 11.65 器高 3.7 底径 6.5	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部は肥厚し、先端は丸い。	底部回転糸切り後粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	

第21表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (5)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
61	土師質杯	口径 10.7 器高 3.5 底径 7.8	体部内彎し口縁部にかけては直線的に立ち上がる。口縁端部は尖る。体部下部に成形による稜有り。	底部回転糸切り。体部口縁部は内外面共に丁寧なヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	内面煤付着
62	土師質杯	口径 12.0 器高 3.5 底径 7.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部は肥厚し先端がやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
63	土師質杯	口径 11.3 器高 3.9 底径 8.6	底部よりやや直線的に立ち上がり、口縁端部はやや内彎する。先端はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。内外面共やや粗いナデ。底部内面にロクロナデの痕有り。	砂粒を多く含む。	橙色	
64	土師質杯	口径 12.0 器高 3.6 底径 6.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。内面下部はややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後粗いナデ。内外面共やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
65	土師質杯	口径 11.2 器高 3.6 底径 7.2	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁部はやや外反し端部は尖る。下部に糸切り時の痕有り。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
66	土師質杯	口径 13.85 器高 5.15 底径 9.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
67	土師質高台付杯	口径 12.8 器高 4.8 底径 7.3	底部高台状で底部の器壁厚い。中央部やや凹む。	底部回転ヘラ切り。	微砂粒を多く含む。	淡赤橙色	
68	土師質皿	口径 8.1 器高 1.85 底径 6.85	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を含む。	にぶい褐色	
69	土師質皿	口径 8.3 器高 1.9 底径 5.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや丸い。底部内面はややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	やや粗い。	にぶい橙色	
70	土師質皿	口径 8.1 器高 1.2 底径 6.4	底部よりやや外反しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り。内外面共に丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
71	土師質皿	口径 8.0 器高 1.1 底径 6.8	口縁部はやや外反し、端部はやや肥厚し丸い。底部外面やや凹凸有り。	底部外面ユビオサエ有り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
72	土師質皿	口径 7.7 器高 1.9 底径 6.0	底部よりやや直線的に立ち上がり、口縁端部は丸みをもつ。器壁肥厚する。	全体にナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
73	土師質皿	口径 8.8 器高 1.5 底径 8.1	底部より口縁部にかけて直線的に立ち上がり、口縁端部は尖る。	底部回転糸切り。口縁部、内外面、底部内面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
74	土師質皿	口径 8.0 器高 1.1 底径 5.6	底部よりやや反り気味に立ち上がり、口縁端部はやや尖る。	内外面共ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
75	土師質皿	口径 8.2 器高 1.4 底径 5.4	口縁部内彎し端部はやや肥厚し丸い。口縁部に成形による稜有り。底部外面やや凹凸有り。	口縁部内外面ヨコナデ。底部内外面ナデ。	微砂粒を含む。	にぶい黄橙色	
76	土師質高台付皿	口径 4.7	底部内面やや凹む。中心部に未完通の位置ズレ穴有り高台部厚い。	底部回転糸切り後ナデ消し。高台部やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
77	土師質高台付皿	底径 4.7	底部内面やや凹む。中央部ややもり上がる。高台部厚い。	底部回転糸切り後ナデ消し。高台部やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第22表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (6)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
78	土師質高台付皿	底径 5.8	底部内面やや凹む。中央部ややもり上がる。高台部厚い。	底部回転糸切り後ナデ。高台部やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
79	土師質高台付皿	口径 8.4 器高 3.1 底径 6.0	底部の器壁極めて厚い。器面の凹凸有り。体部外面粗いナデ。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。底部外面ヨコナデ。口縁部体部内面ユビオサエ後粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
80	土師質碗	口径 10.8 器高 2.9 底径 4.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。全面にかけやや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	褐灰色	
81	土師質碗	口径 10.4 器高 3.1 底径 4.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	外面に丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
82	土師質碗	口径 10.0 器高 3.1 底径 2.0	体部内彎。口縁部直線的で端部は丸い。体部上位に成形による弱い稜有り。	口縁部、体部内外面ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	(外側) 灰白色 (内側) 浅黄橙色	
83	土師質碗	口径 11.1 器高 3.6 底径 4.6	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部を丸くおさめる。	底部貼り付け高台。内外面やや丁寧なクロコナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
84	土師質鍋	口径 25.4	体部やや内彎。口縁端部は外反しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部先端部は平坦。	体部外面ユビオサエの跡有り。	精良。	(上部) 褐灰色 (内、口縁部) 灰色 (体部) 灰白色	外面に煤付着
85	瓦質碗	口径 11.5 器高 3.05 底径 7.0	口縁端部はやや丸い。底部よりやや内彎しながら、立ち上がる。	底部外面ユビオサエの跡有り。内外面やや丁寧なクロコナデ。	砂粒を多く含む。	暗青灰色	
86	瓦器皿	口径 7.4 器高 1.3 底径 1.3	口縁部やや内彎。	内面の底にユビオサエの痕跡有り。	微砂粒を少量含む。	暗灰色	
87	瓦器碗	口径 11.0 器高 2.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部内外面ユビオサエの跡有り。内外面共やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	(底部) 暗灰色 (上部) 浅黄橙色	
88	瓦器碗	口径 12.5 器高 3.5	口縁端部は肥厚する。体部やや内彎。底部外面はユビオサエの跡有り。	外面はやや粗いナデ。内面に若干のヘラミガキの跡有り。	砂粒を多く含む。	青灰色	
89	瓦器碗	口径 12.5 器高 3.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部及び体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
90	瓦器碗	口径 12.7 器高 2.8	口縁端部はやや肥厚し先端はやや丸い。底部外面ユビオサエの跡有り。底部よりゆるやかに立ち上がり、内彎する。	口縁端部はヨコナデ。底部外面はやや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	暗青灰色	
91	瓦器碗	口径 11.6 器高 2.8	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。口縁端部を尖らせる。	底部内外面ユビオサエの跡有り。内面にヘラミガキの跡有り。	砂粒を多く含む。	灰色	
92	瓦器碗	口径 11.4 器高 2.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、上位より口縁部にかけ肥厚しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部内外面ユビオサエの跡有り。内外面共やや丁寧なナデ。内面にヘラミガキの痕跡残る。	砂粒を多く含む。	オリーブ黒色 (一部) 灰白色	

第23表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (7)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
93	瓦器椀	口径 11.5 器高 3.25	底部よりやや内彎しながら立ち上がり口縁端部はやや丸い。体部半ばで肥厚する。	底部外面ユビオサエの跡有り。内外面やや丁寧なロクロナデ。内面にヘラミガキの痕跡有り。	微砂粒を多く含む。	青灰色	
94	瓦器椀	口径 13.4 器高 2.8 底径 3.6	体部斜め外方に大きく開き口縁部はやや外反。口縁端部は丸い。退化した高台が付く。	体部、口縁部外面ナデ後ユビオサエを施す。内面全体ナデ後数条のヘラミガキを施す。貼り付け高台。	微砂粒を多く含む。	灰白色	口縁部外面煤付着
95	瓦質火鉢	口径 33.3	体部は口縁にかけて内彎。外面に菊花紋有り。	内外面共ナデ後ヘラミガキ。	微砂粒を含む。	(外面) 黒色 (内面) 灰色	
96	陶器甕	口径 44.4	口縁端部大きく外反する。口縁端部先端はやや尖る。	内外面やや丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	素地灰色	常滑焼
97	陶器甕	口径 4.91	口縁端部は大きく外反し、先端はやや丸く上方へ曲がる。	内面丁寧で外面やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	素地灰白色	常滑焼
98	陶器こね鉢	口径 21.8	口縁部やや外反。口縁端部上下に大きく拡張し端面は丸く仕上げる。	口縁部外面ヨコナデ。内面ナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
99	陶器こね鉢	口径 29.3	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は丸くおさめる。	内外面共やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
100	磁器碗	口径 16.3	体部やや内彎。口縁端部はやや外反し先端は尖る。体部外面にやや幅広の鑄蓮弁文を削り出す。	淡緑色釉を薄目に施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
101	磁器碗	底径 5.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	高台は丁寧な作り。全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
102	陶器	—	体部小片。	体部外面格子目状の叩きを施し内面には平行叩きを施す。	微砂粒を多く含む。	灰色	
103	土師質土錘	長さ 6.85 胴径 1.0 重さ 5.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	灰色	
104	土師質土錘	長さ 4.5 胴径 1.5 重さ 8.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
105	土師質土錘	長さ 4.15 胴径 0.95 重さ 2.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を含む。	にぶい橙色	
106	土師質土錘	長さ 3.55 胴径 1.05 重さ 3.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	明赤褐色	
107	土師質土錘	長さ 3.2 胴径 1.0 重さ 2.5 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を含む。	にぶい赤褐色	
108	土師質土錘	長さ 3.2 胴径 0.95 重さ 2.1 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	明赤褐色	
109	土師質土錘	長さ 2.65 胴径 1.0 重さ 1.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	明赤褐色	
110	瓦質土錘	長さ 4.95 胴径 1.5 重さ 8.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰白色	

第24表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (8)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
111	土師質杯	口径 11.2 器高 3.1 底径 5.9	底部よりやや内彎しながら上位にかけて立ち上がり口縁端部はやや外反しながら立ち上がる。先端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。内外面共丁寧なナデ。	精良。	黄橙色	
112	土師質杯	口径 11.6 器高 3.25 底径 6.0	口縁短部はやや肥厚し、先端はやや丸い。底部よりやや直線的に立ち上がり、先端はやや外反する。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。内外面共丁寧なナデ。	精良。	(内側体部)にぶい橙色 (外側)灰褐色	内外側共に煤付着
113	土師質杯	口径 11.1 器高 3.25 底径 6.1	口縁端部はやや肥厚し先端は丸い。底部よりやや外彎しながら直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。全面に丁寧なナデ。	精良。	橙色	
114	土師質杯	口径 12.5 器高 3.8 底径 6.2	体部やや内彎。口縁部は直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り。	砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	
115	土師質杯	底径 7.1	底部より口縁部にかけ直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
116	土師質杯	底径 6.3	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。底部内面はやや凹凸有り。ユビオサエ有り。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	精良。	褐灰色	
117	土師質杯	底径 7.2	底部よりややゆるやかに立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
118	土師質皿	口径 10.0 器高 1.9 底径 7.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
119	土師質皿	口径 7.6 器高 1.65 底径 5.5	底部よりやや外反しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
120	土師質杯	口径 10.7 器高 2.7 底径 5.7	体部、口縁部内彎。口縁端部やや尖る。底部内面やや凹凸有り。体部外面ナデによる稜有り。全体に器壁薄い。体部と底部の境付近丸みを持つ。	底部回転ヘラ切り。底部外側以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
121	土師質杯	口径 12.3 器高 3.15 底径 6.7	底部よりやや外反しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。体部はヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
122	土師質杯	口径 10.9 器高 2.75 底径 6.3	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁部はやや内彎する。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
123	土師質杯	口径 10.9 器高 2.7 底径 6.7	底部よりゆるやかに外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後ナデ。全面にかけやや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
124	土師質杯	口径 11.6 器高 3.1 底径 6.4	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部は肥厚する。	底部回転ヘラ切り。内外面共やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
125	土師質杯	口径 10.9 器高 2.5 底径 6.4	底部より内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや外反する。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後、体部にヨコナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
126	土師質杯	口径 10.9 器高 3.2 底径 6.0	体部内彎。口縁部直線的。口縁先端部尖る。体部と口縁部の境目に稜をなす。	底部切り離し回転糸切り。体部、口縁部内外面ヨコナデ。	精良。	浅黄橙色	

第25表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (9)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
127	土師質杯	口径 12.6 器高 3.6 底径 6.8	体部口縁部内彎。口縁端部やや尖る。底部内面中央部やや凹み器壁薄い。体部外面に成形による弱い稜。体部と底部の境、一部粘土のはみ出し有り。	底部外面以外丁寧なヨコナデ。底部回転ヘラ切り。板目を留める。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
128	土師質杯	口径 9.1 器高 3.7 底径 6.0	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。内外面共粗いナデ。	砂粒を多く含む。	明褐色	
129	土師質杯	口径 12.05 器高 3.75 底径 6.6	口縁端部は尖りわずかに内彎。底部より直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部はヨコナデ。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
130	土師質杯	口径 11.0 器高 3.4 底径 7.0	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデを施す。	精良。	橙色	
131	土師質杯	口径 11.1	底部よりほぼ直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	体部はヨコナデ。	精良。	橙色	
132	土師質杯	口径 10.8 器高 3.9 底径 7.1	底部に段をもち底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
133	土師質杯	底径 6.7	体部中位やや内彎。	体部はやや丁寧なナデ。	精良。	にぶい橙色	
134	土師質杯	底径 5.4	底部よりややゆるやかに内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
135	土師質杯	底径 6.8	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
136	土師質杯	底径 6.0	底部より直線的に立ち上がる。底部内面やや丁寧なナデ。	底部回転糸切り後粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
137	土師質杯	底径 7.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	精良。	橙色	
138	土師質杯	口径 6.8	体部下半はわずかに内彎し上方はほぼ直線的に立ち上がる。体部と底部の境、明瞭な稜をなす。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
139	土師質杯	底径 8.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。下部に糸切り時の明瞭な稜有り。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
140	土師質杯	底径 5.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
141	土師質杯	底径 7.4	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。下部に強いナデによる明瞭な稜有り。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。内外面共粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
142	土師質杯	底径 8.4	体部と底部の境に明瞭な稜をなす。	底部回転ヘラ切り。板目有り。底部以外内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	(内面) にぶい橙色 (外面) 灰白色	内面煤付着
143	土師質杯	底径 7.4	体部は内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
144	土師質杯	底径 5.7	下部で外反した後ゆるやかに内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
145	土師質高台付皿	口径 5.4 器高 3.4 底径 4.2	底部高台状で底部の器壁極めて厚い。底部内面中央部やや凹む。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	精良。	浅黄橙色	
146	土師質高台付皿	底径 5.65	底部よりやや外反しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	

第26表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (10)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
147	土師質高台付皿	底径 5.2	底部高台状の厚い器壁。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
148	土師質高台付皿	底径 7.8	体部下方に強いナデによる稜有り。内面ユビオサエの跡有り。高台部が厚い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
149	土師質皿	口径 7.0 器高 1.2 底径 4.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
150	土師質皿	口径 7.9 器高 1.15 底径 6.9	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
151	土師質皿	口径 7.4 器高 1.6 底径 5.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がり口縁端部は外反した後直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
152	土師質脚部	残存長 7.9 径 2.2	断面台型。基部屈曲。身部直線的。	全体にヘラ削り後縦方向のナデを施す。全面にユビオサエの跡有り。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
153	磁器碗	口径 15.7	体部直線的で口縁部は玉縁先端はやや丸い。	全面に淡緑白色釉を施す。体部下位より露胎する。	微砂粒を含む。	素地灰白色	白磁
154	陶器	—	体部やや内彎。	体部外面に格子目状の叩きを施す。	砂粒を含む。	灰色	
155	陶器播鉢	底径 17.6	体部直線的。体部内面6条単位の楡描条線。	体部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	(内面) 赤灰色 (外面) 灰褐色	備前焼
156	須恵質こね鉢	口径 25.1	「く」の字状の口縁部を持つ。体部上半部やや内彎。	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面上位ヨコ方向の細かいハケ目。	砂粒を多く含む。	(口縁部) 暗青灰色 (体部) 淡黄色	東播系
158	土師質土錘	長さ 3.6 胴径 1.1 重さ 4.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土紐を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
159	土師質土錘	長さ 3.0 胴径 1.0 重さ 2.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
160	土師質土錘	長さ 4.8 胴径 1.4 重さ 8.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
161	土師質土錘	長さ 3.8 胴径 1.2 重さ 4.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
168	土師質杯	口径 11.7 器高 4.05 底径 6.9	体部は内彎しながら立ち上がる。口縁部わずかに尖る。	底部回転糸切り後板ナデ。口縁部内外面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
169	土師質杯	口径 11.6 器高 4.0 底径 7.5	体部は内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り。体部外面の下部を強くナデる。	砂粒を多く含む。	橙色	
170	土師質杯	口径 11.9 器高 3.9 底径 6.3	底部から口縁部にかけて内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第27表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (11)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
171	土師質杯	口径 11.2 器高 4.2 底径 7.6	体部と底部の境に明瞭な稜をなす。底部内面ユビオサエ。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	黄橙色	
172	土師質杯	口径 11.5 器高 3.95 底径 6.5	体部やや内彎。内面底部やや凹む。口縁端部やや尖る。	底部回転ヘラ切り。全面にわたりロクロナデ。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
173	土師質杯	口径 11.5 器高 3.1 底径 6.7	体部やや内彎。口縁部やや外反。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。体部外面丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	(内側) 灰白色 (外側) 浅黄橙	
174	土師質杯	口径 10.4 器高 2.75 底径 5.5	体部やや内彎しながら立ち上がる。口縁部やや外反。底部内面やや凹凸有り。底部内面ユビオサエ痕有り。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。板状圧痕有り。内面丁寧なロクロナデ。体部外面やや丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
175	土師質杯	底径 6.3	底部から体部にかけて明瞭な稜有り。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
176	土師質杯	口径 11.2 器高 2.7 底径 6.7	体内彎。口縁部直線的。口縁端部やや丸い。底部内面やや凹凸。体部外面成形による稜。全体に器壁薄い。	底部回転ヘラ切り。板目有り。体部外面と底部内面ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
177	土師質杯	口径 11.3 器高 2.8 底径 6.1	体部直線的に立ち上がる。口縁部やや外反。体部外面にナデによる稜。全体に器壁薄い。底部内面中央部突出。	底部回転ヘラ切り。板目有り。体部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
178	土師質杯	口径 10.2 器高 2.75 底径 6.0	体部やや内彎。口縁部やや外反。口縁端部は丸い。	全面にかけ丁寧なロクロナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色 口縁部 にぶい 橙色	
179	土師質杯	底径 6.8	体部やや内彎。底部は丸底状でわずかに凹む。	底部回転糸切り後ナデ。底部外面以外丁寧なロクロナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
180	土師質杯	底径 7.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい 橙色	
181	土師質杯	底径 7.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい 褐色	
182	土師質杯	底径 6.8	底部内面に凹凸有り。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	橙色	
183	土師質皿	口径 7.0 器高 1.0 底径 5.7	体部直線的に立ち上がる。口縁端部やや尖る。底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。板目有り。体部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい 褐色	
184	土師質皿	口径 7.9 器高 1.0 底径 6.9	口縁部やや外反。口縁上端部やや尖る。底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。板目有り。体部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい 褐色	
185	土師質皿	口径 7.6 器高 1.2 底径 5.9	体部やや外反。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後底部外面ナデ。体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
186	土師質皿	口径 7.7 器高 1.4 底径 6.1	口縁端部やや丸く体部外面わずかに外反。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
187	土師質皿	口径 7.95 器高 1.4 底径 5.6	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	精良。	橙色	

第28表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (12)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
188	土師質皿	口径 7.9 器高 1.4 底径 7.3	口縁端部やや内彎。底部内面に凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。底部内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	橙色	
189	土師質皿	口径 7.7 器高 1.0 底径 6.7	体部直線的に立ち上がる。口縁端部やや尖る。底部内面凹凸顯著。底部内面中央突出。	底部回転ヘラ切り。体部内外面ナデ。	精良。	にぶい褐色	
190	土師質高台付皿	底径 4.6	底部厚く体部下方はやや外反する。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
191	土師質高台付皿	底径 6.4	底部厚く中心部に穴があく。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧ナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
192	土師質椀	口径 11.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	体部はナデ。	砂粒を含む。	灰白色	
193	瓦器椀	口径 12.4	口縁部やや外反。体部わずかに内彎。口縁端部は丸い。	口縁部、体部クロコナデ。	微砂粒を含む。	褐灰色	
194	土師質土錘	長さ 4.7 胴径 1.1 重さ 6.4g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
197	土師質杯	口径 7.6 器高 2.8 底径 11.9	体部は口縁にかけて外反しながら立ち上がる。全体に器壁薄く丁寧な作り。	底部回転ヘラ切り。体部、口縁部内外面ヨコナデ。	精良。	浅黄橙色	
198	土師質杯	口径 11.6 器高 2.7 底径 6.2	体部ほぼ直線的に立ち上がる。口縁端部やや丸い。体部外面数本の明瞭な稜。器壁全体に薄い。	底部回転ヘラ切り。板目有り。体部外面クロコナデ。体部内面ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
199	土師質杯	口径 11.0 器高 2.3 ~2.5 底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄色	
200	土師質杯	底径 5.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。体部ナデ。	砂粒を含む。	浅黄橙色	
201	土師質杯	底径 7.15	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
202	土師質杯	底径 6.55	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。	微砂粒を多く含む。	灰褐色	
203	土師質杯	口径 10.15 器高 3.0 底径 7.0	底部より中位にかけ直線的に立ち上がり、中位で外方に屈曲する。中位より上位にかけやや内彎しながら立ち上がる。	体部ナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
204	土師質皿	口径 6.9 器高 1.2 底径 6.6	底部より口縁部にかけやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面ややもり上がる。	底部回転糸切り。	砂粒を含む。	にぶい黄褐色	
205	土師質皿	口径 7.3 器高 1.4 底径 5.7	底部よりほぼ直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。内外面共丁寧なナデ。	精良であるが砂粒を一部含む。	にぶい褐色	
206	土師質高台付皿	底径 4.9	底部より内彎気味に立ち上がる。底部内面やや凹む。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。底部高台状で肥厚。	精良。	明赤褐色	
207	土師質土錘	長さ 2.9 胴径 1.3 重さ 3.7g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤橙色	
211	土師質杯	口径 6.0 器高 3.1 底径 5.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部やや肥厚する。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	

第29表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (13)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
212	土師質杯	口径 10.7 器高 3.7 底径 6.7	体部から口縁部にかけて直線的。口縁端部は丸い。底部内面やや凹凸。体部と底部の境目稜を留める。	底部回転糸切り。底部以外内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
213	土師質杯	底径 7.4	底部と体部の境に糸切り時の稜を残す。やや内彎しつつ立ち上がる。	底部回転糸切り。ユビオサエの跡有り。底部内面やや凹凸顕著。	砂粒をわずかに含む。	にぶい褐色	
214	土師質杯	口径 11.0 器高 3.5 底径 6.2	体部から口縁部にかけてやや肥厚しわずかに内彎。口縁端部やや尖る。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
215	土師質杯	口径 11.3 器高 3.25 底径 6.0	体部やや内彎。口縁端部はやや外反する。また先端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	にぶい黄橙色	
216	土師質高台付杯	口径 7.9 器高 2.7 底径 4.9	体部から口縁部にかけてやや外反。口縁端部丸い。底部高台状で、底部の器壁厚い。体部高台部外面成形による稜。全体に丁寧な作り。	底部回転ヘラ切り。高台部外面ヨコナデ。体部内面ナデ。	精良。	橙色	
217	土師質土錘	長さ 3.1 胴径 0.8 重さ 1.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
218	土師質土錘	長さ 4.8 胴径 1.0 重さ 4.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
219	土師質高台付皿	口径 6.1 器高 3.45 底径 4.9	底部末広がり、体部は底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部中央に穴があく。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
220	土師質杯	口径 12.9 器高 3.4 底径 8.1	底部より中位にかけやや外反する。中位より口縁部にかけ直線的に立ち上がる。口縁端部はやや外反し先端は尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	精良。	浅黄橙色	
221	土師質杯	口径 11.4 器高 3.0 底径 6.5	底部より体部にかけやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや内彎し先端部は尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	微砂粒を含む。	にぶい黄橙色	
222	土師質杯	口径 10.9 器高 3.4 底径 8.4	体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。体部外面上部に成形による稜。	底部回転糸切り。底部外面以外ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
223	土師質杯	口径 12.9 器高 2.9 底径 8.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後中心部ユビオサエ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
224	土師質杯	底径 6.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部内面ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	
225	土師質杯	底径 6.3	体部内彎。底部内面凹凸有り。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
226	瓦質羽釜	口径 22.8	直立する口縁部に断面方形で水平方向にやや長めに張り出す鏝が付く。体部やや内彎。口縁端部はやや内側に傾斜する平坦面をなす。	口縁部内外面、鏝上面丁寧なヨコナデ。体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰白色	外面煤付着
227	須恵質こね鉢	口径 24.6	口縁部にかけてやや外反しつつ端部は丸くおさめる。	全面にかけやや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系

第30表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (14)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
228	磁器梅瓶	—	体部内彎。	全目にかけて淡青色釉を施す。体部外面に浮きぼり状の唐草文を施す。	微砂粒を含む。	素地灰白色	青白磁
229	土師質杯	口径 11.5 器高 3.1 底径 7.1	体部口縁部直線的。口縁端部は丸い。	底部外面ヘラ切り後ナデ。体部内外面丁寧なヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
230	土師質杯	口径 12.0 器高 3.8 底径 7.4	底部より口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁部はやや肥厚し尖る。	底部回転糸切り。底部外面やや凹凸有り。全面にかけやや粗いロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
231	土師質杯	口径 10.5 器高 3.1 底径 6.0	体部内彎。口縁部わずかに外反し、口縁端部の器壁を薄くし、やや尖り気味に仕上げる。体部と底部の境に明瞭な稜。	底部回転糸切り。体部内外面ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
232	土師質杯	口径 9.6 器高 3.1 底径 4.4	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	内外面とも丁寧なナデ。	精良。	橙色	
233	土師質杯	口径 10.9 器高 3.2 底径 7.5	体部やや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
234	土師質杯	口径 10.5 器高 4.4 底径 7.7	体部やや内彎し口縁部にかけて直線的。口縁端部は丸い。体部内外面に成形による弱い稜有り。体部と底部の境、粘土のみ出し有り。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
235	土師質杯	口径 12.1 器高 3.6 底径 7.2	底部より口縁部にかけてやや段階的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
236	土師質杯	底径 3.3	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。内外面とも丁寧なナデ。	精良。	灰白色	
237	土師質皿	口径 7.3 器高 1.1 底径 6.5	口縁部やや内彎。口縁端部やや尖る。底部内面凹凸有り。底部外面周縁部にわずかに稜をとどめる。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
238	瓦器碗	口径 11.6 器高 2.6	体部内彎。口縁部やや直線的。口縁先端部丸い。無高台で底部平底状。	体部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。体部内面渦巻き状のヘラミガキ痕有り。	微砂粒を少量含む。	灰色	
240	土師質杯	口径 12.2 器高 3.5 底径 9.6	底部より内彎しながら立ち上がり、口縁端部を丸くおさめる。体部にナデによる稜が明瞭に残る。	底部回転糸切り。全体に丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡赤褐色	口縁部内部の一部に煤付着
241	土師質碗	口径 11.2	体部やや内彎。口縁端部を丸くおさめる。	体部はナデ。	微砂粒、小礫を少量含む。	灰白色	
242	土師質碗	口径 11.3 器高 3.3 底径 5.3	体部やや内彎し、口縁部丸い。器壁はほぼ均一で高台断面方形で高台の畳付部は外側に広がる。	口縁部、体部外面上部ヨコナデ。体部外面下部、底部は粗いナデ。内面全面丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部はヨコナデ。	砂粒、小礫を含む。	灰白色	
243	土師質碗	口径 11.0 器高 3.1 底径 5.2	体部内彎。口縁端部を丸くおさめる。	口縁部、体部外面ヨコナデ。内面全体丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部はヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	

第31表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (15)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
244	土師質土器	底径 5.8	底部の器壁厚い。底部中央部に直径1.2cmの穴有り。	底部回転ヘラ切り。底部側面にユビオサエ。体部内面ヘラ削り後ナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
246	土師質脚付土鍋	口径 28.6	脚部断面円形。基部屈曲。身部直線的。口縁は「く」の字状で端部を丸くおさめる。	脚部は全体にユビオサエ後ヘラケズリ。さらにナデを施す。口縁部外面縦方向にハケ目。体部上部、口縁部内に横方向のハケ目。全体的にユビオサエ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	内外面に煤付着
247	瓦質羽釜	口径 21.8	直立する口縁部に断面方形の短い鏝が付く。口縁端部を平坦に仕上げる。	口縁部内面は、細かいハケ後ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	体部外面に煤付着
248	土師質脚部	残存長 9.1	断面長円形。基部屈曲。	全体にユビオサエ後ヘラケズリを施す。	砂粒を多く含む。	灰褐色	
249	瓦質脚部	残存長 9.3 径 2.9	断面円形。基部屈曲。	ユビオサエ後、全面縦方向のナデを施す。	微砂粒を多量に含む。	灰橙色	
250	土師質土錘	長さ 2.6 胴径 0.8 重さ 1.8g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
251	土師質土錘	長さ 2.4 胴径 0.8 重さ 1.9g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	褐色	
252	土師質土錘	残存長 2.6 胴径 0.6 重さ 2.1g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
253	土師質土錘	長さ 3.2 胴径 1.1 重さ 3.1g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	褐色	
254	土師質土錘	長さ 3.6 胴径 1.0 重さ 3.9g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	黒褐色	
255	土師質杯	口径 12.0 器高 3.2 底径 9.4	体部やや内彎。口縁端部は丸い。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り。底部以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄色	
256	土師質杯	口径 10.7 器高 3.4 底径 8.0	体部やや内彎し、口縁部やや外反する。器壁は底部にいくほど肥厚し、口縁部は薄い。口縁端部は薄く仕上げる。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	黄橙色	
257	土師質杯	口径 11.0 器高 3.1 底径 6.0	底部よりほぼ直線的に立ち上がり、口縁端部は尖る。全体に器壁薄い。	底部回転ヘラ切り。底面外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
258	土師質杯	底径 7.5	底部内面凹凸有り。	底部回転ヘラ切り後、ナデ。全体にロクロナデ。	砂粒を多く含む。	黄褐色	
259	土師質杯	底径 8.4	底部平底。底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
260	土師質皿	口径 7.7 器高 1.1 底径 5.4	体部は直線的に立ち上がり底部外面は凹む。	底部外面ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄褐色 (底部外面) 灰色	
261	土師質皿	口径 7.6 器高 1.4 底径 7.4	口縁部外反。口縁端部丸く仕上げる。体部下方に糸切り時の稜有り。	底部回転糸切り後ナデ。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	

第32表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (16)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
262	土師質皿	口径 9.5 器高 1.3 底径 7.6	体部直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後ナデ。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	灰褐色	
263	土師質皿	口径 7.5 器高 1.0 底径 6.5	口縁部直線的。口縁端部やや尖る。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り後ナデ。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
264	土師質椀	口径 11.4	体部やや内彎し、口縁部やや外反する。器壁は薄い。	体部、口縁部内外面丁寧なロクロナデ。	精良。	浅黄橙色	
265	土師質椀	底径 4.0	体部内彎。高台断面逆台形状で低い。	体部外面粗いナデ。内面ナデ。貼り付け高台。高台部、見込み部ヨコナデ。	砂粒を少量含む。	淡橙色	
266	土師質椀	底径 3.8	体部やや内彎。	体部外面下部粗いナデ。内面ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
267	土師質椀	口径 10.4 器高 3.8 底径 4.6	体部内彎。口縁部直線的。断面三角形の小さい高台を持つ。	口縁部、体部外面ヨコナデ。内面全体丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄灰色	
268	土師質椀	底径 4.2	体部やや内彎。高台断面は逆台形状で厚い。	内面全体丁寧なナデ。体部底部外面粗いナデ。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
269	土師質椀	口径 11.7	体部から口縁部にかけてナデによる明瞭な稜有り。口縁端部はやや尖る。	口縁部、体部外面ヨコナデ。口縁部、体部内面丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
270	土師質椀	口径 12.3	体部内彎。口縁部やや外反する。	口縁部、体部外面上部ヨコナデ。口縁部、体部内面丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
271	土師質椀	口径 10.4 器高 3.25 底径 4.2	体部、口縁部内彎。口縁部の器壁やや薄く、端部はやや尖る。高台断面三角形で安定している。	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ナデ。内部丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を少量含む。	灰白色	
272	瓦器椀	口径 11.3	体部外方に開きながら上部でやや内彎。口縁部直線的。	口縁部、体部外面ヨコナデ。口縁部、体部内面ナデ。	微砂粒を少量含む。	黒灰色	
273	瓦器椀	口径 11.5 器高 2.8	体部やや内彎し、口縁部やや外反。口縁端部丸い。無高台で底部やや丸底状。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面、底部外面ユビオサエ。体部内面ナデ後、渦巻き状のヘラミガキ。炭素未吸着。	砂粒を多く含む。	灰白色	
274	瓦器椀	口径 12.25 器高 2.2 底径 4.2	体部やや内彎し、口縁部直線的。口縁端部やや肥厚し丸い。体部外面凹凸顕著。退化した高台が付く。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ後粗いナデ。体部内面見込み部にヘラミガキ。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	黄灰色	
275	瓦器椀	口径 11.8 器高 2.35	体部、口縁部内彎。口縁端部丸い。無高台で丸府状。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。内面ナデ後、簡略化されたヘラミガキ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
276	瓦器椀	口径 13.4	体部やや内彎し、口縁部やや外反する。口縁端部はやや肥厚し丸い。	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。口縁部、体部内面丁寧なナデを施す。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
277	瓦器椀	口径 13.5	体部内彎。口縁端部やや肥厚して尖らせる。	口縁部、体部外面ユビオサエ後ヨコナデ。口縁部内面丁寧なヨコナデ。体部内面ユビオサエ後ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰色	

第33表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (17)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
278	瓦器椀	口径 12.4	体部やや内彎。口縁部直線的。体部やや肥厚する。	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。口縁部、体部ナデ後ヨコナデを施す。	微砂粒を少量含む。	黒灰色	
279	瓦器椀	口径 11.4	体部内彎。口縁部やや外反する。	口縁部外面ヨコナデ。口縁部体部内面丁寧なナデ。体部外面ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	(外面) 白色 (内面) 灰色	
280	土師質脚部	残存長 12.1 径 2.5	断面長円形。基部大きく屈曲。身部直線的。	外側面にヘラケズリ後全体にユビオサエ。基部から身部へ縦方向に粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	煤付着
281	土師質鍋	口径 24.0	「く」の字状の口縁部を持ち端部をやや肥厚させる。体部は内彎する。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面1cm幅で5～6本のハケ目。体部内面粗いヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	茶褐色	
282	土師質鍋	口径 25.0	体部内彎。口縁部大きく外反した後直立。口縁部左右に拡張し、わずかに凹面に仕上げる。	口縁部内外面、体部内面ヨコナデ。口縁部強いヨコナデ。体部内外面ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	灰白色 (外面) 黒色	外面煤付着
283	土師質羽釜	口径 22.0	直立する短い口縁部に断面台形の短い鑊が水平に付く口縁部は平坦に仕上げる。	口縁部内外面ユビオサエ後ヨコナデ。鑊部ヨコナデ。体部内面ユビオサエ後ナデ。鑊貼り付け。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	鑊部下面以下に煤付着
284	土師質羽釜	口径 19.3	体部やや内彎。口縁部は肥厚し、平坦に仕上げる。断面台形状の鑊がやや上向きに付く。	口縁部、鑊上面ユビオサエ後ヨコナデ。口縁部、体部内面ユビオサエ後ヨコナデ。鑊下面体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	褐色	
285	瓦質羽釜	口径 17.1	口縁部やや内彎しする。口縁部やや肥厚し平坦に仕上げる。断面方形の短い鑊が水平に付く。	口縁部、鑊部外面ユビオサエ後ヨコナデ。口縁部内面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	黒灰色	外面煤付着
286	陶器甕	口径 42.3	口縁部外反し、端部を上方に拡張する。	口縁部ヨコナデ。	砂粒を含む。	褐灰色	常滑焼
288	土師質土錘	長さ 2.9 胴径 0.9 重さ 2.6g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
289	土師質土錘	長さ 2.9 胴径 1.0 重さ 2.1g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	暗褐色	
290	土師質土錘	長さ 3.5 胴径 1.1 重さ 3.7g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
291	土師質土錘	長さ 3.6 胴径 1.0 重さ 3.6g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
292	土師質土錘	長さ 4.0 胴径 1.0 重さ 5.4g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
293	土師質土錘	長さ 5.2 胴径 1.5 重さ 10.6g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	灰色	
294	土師質杯	口径 11.7 器高 2.9 底径 6.4	体部やや内彎し、口縁部直線的。底部凹凸顕著で中心部の器壁厚い。	底部回転糸切りで全体にクロナデ。	微砂粒を少量含む。	淡褐色	

第34表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (18)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
295	土師質杯	口径 10.4 器高 3.1 底径 5.9	体部やや内彎。口縁部やや外反。底部やや肥厚する。	底部回転糸切り、底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡褐色	
296	土師質杯	口径 11.8 器高 4.0 底径 6.8	体部は直線的に立ち上がりナデによる稜を残す。口縁端部はやや内彎し、端部は丸い。	底部回転糸切り。底部内面以外ロクロナデ。	砂粒を少量含む。	明褐色	
297	土師質杯	口径 11.6 器高 3.2 底径 7.8	体部直線的で口縁部やや外反する。	底部回転糸切り。口縁部体部外面粗いナデ。内面全体丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
298	土師質杯	底径 6.6	底部器壁が薄い。	底部回転糸切り。全体にヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰黄色	
299	土師質杯	底径 5.2	底部凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。体部内外面、底部内面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	白色	
300	土師質杯	底径 5.6	底部凹凸顕著。底部の器壁体部に比べて厚い。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
301	土師質杯	底径 7.0	体部内彎する。底部凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り後ナデ。底部外面以外ヨコナデ。	精良。	淡橙色	
302	土師質杯	底径 6.0	底部凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り後ナデ。体部内外面、底部内面ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	淡褐色	
303	土師質皿	口径 7.6 器高 1.3 底径 5.4	体部やや肥厚し、口縁部直線的。底部器壁厚い。	底部回転ヘラ切り。口縁部、体部外面ヨコナデ。内面全体丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	暗橙色	
304	土師質皿	口径 7.8 器高 1.0 底径 6.2	体部やや外反する。口縁端部やや肥厚する。	底部回転ヘラ切り。口縁部、体部内外面、底部内面ヨコナデ。	微砂粒を少しだけ含む。	白色	
305	陶器碗	口径 14.0 器高 3.8 底径 7.0	底部からやや内彎気味に立ち上がり、口縁部丸くおさめる。器壁は均一。平底。	底部回転糸切り。口縁部体部外面ロクロナデ。体部内外面、底部内面ナデ。	精良。	灰白色	備前焼
306	陶器碗	口径 11.1	体部から口縁部にかけて直線的に外方へ広がる。口縁端部尖る。	口縁部、体部外面ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	暗褐色	瀬戸焼 (灰釉陶器)
307	磁器碗	口径 18.0	体部やや内彎。口縁部やや外反。	緑色釉をやや厚く施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
308	須恵質こね鉢	口径 33.8	口縁端部上下に拡張し、先端部丸い。端面はやや丸みをもつ。	口縁部内外面ロクロナデ。体部内面仕上げナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
309	須恵質こね鉢	口径 25.9	口縁部肥厚し端部を上下に大きく拡張。先端部は尖る。	体部、口縁部外面ロクロナデ。体部内面仕上げナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
310	陶器甕	口径 35.0	口縁端部やや外反。口縁端部を下方に折り曲げ、玉縁状に作る。		砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	備前焼
311	陶器甕	口径 54.0	頸部から口縁部にかけて大きく外反。口縁端部上下に拡張し、端面は凹状。	全体にロクロナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	常滑焼
312	土師質土錘	長さ 3.2 胴径 1.0 重さ 2.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	赤褐色	
313	土師質土錘	長さ 3.1 胴径 1.1 重さ 3.4 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	淡褐色	
314	土師質土錘	長さ 2.9 胴径 1.2 重さ 3.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	淡褐色	

第35表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (19)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
315	土師質土錘	残存長 3.3 胴径 1.2 重さ 5.0 g	紡錘形の管状土錘。先端部欠損。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	淡褐色	
316	丸瓦	残存長 8.6 残存幅10.3 厚さ 2.1	中央の少しもり上がったアーチ型の丸瓦。	全体にナデ。凸面に縄目。LRの縄蓆文。凹面に布目。	微砂粒を多く含む。	灰色	
322	土師質杯	口径 10.5 器高 3.4 底径 8.4	体部やや内彎し口縁部の器壁薄くなる。底部と体部の境付近の器壁厚い。	体部外面ナデ。口縁部内外面、体部内面粗いナデ。	微砂粒を多量に含む。	黄褐色	
323	土師質杯	口径 11.9 器高 3.4 底径 7.0	体部やや内彎。口縁部やや外反。口縁部、体部の器壁やや薄目で、口縁端部尖る。	口縁部、体部内外面、底部内面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	白色	
324	土師質杯	口径 12.6	体部やや内彎し、口縁部直線的に立ち上がる。	口縁部、体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	黄褐色	
325	土師質杯	底径 5.9	底部の中心部肥厚する。体部内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部内外面、底部内面ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	白橙色	
326	土師質杯	底径 7.0	底部の中心部は器壁薄くなる。	底部回転糸切り。体部粗いロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
327	土師質杯	底径 8.4	底部の器壁厚い。	底部回転糸切り。底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	暗赤褐色	
328	土師質杯	底径 7.6	底部の中心部ほど器壁薄い。	底部回転糸切り。底部内面ナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
329	土師質杯	底径 8.8	体部はやや外方に開く。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
330	土師質皿	口径 7.4 器高 1.5 底径 5.6	体部、口縁部直線的に立ち上がる。底部肥厚する。	底部回転糸切り。体部口縁部内外面ロクロナデ。底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	明黄褐色	
331	土師質皿	口径 7.8 器高 1.4 底径 6.5	体部やや外反しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
332	土師質皿	口径 6.0 器高 1.3 底径 5.1	体部直線的に立ち上がる。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
333	土師質皿	口径 9.2 器高 1.5 底径 8.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	口縁部、体部体面丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	黄褐色	
334	土師質皿	底径 6.9	底部の器壁均一で薄め。	底部回転糸切り。	微砂粒を多く含む。	橙色	
335	土師質皿	底径 7.2	体部やや内彎。底部と体部の境界の器壁やや肥厚し、底部の器壁薄くなる。	底部回転糸切り。体部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
336	土師質高台付皿	底径 5.8	底部平底で丁寧に仕上げる体部直立後外反する。底部内面中央部ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後ナデ。体部外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
337	土師質椀	口径 11.4 器高 3.4 底径 4.6	体部外方に開いた後やや内彎。口縁部やや外反。断面三角形の短い高台が付く。	口縁部、体部底部内面丁寧なナデ。口縁部外面ロクロナデ。体部外面粗いナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
338	土師質椀	口径 9.6	体部内彎。口縁部外反する。	体部外面粗いナデ。口縁部内外面、体部内面丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	白黄色	

第36表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (20)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
339	土師質碗	口径 10.8	体部内彎。口縁部直線的で口縁部端部やや尖る。	口縁部、体部内面丁寧なナデ。口縁部、体部外面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	白色	
340	土師質碗	口径 10.9	体部内彎し、口縁部外反する。	口縁部、体部内面丁寧なナデ。口縁部、体部外面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	白黄色	
341	土師質碗	口径 11.0	口縁部やや外反する。	口縁部、体部内外面丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	淡明褐色	
342	土師質碗	底径 4.4	体部大きく外方に開き内彎する。底部断面三角形の退化した高台が付く。	底部、体部内面丁寧なナデ。体部外面粗いナデ。底部貼り付け高台で高台部ナデ。	微砂粒を多く含む。	(内面) 淡橙色 (外面) 灰色	
343	土師質鍋	口径 27.4	「く」の字状の口縁部を持つ。口縁部やや肥厚。頸部内面に稜。	口縁部内面ヨコナデ。頸部外面ユビオサエ。体部外面ヨコナデ。体部内面細かいヨコハケ。	砂粒を多く含む。	橙色	外面煤付着
344	土師質脚部	残存長 8.0 径 2.4	断面ほぼ円形。基部大きく屈曲。	全体にユビオサエ後ヘラケズリを施す。	砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	基部に煤付着
345	土師質脚部	残存長 8.8 径 2.2	断面ほぼ円形。基部大きく屈曲。	全体にユビオサエ後ヘラケズリ。さらにナデを施す。	砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	煤付着
346	瓦器碗	口径 12.9	体部、口縁部内彎。	口縁部外面ナデ。体部外面ユビオサエ後粗いナデ。口縁部内面丁寧なナデ。体部内面ナデ後、ヘラミガキ。	微砂粒を少量含む。	黒灰色	
347	土師質土錘	残存長 3.0 胴径 0.9 重さ 1.7 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	白橙色	
348	土師質土錘	長さ 4.4 胴径 1.2 重さ 4.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
350	土師質杯	口径 10.1 器高 3.0 底径 5.4	体部外方に開き、口縁部やや内彎する。底部やや丸底器壁全体に薄い。	底部全体にヘラ切り。口縁部、体部外面ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	淡赤褐色	
351	土師質杯	口径 9.8 器高 3.1 底径 7.1	体部内彎しながら立ち上がる。底部凹凸顕著。	底部回転糸切り。口縁部体部内外面ロクロナデ。底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄褐色	
352	土師質杯	口径 11.1 器高 3.2 底径 6.9	体部中央のナデによる稜が顕著。	底部回転ヘラ切り後粗いナデ。体部、口縁部内外面、底部内面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	
353	土師質杯	口径 11.1 器高 3.7 底径 8.1	体部、口縁部直線的。口縁部端部は尖る。内面凸状にもり上がる。	底部回転ヘラ切り後ナデ。底部外面以外はロクロナデ。	砂粒を少量含む。	灰白色	
354	土師質杯	口径 11.8 器高 3.3 底径 6.4	底部より直線的に立ち上がる。口縁部端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	暗褐色	
355	土師質杯	口径 11.8 器高 3.1 底径 9.4	底部平底。体部内彎。口縁部直立し、口縁部端部尖る。底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り後ナデ。体部内外面ロクロナデ。底部内面粗いロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰黄色	
356	土師質杯	口径 11.0 器高 3.3 底径 5.7	体部やや内彎。口縁部端部は丸い。底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。体部口縁部内外面、底部内面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	淡褐色	

第37表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (21)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
357	土師質杯	口径 11.8 器高 3.7 底径 7.1	体部やや外反し、口縁部やや内彎する。体部やや肥厚する。	底部回転糸切り。体部口縁部内外面丁寧なナデ。底部内面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	灰褐色	
358	土師質杯	口径 11.6 器高 3.7 底径 7.2	体部やや内彎。体部下方にナデによる稜が明瞭に残る。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
359	土師質杯	口径 11.3 器高 3.7 底径 6.0	体部内彎。口縁部外反する底部、体部の器壁厚く、口縁部は薄い。	底部回転糸切り。口縁部、体部内外面丁寧なロクロナデ。底部内面粗いロクロナデ。	精良。	灰色	
360	土師質杯	口径 11.2 器高 3.9 底径 7.4	体部内彎。口縁部直立する口縁部やや肥厚する。	底部回転ヘラ切り。口縁部、体部内外面ロクロナデ。底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
361	土師質杯	口径 11.3 器高 3.4 底径 6.0	体部内彎。口縁部外反。口縁部器壁薄く、先端部尖る。体部、底部の器壁厚い。	底部回転糸切り。口縁部、体部内外面丁寧なロクロナデ。底部内面丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄褐色	
362	土師質杯	底径 7.1	体部内彎しながら立ち上がる。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り。体部内外面丁寧なナデ。底部内面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
363	土師質杯	底径 6.4	体部やや直線的に立ち上がる。全体に器壁薄い。	底部回転ヘラ切り。体部内外面丁寧なロクロナデ。底部内面丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい黄橙色	
364	土師質杯	底径 6.1	底部の器壁厚い。体部やや内彎。	底部回転ヘラ切り。体部内外面、底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	
365	土師質杯	底径 9.6	体部内彎。底部の器壁中央部ほど薄くなる。	底部回転糸切り。体部内外面ロクロナデ。体部底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
366	土師質杯	口径 7.0	底部の器壁やや厚い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	
367	土師質杯	底径 7.0	底部縁辺やや凹む。	底部回転糸切り。底部内面ナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
368	土師質杯	底径 9.8	体部内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部内外面、底部内面ナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	
369	土師質杯	底径 9.0	体部やや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後ナデ。体部外面ロクロナデ。底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
370	土師質杯	底径 7.7	底部より内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。底部内面丁寧なナデ。体部外面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
371	土師質杯	底径 7.3	体部やや内彎。底部やや肥厚する。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
372	土師質皿	口径 7.0 器高 1.4 底径 5.4	底部凹凸顕著。体部口縁部は外方に開く。	底部回転ヘラ切り。そのまま粘土が残る。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	白橙色	
373	土師質皿	口径 7.4 器高 1.6 底径 5.8	体部やや内彎。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り。体部口縁部内外面ロクロナデ。底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
374	土師質皿	口径 7.6 器高 2.0 底径 3.8	体部下方に糸切り時の稜が残る。体部は直線的に立ち上がり、底部は肥厚する。	底部回転糸切り。底部外面以外丁寧なロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	褐色	
375	土師質皿	底径 7.8	底部内面凹凸有り。器壁薄い。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	

第38表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (22)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
376	土師質皿	口径 7.7 器高 2.3 底径 6.1	体部、口縁部やや内彎。底部中央部凹む。底部内面凹凸顯著。	底部回転糸切り。体部内外面、底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
377	土師質皿	口径 7.8 器高 1.9 底径 6.0	体部内彎。口縁部直立。底部肥厚し、中央部で凹む。底部凹凸顯著。	底部回転ヘラ切り。体部、口縁部内外面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
378	土師質皿	口径 7.2 器高 0.95 底径 6.0	口縁部やや肥厚し、先端は丸い。底部は器壁が薄い。	底部回転糸切り。口縁部、体部内外面、底部内面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡褐色	
379	土師質皿	口径 8.7 器高 1.4 底径 7.9	口縁部、体部やや外反する。底部やや肥厚する。底部中央部やや凹む。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄褐色	
380	土師質椀	口径 9.6 器高 2.9 底径 4.0	体部内彎し、口縁部やや外反。底部に断面三角形の高台が付く。	口縁部、体部、底部内面丁寧なナデ。口縁部体部外面粗いナデ。貼り付け高台。	微砂粒を少量含む。	灰黄色	内面に煤付着
381	土師質椀	口径 10.6 器高 3.1 底径 4.85	体部内彎し、口縁部やや外反する。口縁端部は丸い。高台は断面三角形で粗雑な作り。	口縁部、体部内外面ナデ。貼り付け高台。	微砂粒を多く含む。	灰白色	底部内面に煤付着
382	土師質椀	口径 10.5 器高 2.9 底径 4.2	体部の器壁やや肥厚し、内彎する。口縁部の器壁は薄い。底部に断面三角形で、一部押しつぶされたような高台が付く。	内面全体丁寧なナデ。口縁部、体部外面粗いヨコナデ。貼り付け高台。	微砂粒を少量含む。	白黄色	内面に煤付着
383	土師質鍋	口径 27.0	体部内彎。「く」の字状口縁。	口縁部内面斜め方向のハケ目。口縁部外面縦ハケ目。体部外面ユビオサエ後縦ハケ目。体部内面ユビオサエ後横方向のハケ目。体部下方内外面粗いヨコハケ目。	微砂粒を多く含む。	暗褐色 外面 黒色	外面煤付着
384	土師質鍋	口径 33.6	「く」の字状口縁。口縁部やや内彎。	口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	黄褐色	外面に煤付着
385	土師質羽釜	口径 24.2	口縁部やや内彎。断面方形の短い鏝が水平に付く。口縁部は平坦に仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。鏝部ヨコナデ。体部内面ナデ。鏝貼り付け。	砂粒を多く含む。	灰褐色	内外面に煤付着
386	瓦質羽釜	口径 25.9	口縁部やや内彎。口縁端部は平坦。体部は直立気味。断面方形の短い鏝がやや上向きに付く。	口縁部内外面、鏝部ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。体部内面ユビオサエ後横方向のハケ目。	砂粒を多く含む。	灰色	
387	磁器碗	口径 10.4	体部やや内彎し、口縁部外反する。	青みを帯びた白色透明釉を施し、口縁端部の釉を掻き取る。	精良。	素地白色	白磁
388	磁器碗	底径 5.4	底部に器壁厚い。断面方形の安定した高台が付く。	高台畳、底部外面以外緑色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地白色	龍泉窯系青磁
389	土師質土錘	長さ 2.6 胴径 0.8 重さ 1.5 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	明赤褐色	
390	土師質土錘	長さ 2.8 胴径 1.1 重さ 2.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	灰褐色	
391	土師質土錘	長さ 2.9 胴径 0.9 重さ 2.1 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
392	土師質土錘	長さ 3.3 胴径 1.1 重さ 3.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	赤褐色	

第39表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (23)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
393	土師質土鍾	長さ 3.4 胴径 1.0 重さ 3.4 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
394	土師質土鍾	長さ 3.6 胴径 1.2 重さ 5.3 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	暗褐色	
395	土師質土鍾	長さ 4.2 胴径 0.8 重さ 4.0 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰黄色	
396	土師質土鍾	長さ 5.2 胴径 1.1 重さ 5.2 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
397	土師質土鍾	長さ 4.2 胴径 1.0 重さ 4.1 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	赤褐色	
402	土師質杯	口径 11.8 器高 3.05 底径 8.5	体部直線的。口縁部やや内彎。口縁端部はやや丸い。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
403	土師質杯	口径 11.1 器高 3.6 底径 4.9	体部、口縁部直線的。口縁部の器壁薄く、底部の器壁厚い。	口縁部、体部内外面丁寧なロクロナデ。底部内面ナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
404	土師質杯	口径 11.5 器高 4.0 底径 6.2	体部やや内彎。口縁部直線的。底部内面凹凸有り。	口縁部、体部内外面粗いロクロナデ。底部回転ヘラ切り。底部内面粗いナデ。	微砂粒を少量含む。	灰黄褐色	
405	土師質杯	口径 12.4 器高 3.5 底径 6.5	体部やや内彎。底部中央の器壁がやや肥厚する。	底部回転ヘラ切り。体部、口縁部内外面丁寧なロクロナデ。底部内面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
406	土師質杯	口径 10.0 器高 3.4 底径 7.2	体部やや内彎。口縁部直線的。口縁部の器壁薄く、先端部は尖る。底部の器壁厚い。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
407	土師質杯	底径 7.5	体部内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。体部内外面丁寧なロクロナデ。底部内面粗いナデ。	微砂粒を少量含む。	暗橙色	
408	土師質杯	底径 7.7	体部やや内彎する。底部ややもり上がり、器壁厚い。底部凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。体部外面ナデ。体部、底部内面丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
409	土師質杯	底径 7.2	体部やや内彎。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後、ナデ。体部内外面、底部内面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
410	土師質皿	口径 7.8 器高 1.6 底径 6.8	口縁部やや内彎。底部やや上げ底で、中央部の器壁薄い。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
411	土師質皿	口径 7.3 器高 1.3 底径 6.0	直線的に立ち上がり、口縁端部は丸い。底部は器壁厚く、やや凹む。	底部回転糸切り。底部外面以外、丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	暗灰褐色	
412	土師質皿	口径 7.5 器高 1.5 底径 6.4	直線的に立ち上がり、口縁端部は丸くおさめる。底部肥厚し、中央部やや凹む。	底部回転糸切り。口縁部、体部外面ロクロナデ。口縁部、体部、底部内面ナデ。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
413	土師質皿	口径 6.8 器高 1.3 底径 5.1	体部直線的に立ち上がり、口縁部やや外反する。底部は肥厚する。	底部回転糸切り。底部外面以外丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	明褐色	

第40表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (24)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
414	土師質皿	口径 7.7 器高 1.3 底径 6.8	口縁部、体部外方に開き、直線的。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡灰褐色	
415	土師質高台付皿	底径 5.6	底部平底。体部外反。器壁厚い。	体部外面ヘラケズリ後粗いナデ。体部底部内面、粗いロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	暗黄褐色	
416	土師質椀	口径 10.3 器高 2.5	体部やや内彎。口縁部やや外反。器壁は全体に均一。底部丸底。無高台。	口縁部内外面ロクロナデ。体部底部内面ナデ。体部外面粗いナデ。底部外面ユビオサエ後粗いナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
417	土師質椀	底径 4.4	体部やや内彎。全体に器壁薄い。底部、断面三角形の高台付く。	体部、底部丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部ナデ。	微砂粒を少量含む。	灰黄色	
418	瓦質羽釜	口径 26.4	直立する口縁部に断面方形で水方向にやや短めの鏝が付く。口縁端部は平坦でわずかに左右に拡張。	口縁部内外面、鏝部ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	褐灰色	外面に煤付着
419	土師質土錘	残存長 2.8 胴径 1.0 重さ 2.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	暗赤褐色	
422	須恵質こね鉢	口径 26.4	口縁部やや外反。体部直線的。口縁端部上下にやや拡張し、丸く仕上げる。	体部、口縁部内外面ロクロナデ。口縁部内外面、体部内面全体に自然釉。	微砂粒を多く含む。	素地灰色	東播系
423	瓦質擂鉢	底径 13.0	体部外方に開く。器壁厚い3条を1単位とする櫛猫条線。	体部外面ロクロナデ。体部底部内面ナデ。底部外面粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	
424	須恵質こね鉢	口径 29.6	口縁部やや外反。口縁端部上下に拡張し、上部やや尖り、下部丸い。	口縁部、体部内外面ロクロナデ。体部内面仕上げナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
425	土師質杯	底径 5.5	底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。体部内面中央ややもり上がる。体部にナデによる稜が明瞭に残る。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	精良。	浅黄橙色	
426	土師質杯	底径 6.7	体部やや内彎。体部と底部の境、明瞭な稜を残す。	体部内外面ロクロナデ。	精良。	(内面) 灰白色 (外面) 浅黄橙色	
427	瓦質脚部	残存長 4.8 径 2.5	断面ほぼ円形。	全体に縦方向のナデを施す。	砂粒を少量含む。	灰白色	
428	瓦質脚部	残存長 9.3 径 2.9	断面円形。中央部緩やかに屈曲。	全体に縦方向のナデ。	微砂粒を含む。	黒褐色	
429	土師質羽釜	口径 21.8	口縁部ほぼ直立。口縁端部は平坦に仕上げる。短い鏝が付く。体部内彎。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。体部外面下部粗い平行叩きを施す。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	外面に煤付着顕著
430	瓦質羽釜	口径 19.7	口縁端部わずかに拡張。鏝がほぼ水平に付く。	口縁部、鏝部ナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	外面に煤付着顕著
431	陶器甕	底径 14.0	体部直線的に立ち上がる。	体部内外面ナデ。		灰黄褐色	
432	陶器擂鉢	口径 33.6	口縁部直線的。口縁端部上下に大きく拡張し、先端部を丸く仕上げる。体部内面に8条以上を1単位とする櫛猫条線。	口縁部内外面ナデ。	砂粒を多く含む。	灰赤色	備前焼

第41表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (25)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
433	陶器皿	口径 50.6	口縁部を水平方向に押し広げ、端部を丸くおさめる。体部にナデによる稜が残る。	体部はナデ。			瀬戸焼
434	土師質碗	口径 10.4 器高 3.2 底径 3.2	体部、口縁部内彎。高台断面三角形で低い。	口縁部ヨコナデ。体部外面ユビオサエの痕有り。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
435	陶器甕	口径 24.0	口縁部大きく外反。端部と上下方に拡張。体部内彎。	口縁部から頸部にかけてロクロナデ。体部外面に斜め方向の細かい叩き目。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
436	陶器甕	口径 34.4	口縁部大きく外反。口縁端部上下に大きく拡張する。上端面は凹凸有り。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	暗灰黄色	常滑焼
437	瓦器碗	口径 10.8 器高 3.0	体部、口縁部内彎。端部を丸くおさめる。	口縁部内外面ヨコナデ。内面わずかにヘラミガキの痕。外面ユビオサエ痕有り。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
438	須恵質こね鉢	口径 25.5	口縁部内彎。端部上方に拡張し、先端部を尖り気味に仕上げる。	口縁部、体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	灰色	東播系
439	土師質皿	口径 6.8 器高 1.6 底径 6.1	体部わずかに外反。口縁端部丸く仕上げる。底部内面わずかに凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。底部内外面以外ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
440	土師質碗	口径 11.2 器高 3.7 底径 4.6	体部内彎。断面三角形の安定した高台を持つ。	体部はナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
441	瓦質鍋	口径 26.3	口縁部大きく外反した後、内彎。口縁端部やや肥厚しわずかに凹面に仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。	精良。	灰白色	外面煤付着
442	陶器甕	—	体部小片。	外面細かい格子目叩き有り。内面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	
443	磁器碗	口径 18.4	口縁部直線的。体部外面にやや幅広いの鍋蓮弁文を削り出す。	全面丁寧なロクロナデ。淡緑色の釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
444	磁器碗	底径 4.8	底部の器壁厚。高台断面方形状。	高台内側面、底部外面以外淡黄緑色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地淡橙色	龍泉窯系青磁
445	土師質土錘	長さ 6.0 胴径 1.4 重さ 13.1g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエ後ナデを施す。	精良。	橙色	
446	土師質土錘	長さ 4.0 胴径 1.3 重さ 7.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエ後ナデを施す。	精良。	橙色	
447	土師質杯	口径 10.6 器高 3.2 底径 7.0	底部内面中央部がわずかにもり上がる。底部より口縁部にかけてやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後ナデ。全面にわたり丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
448	土師質碗	底径 4.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部内面は丁寧なナデ。底部高台三角形に尖る。	貼り付け高台。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
449	瓦器皿	口径 7.8 器高 1.5	底部よりゆるやかに内彎しながらもり上がる。口縁端部は丸く、やや外反する。	底部外面ユビオサエ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	暗緑灰色	
450	磁器碗	—	体部やや内彎。口縁部やや外反し、端部は尖る。体部外面鍋蓮弁文を削り出す。	淡緑色釉を施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
451	土師質土錘	長さ 3.2 胴径 0.9 重さ 2.6g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	

第42表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (26)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
452	土師質土錘	長さ 3.8 胴径 1.4 重さ 6.8 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	明赤褐色	
453	瓦質土錘	長さ 4.7 胴径 1.5 重さ 9.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰色	
454	瓦質土錘	長さ 5.35 胴径 1.4 重さ 10.1 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰色	
455	瓦質土錘	長さ 6.3 胴径 1.0 重さ 6.2 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	灰色	
456	土師質土錘	長さ 4.2 胴径 1.15 重さ 5.1 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
457	土師質土錘	長さ 3.55 胴径 1.1 重さ 2.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	明赤褐色	
458	土師質杯	口径 12.1 器高 3.7 底径 7.6	体部やや内彎。口縁部やや外反。口縁端部はやや尖る。底部内面やや凹む。	底部回転糸切り後ナデ。全面にかけ丁寧なロクロナデ。	砂粒を少量含み微砂粒を多く含む。	黄橙色	
459	土師質皿	口径 7.1 器高 1.5 底径 6.0	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。全体的に器形やや歪む。	底部回転ヘラ切り。凹凸顕著。全体的に粗いナデ。	砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
460	土師質碗	口径 10.2 器高 3.6	口縁部やや外反。口縁端部はやや丸い。	貼り付け高台。高台部ヨコナデで三角形に尖る。全体にわたり丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
461	土師質碗	口径 10.6 器高 3.3 底径 3.9	体部内彎しながら立ち上がり、口縁部やや外反。口縁端部は丸い。高台部に口縁部の破片付着。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。わずかに歪む。全体的に丁寧なロクロナデ。	やや砂粒を含み微砂粒を多く含む。	灰白色	
462	土師質碗	口径 10.4 器高 2.9 底径 4.1	体部やや内彎。口縁部大きく外反。口縁端部はやや丸い。	貼り付け高台。高台部やや歪む。全面に丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
463	陶器碗	口径 11.4 器高 2.5 底径 6.2	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を含む。	灰白色	備前焼
464	瓦質盤	口径 47.6	体部直線的。口縁端部を左右に拡張する。体部にナデによる稜を残す。	口縁部、体部ヨコナデ。口縁部外面横方向のハケ目有り。体部外面ユビオサエ痕有り。			
465	土師質杯	口径 11.5 器高 3.3 底径 9.8	口縁部直線的。口縁端部は丸い。底部内面ロクロナデによる凹凸有り。底部内面ユビオサエ。	底部回転糸切り。全面にわたりロクロナデ。	砂粒を多く含む。	黄橙色	
466	土師質杯	口径 10.6 器高 2.9 底径 8.5	体部やや内彎。口縁端部は丸い。底部内面ロクロナデ。やや凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	橙色	
467	土師質杯	口径 11.7 器高 8.5 底径 3.8	口縁端部やや外反し、丸い底部外面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面ユビオサエ。体部口縁部内外面とも丁寧なロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
468	土師質杯	口径 11.6 器高 3.1 底径 8.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜残る。底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り後、やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	黄褐色	

第43表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (27)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
469	土師質杯	口径 10.6 器高 3.15 底径 8.4	口縁端部はやや丸い。底部内面渦巻状のナデ。	底部回転糸切り後、粗いナデ。全体的にやや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	黄橙色	
470	土師質杯	口径 10.8 器高 3.4 底径 9.4	体部中央ナデにより外反する。口縁部やや内彎。口縁端部はやや丸い。底部内面はややもり上がる。底部内面ユビオサエ。	底部回転糸切り後ナデ。全面にわたりゆるやかなクロコナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
471	土師質杯	口径 11.2 器高 3.2 底径 9.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。内面ゆるやかなヨコナデ。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
472	土師質杯	口径 11.1 器高 2.9 底径 7.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
473	土師質杯	口径 10.8 器高 3.1 底径 8.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
474	土師質皿	口径 8.2 器高 1.8 底径 6.5	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
475	土師質皿	口径 7.7 器高 1.1 底径 6.35	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。内外面とも丁寧なナデ。	砂粒を含む。	にぶい橙色	
476	土師質椀	口径 11.4 器高 3.45 底径 4.1	底部より中位に向かいやや直線的に立ち上がり、中位より上位に向かってやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	貼り付け高台。内外面やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
477	磁器碗	口径 16.0	口縁端部大きく外反し、口縁部の釉を掻き取る。	淡緑色釉を全面に施す。	精良。	素地灰白色	青磁
478	瓦器椀	口径 11.2 器高 2.7	口縁部やや内彎。先端部は丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部、底部外面ユビオサエ。部分的にヘラミガキ。	微砂粒を少量含む。	灰色	
479	土師質杯	口径 10.2 器高 2.9 底径 8.2	体部内彎し口縁部直線的に立ち上がる。底部内面凹凸有り。底部外面粘土はみ出し有り。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
480	土師質杯	口径 12.4 器高 3.1 底径 9.9	体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁部丸い。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
481	土師質杯	底径 8.75	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。底部内面やや凹む。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
482	土師質椀	口径 11.4 器高 3.3 底径 4.1	体部直線的に外方へ開き、口縁部直線的に斜め上方へ立ち上がる。口縁端部は丸い。高台断面三角形。体部外面成形による稜有り。	全体にナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	一部煤付着
483	土師質椀	口径 10.7 器高 3.5 底径 3.8	口縁端部やや丸い。体部上位にやや膨らみを持ち、やや外反する。	貼り付け高台。高台部粗雑。	砂粒を多く含む。	橙色	
484	土師質椀	口径 10.7	体部内彎し、口縁部にかけてやや外反する。体部外面中位に成形による稜有り。	体部外面ヨコナデ。体部内面ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
485	土師質椀	底径 4.4	体部外方へ開く。低い高台が付く。	底部外面以外ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を含む。	にぶい黄橙色	

第44表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (28)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
486	瓦器碗	口径 10.9	体部内彎。口縁端部はやや丸い。	内面は丁寧なナデ。外面はやや粗いナデ。ヘラミガキ痕が残る。	微砂粒を含む。	灰色	
487	瓦器碗	口径 10.8 器高 2.5 底径 3.6	体部、口縁部内彎。口縁端部は丸い。無高台。	底部から体部外面ユビオサエ。口縁部外面ヨコナデ。内面全体ナデ。	砂粒を含む。	灰色	煤付着
488	瓦器碗	口径 14.5	体部やや内彎。口縁端部は丸い。	体部内外面ナデ。ヘラミガキ痕残る。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
489	磁器碗	底径 4.9	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。安定した高台が付く。	高台部やや丁寧なナデ。全面にかけ淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	青磁
490	土師質杯	口径 11.4 器高 3.0 底径 8.5	体部やや内彎。口縁端部はやや尖る。体部にナデによる稜有り。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
491	土師質杯	口径 11.9 器高 3.5 底径 6.8	体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。体部、口縁部の器壁薄い。底部中央にかけて器壁厚くなっている。	底部回転糸切り。体部内外面ヨコナデ。底部内面ナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	
492	土師質杯	口径 10.2 器高 3.0 底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
493	土師質杯	口径 10.4 器高 3.4 底径 7.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り。内外面やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
494	土師質杯	口径 12.0 器高 4.1 底径 9.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。底部内面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
495	土師質杯	口径 10.1 器高 3.8 底径 7.4	体部から口縁部にかけてやや内彎気味に立ち上がる。口縁端部やや薄く仕上げる。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
496	土師質杯	底径 8.6	底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
497	土師質皿	口径 7.3 器高 1.3 底径 6.1	口縁部直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。底部の器壁やや薄い。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
498	土師質皿	口径 8.6 器高 1.3 底径 6.5	口縁部は直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後、やや粗いナデ。全面にかけやや丁寧ナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
499	土師質皿	口径 7.3 器高 1.4 底径 6.8	底部よりやや外反気味に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。内外面やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
500	土師質皿	口径 7.4 器高 1.5 底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後、やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
501	土師質皿	底径 6.0	底部より口縁部にかけてやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後、ユビオサエの跡有り。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
502	土師質皿	口径 7.9 器高 1.4 底径 6.0	底部より外反しながら立ち上がる。底部中央器壁厚い。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
503	土師質皿	口径 6.9 器高 1.4 底径 5.6	口縁部やや内彎し、端部は丸い。底部内面やや凹凸有り。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第45表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (29)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
504	土師質皿	口径 7.8 器高 1.3 底径 5.8	底部よりやや直線的に立ち上がり、口縁端部は尖る。	口縁部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
505	土師質皿	口径 7.2 器高 1.3 底径 6.1	口縁部やや外反し、底部内面やや凹凸有り。	体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
506	土師質皿	口径 7.2 器高 1.2 底径 5.7	口縁部直線的に立ち上がり口縁端部はやや尖る。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
507	土師質皿	口径 7.7 器高 1.75 底径 5.9	体部、口縁部やや外反。	底部回転糸切り。底部外面やや凹凸有り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
508	土師質皿	口径 6.9 器高 1.7 底径 6.1	口縁部内彎し、端部はやや尖る。底部内面と口縁部の境に成形による稜有り。底部外面粘土はみ出し有り。	底部回転糸切り。口縁部内外面ナデ。	微砂粒を含む。	にぶい赤褐色	
509	土師質皿	口径 7.8 器高 1.5 底径 6.3	口縁部内彎し、端部やや尖る。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
510	土師質皿	底径 5.4	体部やや直線的に立ち上がる。底部、中央部器壁厚い。	体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
511	土師質皿	口径 7.4 器高 1.4 底径 7.0	口縁部直線的に立ち上がり端部はやや尖る。底部粘土一部はみ出し有り。器壁やや薄い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
512	土師質皿	口径 8.0 器高 1.1 底径 6.6	口縁部内彎し、端部やや丸い。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を多く含む。	淡赤橙色	
513	土師質皿	口径 7.2 器高 1.1 底径 5.5	口縁部内彎し端部は尖る。	底部回転糸切り。底部外面以外ヨコナデ。	微砂粒を含む。	淡橙色	
514	土師質皿	口径 8.1 器高 1.7 底径 6.4	口縁部直線的に立ち上がり端部は丸い。口縁部と底部の境わずかに稜をとどめる底部外面凹む。	底部買い手にと切り。口縁部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
515	土師質杯	底径 8.8	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
516	土師質高台付皿	口径 7.7 器高 2.3 底径 4.7	底部の器壁厚い。底部中央部はやや丸底状。	底部回転糸切り。体部内面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
517	土師質高台付皿	底径 5.5	底部高台状に突出し、底部中央部凹む。底部内面わずかにもり上がる。	底部回転糸切り。体部内外面ヨコナデ。	微砂粒と砂粒を含む。	にぶい橙色	
518	土師質碗	口径 10.9	体部中位にかけやや直線的に多立ち上がり、中位より上位にかけ直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	内外面共やや丁寧なロクロナデ。	やや砂粒を含む。	にぶい黄橙色	
519	土師質碗	口径 11.4 器高 3.35 底径 4.6	体部下位はやや内彎。体部中央部による稜有り。口縁端部はやや丸い。	貼り付け高台。高台部は三角形に先端尖る。内外面共やや丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
520	土師質碗	口径 11.3 器高 3.4 底径 4.5	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部やや丸い。高台断面三角形であるが一部平坦。	貼り付け高台。ヨコナデでやや楕円状になる口縁部、体部内外面丁寧なナデ。	微砂粒を多く、砂粒を少量含む。	灰白色	

第46表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (30)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
521	磁器皿	底径 5.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部一部露胎。全面にかけ白色の釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰白色	白磁
522	磁器皿	口径 10.6	体内内彎。体部中位より上位にかけ直線的に立ち上がり、先端丸い。	口縁部口禿。	精良。	素地灰白色	白磁
523	陶器椀	口径 11.3 器高 3.1 底径 5.8	体部にナデによる稜が残る口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部内外面ロクロナデ。体部内外面、底部内面ナデ。	精良。	灰白色	備前焼
524	磁器碗	—	体内内彎。体部外面に鑄蓮弁文を施す。	全面にかけ淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	青磁
525	瓶子	口径 4.8	体部小片。口縁端部はやや丸い。	淡青白色釉を施す。	微砂粒を含む。	灰白色	瀬戸焼
531	土師質杯	口径 11.3 器高 3.8 底径 7.65	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部は尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
532	土師質杯	口径 10.8 器高 3.3 底径 8.0	体部やや内彎し、口縁にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。底部に粘土のみ出し有り。	底部回転ヘラ切り。底部以外内面ナデ。	微砂粒を多量に含む。	にぶい橙色	
533	土師質杯	口径 12.0 器高 3.2 底径 9.0	底部よりやや外反しながら立ち上がり、中位より上位にかけ直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
534	土師質杯	口径 12.1 器高 3.8 底径 8.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。底部内面はゆるやかなロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
535	土師質杯	口径 10.8 器高 8.2 底径 3.4	体部直線的に立ち上がり、口縁端部やや外反する。底部内面わずかにもり上がる。	底部回転糸切り後ナデ。口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
536	土師質杯	口径 10.4 器高 3.8 底径 7.5	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。底部内面はゆるやかにもり上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。内外面とも丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
537	土師質杯	口径 10.4 器高 3.3 底径 8.0	体部下位より直線的に立ち上がり、中位より口縁部にかけ内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。底部内面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
538	土師質杯	口径 11.3 器高 3.6 底径 8.7	体部やや内彎。中位でナデの稜が残る。口縁端部はやや内彎し、先端は尖る。底部内面はゆるやかにもり上がる。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	橙色	
539	土師質杯	口径 12.0 器高 3.9 底径 8.7	体部ほぼ直線的に立ち上がる。口縁部やや外反。口縁端部丸い。体部と底部の境目わずかに稜を留める。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
540	土師質杯	口径 10.9 器高 4.2 底径 7.8	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面はややもり上がり中心部は凹む。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
541	土師質杯	口径 9.8 器高 4.2 底径 7.6	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁部は尖る。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。体部内外面丁寧なナデ。	精良。	橙色	
542	土師質杯	口径 11.3 器高 3.7 底径 8.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。内外面とも丁寧なナデ。	精良。	橙色	

第47表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (31)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
543	土師質杯	口径 11.4 器高 2.8 底径 4.0	底部より直線的に立ち上がり、口縁部わずかに外反。	底部回転糸切り。口縁部、体部内外面丁寧なロクロナデ。	微砂粒と砂粒を含む。	橙色	
544	土師質杯	口径 11.3 器高 3.4 底径 8.0	体部やや外反し、口縁部直線的に立ち上がる。口縁端部は尖る。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
545	土師質杯	口径 10.6 器高 3.6 底径 9.0	底部よりやや直線的に立ち上がり、中位でやや内彎。中位より上位にかけやや直線的に立ち上がる。器壁が薄い。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
546	土師質杯	口径 11.6 器高 4.0 底径 8.0	体部わずかに内彎し、口縁部直線的に立ち上がる。口縁端部やや尖る。底部粘土はみ出し有り。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
547	土師質杯	口径 10.0 器高 3.2 底径 7.7	体部ナデによる稜が残る。口縁端部やや丸い。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り。体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
548	土師質杯	口径 11.1 器高 3.1 底径 7.9	体部内彎。口縁部直線的で端部は丸い。	底部回転糸切り後ナデを施す。全体にナデを施す。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
549	土師質杯	口径 12.5 器高 3.25 底径 9.05	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部は尖る。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
550	土師質杯	口径 9.8 器高 3.2 底径 8.0	体部内彎し、口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。底部内面やや凹凸有り。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
551	土師質杯	口径 11.3 器高 3.4 底径 8.0	体部やや外反し、口縁部にかけて内彎している。口縁端部は器壁薄く、やや丸い。体部外面成形による弱い稜有り。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
552	土師質杯	口径 12.3 器高 3.1 底径 9.0	体部、口縁部やや外反。口縁端部は丸い。体部外面ナデによる稜が残る。底部に粘土のはみ出し一部有り。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
553	土師質杯	底径 7.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り後、やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
554	土師質杯	底径 6.2	底部と体部の境、明瞭な稜有り。底部内面中央やや凹む。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
555	土師質杯	底径 8.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。内面底部はやや凹凸顕著。	底部回転糸切り後、やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
556	土師質杯	底径 8.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。底部内面はややもり上がる。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
557	土師質杯	底径 6.2	体部内彎。体部と底部の境、明瞭な稜有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
558	土師質杯	底径 9.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
559	土師質杯	底径 8.1	底部内面中央ややもり上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
560	土師質杯	底径 9.0	体部内彎。体部と底部の境、成形による明瞭な稜有り。底部の器壁厚く、平底状。	底部回転糸切り後、ナデを施す。体部外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
561	土師質皿	口径 7.8 器高 1.2 底径 5.3	体部から口縁部にかけてゆるやかに外反。底部内面中央ややもり上がる。	底部回転糸切り。体部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	

第48表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (32)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
562	土師質皿	口径 7.7 器高 1.6 底径 5.6	口縁部やや外反し、端部はやや肥厚し丸い。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
563	土師質皿	口径 7.8 器高 1.5 底径 6.1	口縁部内彎し、端部は尖る。底部内面やや凹凸有り。口縁部と底部の境わずかに稜をとどめる。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
564	土師質皿	口径 8.3 器高 1.9 底径 6.4	体部やや外反し、口縁部丸い。底部内面中央部やや凹み、器壁薄い。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
565	土師質皿	口径 7.8 器高 1.5 底径 6.5	口縁部は直線的に立ち上がり、端部はやや尖る。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	淡橙色	
566	土師質皿	口径 6.4 器高 1.9 底径 6.0	体部は外反し、口縁部は丸い。底部の器壁厚く一部粘土のはみ出し有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
567	土師質皿	口径 7.6 器高 1.4 底径 6.3	口縁部やや内彎し、端部尖る。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
568	土師質皿	口径 7.6 器高 1.8 底径 5.8	口縁部やや外反し、端部はやや肥厚し、丸い。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
569	土師質皿	口径 8.7 器高 1.4 底径 7.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁部は丸い。	底部回転糸切り後、やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
570	土師質皿	口径 7.2 器高 1.6 底径 5.4	口縁部は外反し、口縁部は丸い。	底部回転糸切り。	微砂粒、砂粒を少量含む。	橙色	
571	土師質皿	口径 8.6 器高 1.0 底径 6.7	口縁部短くやや内彎。口縁部やや尖る。底部と口縁部の境、稜有り。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
572	土師質皿	口径 6.8 器高 1.6 底径 5.7	口縁部やや外反。口縁部丸い。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
573	土師質皿	口径 7.5 器高 1.7 底径 5.7	口縁部わずかに外反。口縁部丸い。	底部回転糸切り。全体に内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
574	土師質皿	口径 7.3 器高 1.7 底径 6.2	口縁部やや丸い。口縁部わずかに外反。	体部内外面ナデ。底部わずかに凹凸有り。底部回転糸切り。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
575	土師質皿	口径 7.5 器高 1.6 底径 5.6	口縁部外反。端部は丸い。底部内面わずかにもり上がる。	底部回転糸切り。全体的にロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
576	土師質皿	口径 6.5 器高 1.6 底径 5.2	口縁部直立気味に立ち上がり、端部は尖る。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
577	土師質皿	口径 7.0 器高 1.5 底径 8.5	口縁部外反し、端部は丸い。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
578	土師質皿	口径 7.7 器高 1.9 底径 6.2	口縁部直線的。口縁部丸い。体部と底部の境、明瞭な稜をなす。全体的に器壁厚い。	底部静止糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	

第49表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (33)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
579	土師質皿	口径 7.6 器高 1.7 底径 5.8	口縁部はやや外反し、端部は丸い。	体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
580	土師質皿	口径 8.2 器高 1.4 底径 6.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
581	土師質皿	口径 7.3 器高 1.5 底径 5.6	口縁部直線的で、端部は尖る。底部内面やや凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
582	土師質皿	口径 5.9	体部直線的に立ち上がる。底部粘土はみ出し有り。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
583	土師質椀	口径 11.3 器高 2.85 底径 4.8	体部やや内彎。口縁端部は丸い。	高台部貼り付け高台。高台部ヨコナデ。高台部三角形に尖り、歪む全体にわたり丁寧なロクロナデ。	精良。	灰白色	
584	土師質椀	口径 10.8 器高 3.2 底径 4.7	口縁部やや外反。高台断面三角形で小さく、やや粗雑な作り。高台は楕円形。体部やや内彎。	体部外面上部強いヨコナデ。内面丁寧なナデ。底部外面ユビオサエ。高台部ヨコナデ。貼り付け高台。	微砂粒を含む。	灰白色	
585	土師質椀	口径 10.8 器高 3.15 底径 4.8	底部より中位、中位より上位にかけてやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部の貼り付け高台を丁寧に仕上げる。先端はやや尖る。全面にかけ丁寧なロクロナデ。	精良。	浅黄橙色	
586	土師質椀	口径 11.1	体部、口縁部内彎。口縁端部はやや尖る。体部成形による弱い稜有り。	体部内面丁寧なナデ。外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
587	土師質椀	口径 11.3	体部、口縁部内彎。口縁端部は尖る。口縁部の器壁やや薄い。	全体に丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
588	土師質椀	口径 10.7	体部中位で屈曲。口縁部は直線的で端部はやや尖る。	体部内面丁寧なナデ。体部外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
589	瓦器椀	口径 11.3 器高 3.0	口縁部やや外反。口縁端部は丸い。底部やや丸底状。	体部内外面丁寧なナデ。体部外面ユビオサエ。内面渦巻状のヘラミガキ。	砂粒を多く含む。	褐灰色	
590	須恵質椀	口径 12.6 器高 4.35 底径 4.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。丸底状。体部外面に成形による稜が多く付く。	内外面やや丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	暗青灰色	
591	陶器椀	口径 11.7 器高 5.8	体部内彎。口縁部直線的で端部はやや尖る。口縁部器壁薄い。平底。	体部、口縁部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	備前焼
592	磁器碗	口径 11.6	口縁部外反。口縁端部はやや尖る。全体に器壁やや薄い。	白色透明釉を薄く施し口縁部の釉を掻き取る(口禿)	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	白磁
593	土師質皿	口径 7.0 器高 1.7 底径 6.2	底部よりやや直線的に立ち上がり、口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	精良。	にぶい橙色	
594	土師質皿	口径 7.2 器高 1.55	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部ユビオサエの跡有り。体部やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
595	須恵質こね鉢	口径 20.7	体部やや直線的に立ち上がり、口縁端部は「く」の字状になる。先端はやや丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
596	須恵質こね鉢	口径 28.9	底部より外反しながら立ち上がる。口縁端部は「く」の字状にやや外反している。	内面は丁寧なヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	東播系

第50表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (34)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
597	土師質土鍾	長さ 3.3 胴径 1.1 重さ 4.2 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	橙色	
598	土師質土鍾	長さ 5.4 胴径 1.0 重さ 3.9 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を含む。	灰白色	
599	土師質土鍾	長さ 6.3 胴径 1.05 重さ 5.0 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
601	瓦器皿	口径 7.85 器高 1.6 底径 2.8	底部よりやや内彎しながら中位まで立ち上がり、中位より上位にかけて外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部外面にユビオサエの跡有り。	砂粒を含む。	灰色	
602	須恵質こね鉢	底径 9.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部にナデによる稜有り。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
603	須恵質こね鉢	底径 10.7	体部直線的。体部内外面ナデによる稜有り。底部中央簿の器壁薄い。	底部回転糸切り。体部外面ヨコナデ。底部、体部内面ナデ。	微砂粒を含む。	灰色	東播系 煤付着
604	須恵質こね鉢	口径 29.6	体部直線的立ち上がり、口縁端部は「く」の字状。端部はやや丸い。		砂粒を多く含む。	灰白色 褐灰色	東播系
606	土師質杯	底径 9.6	底部より直線的に立ち上がる。底部内面はやや平らで中心部はややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
607	土師質土鍾	長さ 4.8 胴径 1.1 重さ 4.9 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
608	土師質土鍾	長さ 4.5 胴径 1.2 重さ 5.1 g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	橙色	
609	磁器碗	底径 5.5	全体的にやや厚く、底部の器壁厚い。底部内面にスタンプ文。	全面丁寧なロクロナデ。底部外面以外淡緑色釉を薄く施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
610	土師質杯	底径 7.7	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。底部は平らで丁寧なナデ。	底部回転ヘラ切り後、やや丁寧なナデ。内外面とも丁寧なロクロナデ。	精良。	浅黄橙色	
611	土師質杯	口径 13.4 器高 3.3 底径 8.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸く肥厚する。	底部回転ヘラ切り後、板ハケ目有り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
612	土師質杯	口径 10.5 器高 3.3 底径 5.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後、やや丁寧なナデ。	精良。	橙色	
613	土師質杯	底径 5.9	底部から体部にかけてやや内彎しながら立ち上がる。体部下側にヘラによるヨコナデがみられる。	底部回転ヘラ切り。口縁部、体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	黄橙色	
614	土師質杯	口径 10.1 器高 2.8 底径 6.3	体部中央にナデによる稜が明瞭に残る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
615	土師質皿	底径 5.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第51表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (35)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
616	土師質皿	口径 7.8 器高 1.05 ~1.25 底径 6.65	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや丸い。底部内面口クロナデ。中央部ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後板叩き有り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
617	土師質皿	口径 6.4 器高 1.5 底径 4.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面もり上がる。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
618	磁器皿	口径 12.3 器高 2.7 底径 8.5	体部直線的。口縁端部は平坦。	全面丁寧な口クロナデ。青みを帯びた白色透明釉を施し、口縁端部の釉を掻き取る。	黒粒を多く含む。	素地灰白色	白磁
619	土師質椀	口径 12.0 器高 3.2 底径 4.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部断面三角形の貼り付け高台。体部は丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
620	土師質鍋	口径 30.8 器高 13.2	体部内彎し、口縁部は「く」の字状。端部は平坦。	体部下方内外面ハケ目有り。体部外面ユビオサエ痕有り。口縁部内外面ナデ。			
621	陶器甕	底径 19.8	底部外面ゆるやかに彎曲する。底部よりやや直線的に立ち上がる。	内外面共粗いナデ。底部内面ユビオサエの跡有り。	微細な黒粒を含む。	黄灰色	常滑焼
622	陶器	—	体部内彎。	内外面に叩きを施す。	砂粒を多く含む。	灰褐色	
623	土師質土錘	長さ 2.9 胴径 1.0 重さ 2.1g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	
624	土師質土錘	長さ 4.0 胴径 1.1 重さ 3.8g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
625	土師質杯	口径 10.8 器高 2.7 底径 6.4	口縁部直線的。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。体部外面口クロナデ。	微砂粒を少量含む。	黄橙色	
626	土師質椀	口径 10.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がり口縁部は外反する。	内面やや丁寧なナデ。外面やや粗いナデ。	やや精良。微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
627	土師質椀	口径 11.0 器高 3.4 底径 3.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部断面三角形の貼り付け高台。体部は丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
628	土師質杯	口径 11.4 器高 3.7 底径 5.7	底部より直線的に立ち上がり口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。全面にかけやや丁寧なヨコハケ目。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
629	土師質杯	口径 11.4	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部は尖る。	体部はナデ。	精良。	浅黄橙色	
630	土師質杯	口径 10.8 器高 2.9 底径 6.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がり口縁端部はやや外反する。口縁端部はやや丸い。内外面ともナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
631	土師質杯	底径 7.2	底部より内彎気味に立ち上がる。底部の器壁薄い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
632	土師質皿	口径 7.4 器高 1.3 底径 6.3	底部よりやや直線的に立ち上がり口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	淡橙色	
633	土師質皿	口径 7.6 器高 1.2 底径 5.5	底部よりやや外反しながら立ち上がり口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	

第52表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (36)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
634	土師質皿	口径 7.5 器高 1.45 底径 5.4	体部直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。全体的に丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
635	磁器碗	口径 15.0	体部、口縁部直線的。体部外面鎬蓮弁文を削り出す。	全面丁寧なナデ。淡緑色釉をやや厚めに施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
636	土師質土錘	残存長 2.8 胴径 1.05 重さ 2.7 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
637	土師質土錘	残存長 2.7 胴径 1.0 重さ 2.5 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤色	
638	陶器	—	体部内彎。	体部外面平行叩き。体部内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
641	土師質杯	口径 10.3	体部から口縁にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。体部外面に成形による数本の稜有り。	体部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
642	土師質高台付皿	口径 9.5 器高 4.3 底径 5.5	口縁端部やや丸い。体部から口縁端部にかけてやや内彎底部内面ややもり上がる。	底部回転糸切り。全体にやや粗いロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
643	土師質高台付皿	底径 6.2	体部より直線的に立ち上がる。器壁やや厚い。底部わずかに凹み、中心部わずかにもり上がる。	底部回転糸切り。全面にかけ粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
644	土師質高台付皿	底径 4.9	体部やや外反。器壁やや厚い。底部内面大きく凹む。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。全体的にナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
645	土師質杯	口径 10.9 器高 3.7 底径 5.5	体部はやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜が残る。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
646	土師質杯	口径 10.8	体部やや内彎。口縁端部はやや丸い。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
647	土師質碗	口径 11.4	体部やや内彎。体部中位に稜をなす。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
648	土師質碗	底径 4.0	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。	貼り付け高台。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
649	土師質碗	底径 4.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	貼り付け高台。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
650	瓦器碗	口径 8.3	体部内彎。体部中位にユビオサエ有り。	口縁部ナデ。体部下方ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	
651	陶器	—	体部内彎。	体部外面格子目状の叩きを施す。体部内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	
652	土師質土錘	残存長 3.0 胴径 1.1 重さ 2.8 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	オリーブ色 褐色	
653	土師質杯	口径 12.4 器高 3.4 底径 7.0	体部内彎。口縁部直線的で端部は尖る。底部内外面凹凸有り。体部外面成形による稜有り。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
654	土師質杯	口径 11.7 器高 3.1 底径 6.8	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや肥厚し先端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。内外面共やや粗いナデ。	砂粒を含む。	灰白色	
655	土師質杯	口径 11.5 器高 3.7 底径 4.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部にナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	

第53表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (37)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
656	土師質杯	口径 11.7 器高 3.3 底径 7.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖り肥厚する。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
657	土師質杯	口径 11.6 器高 3.2 底径 5.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
658	土師質杯	口径 11.5 器高 3.4 底径 8.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
659	土師質杯	口径 7.2	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
660	土師質杯	口径 6.0 器高 3.5 底径 11.0	体部内彎。口縁部は外反し端部はやや尖る。体部と底部の境は丸い。	全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
661	土師質杯	口径 6.8	体部斜め上方に立ち上がる。底部内面やや凹凸有り。	全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
662	土師質皿	口径 11.5 器高 1.5 底径 6.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
663	土師質皿	口径 7.6 器高 1.0 底径 6.5	口縁端部丸い。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
664	土師質碗	口径 11.0 器高 3.0 底径 4.0	体部内彎。ナデによる稜が残る。口縁端部はやや丸い。	底部貼り付け高台。底部はユビオサエの跡有り。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
665	土師質杯	口径 12.0 器高 3.3 底径 5.6	底部よりややゆるやかに内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや外反し、先端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
666	土師質杯	口径 11.4 器高 3.2 底径 8.4	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
667	土師質杯	口径 11.1 器高 3.5 底径 8.0	体部より内彎気味に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り。器壁内外面やや丁寧なクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
668	土師質杯	口径 12.2 器高 3.25	口縁部やや外反。体部はややゆるやかな丸みをもつ。	全体的に丁寧なクロナデ。底部回転糸切り。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
669	土師質皿	口径 6.9 器高 1.0 底径 5.45	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
670	土師質碗	口径 4.9	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。	貼り付け高台。体部内外面共やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
671	土師質碗	口径 10.4	体部にナデによる稜が残る。	体部はナデ。	精良。	灰白色	
672	瓦器皿	口径 8.0 器高 1.55 底径 2.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部外面ユビオサエの跡有り。	砂粒を多く含む。	灰色	
673	土師質鍋	口径 30.2	体部大きく内彎。口縁端部は「く」の字状。	体部内面及び外面下方ハケ目。体部上方はユビオサエ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	外面に多く煤付着
674	土師質鍋	口径 27.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がり口縁部は「く」の字状に外反する。	外面ユビオサエ。内面ハケ目が残る。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	

第54表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (38)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
675	磁器碗	—	口縁部直線的。口縁端部はやや尖る。体部外面に鑄蓮弁文を施す。	全面丁寧なナデ。淡緑色釉を施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
676	磁器碗	—	口縁部直線的。口縁端部は丸い。体部外面に鑄蓮弁文を削り出す。	全面丁寧なナデ。濃緑色釉を薄く施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
677	磁器碗	—	口縁端部はやや尖る。体部外面に蓮弁文を施す。	全面にかけ淡緑色釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
678	磁器碗	—	体部外面に鑄蓮弁文を施す。口縁端部はやや丸い。	全面にかけ淡緑色釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
679	土師質土錘	長さ 3.8 胴径 1.0 重さ 2.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
680	土師質土錘	長さ 2.9 胴径 1.05 重さ 2.9 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
681	土師質杯	底径 8.4	底部内面ゆるやかにもり上がる。体部は内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	黄橙色	
682	土師質皿	口径 6.8 器高 1.7 底径 5.4	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
683	土師質皿	口径 7.4 器高 1.3 底径 5.6	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
684	土師質碗	口径 12.4	体部、口縁部内彎し、口縁端部は丸い。丁寧な作り。	全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
688	土師質杯	口径 10.7 器高 3.5 底径 7.2	口縁部やや内彎。底部内面ユビオサエの跡有り。	底部回転糸切り後ナデ。体部内面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
689	土師質杯	口径 12.2 器高 3.2 底径 6.4	体部やや内彎。口縁部は直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。全面に丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	
690	土師質杯	底径 8.65	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
691	土師質皿	口径 7.15 器高 1.0 底径 6.35	底部よりやや外反気味に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
692	瓦器碗	口径 11.2 器高 2.8	体部やや内彎。口縁端部へ向かい肥厚する。底部高台無し。体部外面ユビオサエ痕有り。	口縁部内外面ヨコナデ。内面ナデ。体部外面ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	灰色	
693	瓦質土錘	残存長 4.7 胴径 1.6 重さ 9.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰色	
694	瓦器碗	口径 12.0	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや肥厚し丸い。	底部外面ユビオサエ。口縁部ナデ。	砂粒を多く含む。	暗灰色	
695	土師質杯	口径 12.0 器高 3.3 底径 8.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや外反する。端部肥厚し、やや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
696	土師質杯	底径 7.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第55表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (39)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
697	土師質土錘	残存長 2.95 胴径 1.0 重さ 2.7g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
698	土師質土錘	残存長 3.7 胴径 1.0 重さ 4.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
699	土師質杯	口径 11.2 器高 3.3 底径 8.5	口縁端部やや外反。口縁端部はやや丸い。体部ゆるやかに内彎。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り。器壁内外面口クロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
700	土師質皿	底径 6.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
701	土師質椀	口径 11.65	体部は内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
702	土師質土錘	長さ 5.35 胴径 1.55 重さ 10.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	にぶい橙色	
704	土師質椀	口径 10.6 器高 2.9 底径 4.1	体部直線的に外方へ開き、口縁端部は斜め上方へ立ち上がる。口縁端部は丸い。体部外面に成形による稜有り。高台断面三角形で低い。	底部外面以外ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
706	土師質杯	口径 11.8 器高 2.0 底径 6.8	体部やや内彎し、口縁部に付けて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。器壁薄く丁寧な作り。	体部はナデ。	精良。	橙色	
707	土師質杯	口径 12.2 器高 3.0 底径 8.6	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
708	土師質杯	口径 11.4 器高 3.2 底径 8.0	体部やや外反し、口縁部は直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
709	土師質杯	口径 11.6 器高 3.5 底径 5.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや肥厚し丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
710	土師質杯	底径 8.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
711	土師質杯	口径 11.3 器高 3.5 底径 7.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜が残る。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	黄橙色	
712	土師質杯	底径 6.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
713	土師質土錘	長さ 4.0 胴径 1.1 重さ 3.6g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
714	土師質土錘	長さ 5.4 胴径 1.2 重さ 6.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
715	土師質土錘	長さ 4.8 胴径 1.4 重さ 5.9g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	
716	土師質土錘	残存長 4.1 胴径 1.4 重さ 6.8g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	橙色	

第56表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (40)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
717	土師質土鍾	長さ 2.8 胴径 1.2 重さ 3.1g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰赤色	
719	瓦器椀	口径 11.5 器高 2.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁部はやや外反しながら肥厚する。口縁端部はやや丸い。	内外面ヨコナデ。やや粗いナデ。内面にヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	暗青灰色	
722	土師質皿	口径 7.4 器高 1.2 底径 6.5	底部よりやや外反しその後直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。底部内面はややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	黄橙色	
723	土師質皿	口径 6.6 器高 1.2 底径 5.1	体部直線的に立ち上がり口縁端部はやや丸い。口縁部器壁薄く底部は厚い。	全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	淡橙色	
724	陶器皿 (輪花入子)	口径 5.8 器高 1.5 底径 4.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。口縁部形押し出しを施す。	微砂粒を多く含む。	灰白色	瀬戸焼
725	須恵質こね鉢	底径 9.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
726	土師質土鍾	長さ 3.5 胴径 1.2 重さ 3.7g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
730	土師質羽釜	口径 25.2	体部内彎し、口縁端部は平坦に仕上げる。水平方向に短い鑊が付く。	底部内外面ともハケ目有り。体部外面はユビオサエ。	砂粒を含む。	にぶい橙色	
731	土師質杯	底径 7.2	底部から体部にかけて器壁厚く、境目に粘土のみ出し有り。体部外面成形による斜めの稜有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
732	土師質杯	底径 8.2	体部内彎。体部外面に成形による稜有り。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
733	土師質杯	底径 7.6	体部やや内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を含む。	にぶい黄橙色	
734	土師質杯	底径 6.5	体部下方に成形による稜有り。	底部回転糸切り。全体にやや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
735	土師質杯	口径 7.0	体部内彎。底部内面凹凸有り。底部と体部の境、明瞭な稜有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
736	土師質杯	底径 8.0	体部やや内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
737	土師質杯	底径 7.9	体部内彎。底部内面やや凹凸有り。	底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
738	土師質杯	底径 6.9	体部やや内彎気味に立ち上がる。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
739	土師質杯	底径 7.2	体部内彎。体部外面成形による稜有り。底部器壁厚い。	底部静止糸切りか。体部はナデ。			
740	土師質杯	口径 8.5 器高 1.4 底径 6.8	口縁部内彎し端部は丸い。口縁部と底部の境わずかに稜を残す。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
741	土師質杯	口径 12.8 器高 3.4 底径 8.4	体部内彎。口縁部直線的で端部はやや尖る。底部と体部の境目に稜有り。底部の器壁厚い。	底部以外内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第57表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (41)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
742	土師質皿	口径 9.2 器高 1.2 底径 7.0	口縁端部は丸い。底部の器壁厚 い。	底部回転糸切り。全体にナ デ。	微砂粒を多く 含む。	にぶい橙色	
743	土師質皿	口径 12.5 器高 3.8 底径 8.2	体部から口縁部にかけてほぼ直 線的に立ち上がる。口縁端部は 丸い。	底部回転糸切り。体部はナ デ。	微砂粒を少量 含む。	にぶい橙色	
744	土師質皿	口径 6.2 器高 1.6 底径 5.2	口縁部は直線的に立ち上がり端 部は丸い。器壁厚い。	全体にナデ。	微砂粒を含 む。	にぶい黄橙 色	
745	土師質皿	口径 7.0 器高 1.3 底径 5.5	口縁部やや内彎し、端部は丸い。 底部の器壁厚い。	底部回転糸切り。体部はナ デ。	微砂粒を含 む。	にぶい黄橙 色	
746	土師質皿	口径 7.3 器高 1.3 底径 5.8	底部内面凹凸有り。底部よりや や直線的に立ち上がる。	底部静止糸切り後粗いナ デ。内外面やや粗いナデ。	砂粒を多く含 む。	明褐色	
747	土師質高台付 皿	底径 5.8	底部厚く、底部よりやや内彎し ながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧 なナデ。	微砂粒を多く 含む。	橙色	
748	土師質高台付 皿	底径 5.0	底部器壁厚く、内面やや凹む。	底部回転糸切り。体部はナ デ。	微砂粒を少量 含む。	にぶい橙色	
740	土師質高台付 皿	底径 6.2	器壁厚い。口縁部やや外反。	底部回転糸切り。全体に粗 いナデ。	砂粒を多く含 む。	にぶい橙色	
750	土師質高台付 皿	底径 4.6	底部器壁厚い。	底部回転糸切り。全体にナ デ。	微砂粒を少量 含む。	にぶい橙色	
751	土師質高台付 皿	底径 4.2	底部器壁厚く、内面やや凹凸有 り。	底部回転糸切り。体部はナ デ。	微砂粒を少量 含む。	にぶい橙色	
752	土師質高台付 皿	底径 4.6	底部高台状に厚く、底部よりや や外反しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧 なナデ。	砂粒を多く含 む。	にぶい橙色	
753	土師質高台付 皿	底径 4.4	底部内面丸く、中央部わずかに もり上がる。高台部、器壁厚い。	底部切り離し不明。全面に 粗いナデ。	砂粒を多く含 む。	橙色	
754	土師質高台付 皿	底径 4.6	底部内面わずかに凸型にもり上 がる。器壁やや厚い。高台部や や厚い。	底部切り離し不明。全面に 粗いナデ。	砂粒を多く含 む。	橙色	
755	土師質椀	口径 11.6	底部よりやや内彎しながらゆる やかに立ち上がる。口縁端部は やや丸い。	体部はナデ。	砂粒を多く含 む。	にぶい黄橙 色	
756	土師質椀	底径 4.3	体部やや内彎。底部中央部やや 器壁厚い。高台部断面三角形。	体部、底部内外面ナデ。高 台部ヨコナデ。貼り付け高 台。	微砂粒を多く 含む。	灰白色	外面煤附着
757	土師質椀	口径 11.4	体部やや内彎。口縁部はやや外 反し端部は丸い。	全体にやや丁寧なクロコナ デ。	砂粒を多く含 む。	灰白色	
758	土師質椀	口径 12.3	底部よりやや内彎しながら立ち 上がる。口縁端部はやや丸い。	体部はナデ。	砂粒を多く含 む。	灰白色	
759	瓦器椀	口径 12.0 器高 3.0	体部やや内彎。口縁部やや外反。 口縁端部はやや丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体 部外面ユビオサエ。	微砂粒を多く 含む。	灰色	
760	磁器碗	口径 16.3	口縁部やや外反。口縁端部は丸 い。体部外面に蓮弁文を削り出 す。	全面丁寧なクロコナデ。淡 緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青 磁
761	土師質鍋	口径 28.9	口縁部直線的。口縁端部はやや 肥厚し、端面は平坦に仕上げる。	口縁部内面横方向のハケ 目。口縁部外面ユビオサエ 後縦方向のハケ目。	微砂粒を少量 含む。	にぶい褐色	煤附着

第58表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (42)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
762	土師質杯	口径 11.45 器高 3.3 底径 6.7	底部よりやや内彎気味に立ち上がり、体部にナデによる稜を数条残す。口縁端部は尖る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
763	土師質杯	口径 11.6 器高 3.0 底径 8.0	体部下位より口縁端部に向け直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。底部内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	橙色	
764	土師質杯	口径 12.4 器高 3.1 底径 8.4	体部やや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り。板目有り。口縁部内外面ヨコナデ。体部、底部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	淡赤褐色	
765	土師質杯	口径 11.7 器高 2.8 底径 6.0	体部、口縁部やや内彎。口縁端部は尖る。体部外面に成形による数本の稜が残る器壁全体に薄い。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
766	土師質杯	口径 10.4 器高 3.6 底径 7.8	体部やや内彎。口縁端部やや外反。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。全面にわたりやや粗いロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
767	土師質杯	口径 12.0 器高 4.1 底径 8.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後、やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
768	土師質杯	口径 11.7	底部から口縁部に向け直線的に立ち上がる。口縁端部は尖る。	底部回転糸切り。全体的にやや丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
769	土師質杯	口径 11.3 器高 3.5 底径 6.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄褐色	
770	土師質杯	口径 11.3 器高 3.4 底径 7.0	体部直線的。口縁部やや外反。口縁端部はやや尖る。底部と体部の境わずかに稜をとどめる。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
771	土師質杯	口径 7.2 器高 2.0 底径 5.2	体部やや内彎。口縁端部はやや丸い。底部はやや楕円形で凹凸顕著。	底部回転糸切り後粗いナデ。全体的に粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
772	土師質杯	口径 10.1 器高 4.0 底径 8.4	口縁端部はやや尖る。底部内面ややもり上がる。底部外面凹凸有り。底部内面ユビオサエの跡有り。	底部回転ヘラ切り。口縁部から体部内外面ゆるやかなロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
773	土師質杯	底径 7.5	底部内面凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。わずかに板目残す。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい褐色	
774	土師質杯	底径 7.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部内面中央部凹む。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
775	土師質杯	底径 7.5	底部より体部に向け直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
776	土師質杯	底径 7.2	体部直線的に立ち上がる。底部内面凹み、中央部わずかにもり上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
777	土師質杯	底径 8.8	底部より内彎気味に立ち上がる。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
778	土師質杯	底径 7.1	体部直線的に立ち上がる。全体に器壁厚い。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
779	土師質杯	底径 6.0	底部から体部に向け直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部内外面丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	

第59表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (43)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
780	土師質杯	底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	
781	土師質杯	底径 7.9	底部内面中央部凹む。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
782	土師質杯	底径 8.8	体部やや内彎気味に立ち上がる。	底部にユビオサエの跡有り。底部回転糸切り全面にわたり丁寧なクロコナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
783	土師質皿	口径 7.5 器高 1.2 底径 5.9	体部外方へ直線的に開く。口縁端部は丸い。底部内面中央部やや凹む。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
784	土師質皿	底径 6.7	底部よりやや外反しながら立ち上がる。器壁薄い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。底部外面に板押さえの手法を認める。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
785	土師質高台付皿	底径 4.5	底部の器壁厚い。底部内面凹み中央部突出。高台部外面、成形による稜有り。	底部回転糸切り。	微砂粒を少量含む。	橙色	
786	土師質高台付皿	底径 5.5	底部内面中央部凹む。	底部回転糸切り。全体的に粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	
787	土師質高台付皿	底径 4.1	底部の器壁厚い。底部内面凹み中央部突出。	底部回転ヘラ切り。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
788	土師質高台付皿	底径 5.1	底部高台部厚く底部より体部はやや外反しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
789	瓦器碗	口径 11.9	口縁部直線的に立ち上がり端部は丸い。	内面にヘラミガキを施す。外面にユビオサエの痕有り。	微砂粒を多く含む。	灰色	
790	土師質土錘	長さ 3.3 胴径 1.1 重さ 5.6g	紡錘形の管状土錘。	横に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
791	土師質土錘	長さ 4.1 胴径 1.2 重さ 4.2g	紡錘形の管状土錘。	横に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
792	陶器	—	体部はやや内彎。	体部外面格子目状の叩きを施す。体部内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
793	土師質杯	底径 6.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
794	土師質杯	底径 6.6	体部はほぼ直線的に立ち上がる。体部下方に糸切り時の稜有り。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
795	土師質杯	口径 11.8 器高 4.1 底径 9.0	口縁端部はやや内彎し、尖る。底部やや丸く、中央部が丸くもり上がる。	底部回転糸切り。底部から口縁部にかけてクロコナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
796	土師質杯	底径 9.2	体部下方にナデによる稜有り。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
797	土師質杯	口径 13.4 器高 3.4 底径 8.4	体部やや内彎。口縁部直線的で先端はやや尖る。体部内外面に成形による数本の稜有り。	内面全体にヨコナデ。外面全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
798	土師質杯	口径 12.0 器高 3.1 底径 9.6	体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部丸い。底部中央部器壁薄い。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
799	土師質杯	口径 9.5 器高 3.2 底径 6.0	体部にナデによる稜が残る。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第60表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (44)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
800	土師質皿	口径 7.6 器高 1.0 底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	砂粒を含む。	にぶい赤褐色	
801	瓦器碗	口径 11.4	体部内彎。口縁端部はやや丸い。	口縁部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	
802	土師質高台付皿	底径 4.4	高台部はやや厚く、底部は大きく凹む。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
803	土師質高台付皿	底径 5.2	高台部厚く、底部より大きく外反しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切後やや粗いナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
804	土師質土錘	長さ 3.9 胴径 1.2 重さ 4.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	赤色	
805	土師質土錘	長さ 6.3 胴径 1.6 重さ 13.4 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエの後ナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
806	須恵質こね鉢	口径 21.8	口縁部は直線的に立ち上がり、端部の上下を丸くおさめる。	口縁部内外面ナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
807	須恵質こね鉢	口径 24.0	体部にナデによる稜が残る。口縁部の上下を丸くおさめる。	口縁部内外面ナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
809	土師質杯	口径 11.1 器高 3.0 底径 7.4	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は尖る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
810	土師質杯	底径 7.2	体部内彎。	底部回転糸切り。体部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
811	土師質杯	底径 6.9	体部直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
812	土師質杯	底径 7.2	体部内彎。	底部回転糸切り。体部内外面ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
813	土師質杯	底径 8.9	体部やや内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
814	土師質高台付皿	底径 4.4	底部の器壁厚く、内面中央やや盛り上がる。	体部内外面ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
815	土師質皿	口径 7.0 器高 1.4 底径 5.8	口縁部直線的。口縁端部は丸い。全体的に器壁厚。器形に歪みが認められる。	底部回転糸切り。底部内面にユビオサエ有り。仕上げにナデをしていない。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
816	土師質皿	口径 8.1 器高 1.1 底径 6.0	体部直線的。口縁端部は丸い。底部外面周縁部わずかに稜をとどめる。底部内面やや凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
817	土師質皿	口径 6.2 器高 1.5 底径 5.0	口縁部直線的。口縁端部尖り気味。口縁部と底部の境稜有り。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
818	土師質小壺	口径 13.0	口縁部やや内彎。端部を拡張し端面をやや丸く仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を含む。	橙色	
819	土師質杯	口径 11.5 器高 3.4 底径 7.4	体部、口縁部内彎。口縁端部肥厚し丸い。底部と体部の境、明瞭な稜有り。	体部外面ロクロナデ。体部、底部内面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
820	土師質皿	口径 6.8 器高 1.5 底径 5.0	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
821	土師質高台付皿	底径 5.2	底部高台状に厚く、底部よりやや直線的に立ち上がる。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第61表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (45)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
822	土師質杯	底径 7.1	体部やや内彎気味に立ち上がる。底部わずかに凹む。	底部静止糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
823	土師質杯	底径 5.3	底部より内彎気味に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。内外面やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
824	土師質杯	底径 6.9	体部やや内彎。	底部回転ヘラ切り。全体にやや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
825	土師質高台付皿	底径 4.9	底部の器壁厚く、内面凹み中央部突出。高台部外面に成形による斜めの稜をわずかに残す。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
826	土師質羽釜	口径 20.6	体部内彎。鏝部水平方向に張り出し、口縁端部はやや丸く、やや外反する。	鏝部貼り付け時のユビオサエ有り。体部内面ハケ目。	砂粒を多く含む。	灰褐色	
827	須恵質こね鉢	口径 27.0	口縁部上下に拡張し、端部を丸くおさめる。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
828	土師質杯	口径 10.9 器高 3.7 底径 7.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	体部はナデ。	精良。	橙色	
829	土師質杯	底径 6.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
830	土師質皿	口径 6.7 器高 1.5 底径 5.8	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
831	土師質高台付皿	底径 6.5	底部より内彎気味に立ち上がる。底部中心部に穴が開く。	底部高台状に肥厚する底部回転糸切り後、痕を留める。ロクロナデ有り。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
832	磁器碗	口径 14.0	体部やや内彎し、口縁端部はやや尖る。体部外面に竊蓮弁文を施す。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
834	土師質土錘	長さ 4.1 胴径 1.3 重さ 5.7 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
835	土師質杯	底径 7.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
836	土師質碗	口径 10.8 器高 3.05 底径 4.0	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部貼り付け高台で、先端は尖り、やや歪な形状。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色 (内面) 明赤褐色	
837	土師質碗	口径 10.8 器高 3.45 底径 4.65	体部やや内彎。口縁端部はやや直線的に立ち上がる。断面逆三角形の高台を持つ。	底部貼り付け高台。高台部ヨコナデ。全面にわたりロクロナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄褐色	内面全体に煤が付着
838	土師質杯	口径 11.0 器高 3.0 底径 6.4	体部直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
839	土師質杯	口径 11.6 器高 2.9 底径 7.6	底部よりやや内彎。口縁端部はやや外反する。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
840	土師質杯	底径 6.8	底部より口縁部にかけて直線的に立ち上がる。底部内面やや凹凸顕著。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。全体にわたり丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
841	土師質杯	底径 7.9	底部より内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。	微砂粒を少量含む。	浅黄褐色	

第62表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (46)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
842	土師質鍋	口径 25.0	「く」の字状口縁。口縁部やや肥厚し、端面を丸く仕上げる。	体部、口縁部内面ヨコハケ目。体部、口縁部外面ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	灰黄褐色	外面煤付着
843	土師質鍋	口径 25.8	「く」の字状口縁。口縁端部はわずかに肥厚し、端面を平坦に仕上げる。	口縁部外面ユビオサエ。内面ハケ目有り。	微砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	外面煤付着
844	瓦質羽釜	口径 32.5	口縁部やや内彎。口縁端部平坦の仕上げる。断面方形の鑊が平行に付き、端面は凹面に仕上げる。	口縁部外面ヨコナデ。口縁部内面ユビオサエ。鑊部はヨコナデ。体部内面横方向のハケ目。体部外面ユビオサエ。	砂粒を含む。	灰色	
845	土師質杯	底径 6.8	体部内彎。底部内面凹凸頭部と底部の境、明瞭な稜をなす。	底部回転糸切り。体部内外面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
846	土師質杯	口径 11.3 器高 3.8 底径 5.2	体部内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	内外面やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄褐色	
847	土師質杯	底径 8.0	体部やや内彎。体部と底部の境、明瞭な稜をなす。体部内面弱い稜有り。底部内面数本の稜有り。	体部内外面ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。白色微粒を多量に含む。	にぶい黄褐色	
848	土師質杯	口径 11.0 器高 3.2 底径 7.9	体部、口縁部直線的。口縁端部はやや尖る。底部外面凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。内外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
849	土師質杯	底径 7.5	体部内彎。	底部回転ヘラ切り。板目有り。体部内外面ヨコナデ。	美砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
850	土師質杯	口径 10.9 器高 3.3 底径 6.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
851	土師質杯	底径 6.6	体部やや内彎。体部外面成形による稜有り。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄褐色	
852	土師質杯	口径 13.4 器高 2.9 底径 10.3	体部やや外反。口縁部直線的。口縁端部は丸い。底部内面凹凸有り。体部にナデによる稜が残る。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
853	土師質高台付皿	底径 5.2	体部やや内彎。底部高台状で器壁厚い	全面にやや粗いロクロナデ。底部回転糸切り後ナデ。高台部ヘラナデ。(ヘラ押さえの跡有り。)	砂粒を多く含む。	橙色	
854	土師質高台付皿	口径 7.4 器高 2.35 底径 4.15	底部高台部の器壁極めて厚い。底部内面凹む。底部より口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	全体にロクロナデ。底部回転糸切り。	砂粒を多く含む。	浅黄褐色	
855	土師質高台付皿	底径 5.0	底部内面凹む。底部高台状で器壁厚い。	底部回転糸切り後ナデ。高台部ヘラナデ。体部はナデ。高台部ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	橙色	
856	土師質高台付皿	底径 4.7	底部内面やや凹む。底部高台状で器壁厚い。	底部回転糸切り後ナデ。体部内外面ロクロナデ。高台部ヘラナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄褐色	
857	土師質高台付皿	底径 4.8	底部内面やや凹む。底部高台状で器壁厚い。	底部回転糸切り後ナデ。高台部ヘラナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
858	土師質高台付皿	底径 5.2	底部の器壁厚き内面凹む。高台部外面に成形による斜めの稜有り。	底部回転糸切り。底部以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
859	土師質椀	口径 10.0	体部、口縁部内彎。	口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	

第63表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (47)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
860	土師質碗	口径 11.5	体部、口縁部内彎。口縁端部は丸い。	口縁部外面ヨコナデ。体部内外面丁寧なヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
861	土師質土錘	長さ 4.6 胴径 1.1 重さ 3.8g	紡錘毛形の管状土錘。細く長い。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	淡赤橙色	
862	土師質脚部	残存長 22.0 径 2.1	断面楕円形。基部屈曲。身部直線的。	全体にユビオサエ後、ヘラケズリ。	砂粒を多く含む。	灰黄色	
863	土師質土錘	長さ 4.0 胴径 1.2 重さ 4.7g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	明褐色	
864	土師質鍋	口径 24.6	「く」の字状口縁。体部内彎。口縁端部は平坦。	内部全体にヨコハケ。口縁部はヨコハケ。体部外面ユビオサエ後、上部にタテハケ目。	砂粒を多く含む。	黒褐色	外面全体に煤付着
865	土師質脚部	残存長 6.9 径 2.5	断面楕円形。基部屈曲。身部直線的。	全体にヘラケズリ後、丁寧な縦方向のナデを施す。	砂粒を多く含む。	灰黄色	煤付着
866	土師質碗	口径 11.5	体部内彎。口縁部直線的で端部は丸い。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	淡褐色	
867	瓦器碗	口径 12.2	体部やや内彎。口縁部やや肥厚。口縁端部は丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。内面全体にナデ後ヘラミガキを施す。	微砂粒を少量含む。	暗灰色	
868	土師質土錘	長さ 3.4 胴径 1.1 重さ 3.1g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。小礫を2個含む。	暗褐色	
869	瓦器碗	口径 12.0	体部内彎し、口縁部直線的。口縁端部は丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ、内面ナデ後、ヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	
870	瓦器碗	口径 13.0 器高 3.0	体部やや内彎し、口縁部肥厚しながら外反。口縁端部は丸い。底部丸底。	口縁部内外面ヨコナデ。体部、底部外面ユビオサエ。内面にヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	褐灰色 一部 黄灰色	
871	土師質皿	口径 11.2 器高 1.5 底径 5.0	体部、口縁部直線的に外方に開く。口縁端部はやや丸い。器壁薄い。	口縁部内外面ヨコナデ。内側全体丁寧なナデ。	精良。	淡赤褐色	手づくね
872	土師質皿	口径 13.6	口縁部直線的。器壁薄い。口縁端部はやや尖る。	口縁部内外面丁寧なヨコナデ。	精良。	淡赤褐色	手づくね
873	土師質皿	口径 14.0 器高 1.8 底径 7.1	体部、口縁部直線的。口縁部やや肥厚。器壁は薄い。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	淡橙色	手づくね
874	土師質鍋	口径 32.0	体部、口縁部やや内彎。口縁部やや上下に拡張し、端面は凹面に仕上げる。	口縁部端面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。体部内面ナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	外面に煤付着
875	瓦質小碗	口径 8.6 器高 2.4 底径 4.0	体部内彎。口縁部やや外反。口縁端部やや肥厚し丸い。体部ナデによる稜が残る。	体部、口縁部外面ヨコナデ。逆三角形の貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
876	土師質杯	底径 7.0	体部直線的。	底部回転ヘラ切り。底部外面板目有り。底部回転糸切り。	精良。	浅黄橙色	
877	土師質杯	底径 6.6	体部直線的に立ち上がる。	体部はナデ。	精良。	にぶい褐色	
878	土師質杯	底径 5.6	体部と底部の境に稜有り。体部内彎気味に立ち上がる。	体部はナデ。	精良。	にぶい褐色	

第64表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (40)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
879	土師質皿	口径 7.8 器高 1.4 底径 5.2	体部やや外反的気味に立ち上がる。口縁端部は丸い。底部内面中央やや凹む。	体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
880	土師質皿	口径 11.2 器高 2.5	底部から口縁部にかけてやや内彎。口縁端面丸い。器壁やや厚い。	体部内面、口縁部内外面ヨコナデ。底部外面ユビオサエ。凹凸有り。	精良。	灰白色	
881	土師質皿	口径 10.7 器高 2.6	底部から口縁部にかけてゆるやかに内彎。口縁端部は丸い。	口縁部外面、体部・底部内面ヨコナデ。底部外面から体部外面にかけてユビオサエ。	精良。	浅黄橙色	
882	土師質皿	口径 11.1	口縁部やや内彎。口縁端部丸く仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。体部、底部外面ユビオサエ。	精良。	にぶい黄褐色	
883	土師質皿	口径 12.0	体部、口縁部やや内彎。口縁端部丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部、底部外面ユビオサエ。	精良。	にぶい黄褐色	
884	土師質皿	口径 10.9 器高 2.1 底径 5.8	体部から口縁部にかけてやや内彎。口縁端部丸く仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ヨコナデ。底部、体部外面ユビオサエ。	精良。	浅黄橙色	
885	土師質皿	口径 11.4	体部、口縁部内彎。口縁端部は丸い。	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ後ナデ。	精良。	浅黄橙色	
886	土師質碗	口径 10.6 器高 3.3	体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	口縁部外面ヨコナデ。底部外面ユビオサエの痕有り。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
887	土師質碗	口径 10.2 器高 3.5	底部から口縁部にかけて内彎。口縁端部尖り気味。	口縁部外面ヨコナデ。底部、体部下半分ユビオサエ後ナデを施す。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
888	土師質碗	口径 10.4 器高 3.7 底径 2.8	体部、口縁部内彎。高台断面三角形。	口縁部外面ヨコナデ。体部内外面ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
889	土師質碗	口径 10.8 器高 3.4 底径 3.2	体部、口縁部内彎。高台断面三角形。	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ後ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
890	土師質碗	口径 10.7 器高 3.7 底径 4.0	体部内彎。口縁端部は丸い。高台断面三角形。	口縁部、体部内外面丁寧なナデを施す。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。内面見込みに重ね焼きの痕跡。	微砂粒を少量含む。	灰黄色	
891	土師質碗	底径 3.4	体部内彎。高台断面半円形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒をわずかに含む。	灰白色	
892	土師質鍋	口径 30.3	体部内彎。水平方向に短い鏝が付く。口縁端部は平坦。	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面ユビオサエ痕有り。			
893	須恵質こね鉢	口径 21.8	口縁部直線的。口縁端部上下にやや拡張し、端面わずかに丸みを持つ。器壁薄く小型。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
894	須恵質こね鉢	口径 31.0	体部直線的。口縁端部下方に拡張し、先端部丸く仕上げる。器壁やや厚く、体部内外面ナデによる稜有り。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
895	須恵質こね鉢	口径 34.1	口縁部直線的。口縁端部上下に拡張し、先端部丸く仕上げる。器壁薄い。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
896	須恵質こね鉢	口径 33.6	口縁部やや外反。口縁端部上下に大きく拡張し、端部を丸く仕上げる。器壁は薄い。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系

第65表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (49)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
897	陶器甕	口径 47.6	口縁部やや外反。口縁端部を下方に折り曲げ、玉縁状に作る。	口縁部内外面共ナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	備前焼
898	陶器甕	口径 33.0	口縁部外方に折り曲げ、上下方に拡張し、さらに上部をやや外に曲げる。	口縁部内外面ヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒を含む。	暗赤褐色	常滑焼
900	土師質皿	口径 6.8 器高 1.4 底径 5.1	体部やや外反気味に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	精良。	橙色	
901	土師質皿	口径 11.7 器高 2.15 底径 6.6	体部、口縁部やや内彎。口縁部、端部丸い。	口縁部内外面、体部内面ヨコナデ。底部内面丁寧なナデ。底部外面ユビオサエ。	精良。	にぶい橙色	
902	土師質椀	口径 10.3 器高 2.6	体部、口縁部内彎。口縁端部は丸い。底部凹凸有り。	口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面共ナデ。底部外目入ユビオサエ。	精良。	灰白色	
903	土師質椀	底径 3.8	体部内彎。高台断面半円形。	張り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	精良。	灰白色	
904	土師質杯	口径 11.3 器高 2.9 底径 5.8	体部、口縁部直線的。口縁端部は丸い。底部と体部の境に稜有り。	体部、口縁部内外面とも丁寧ナデ。	精良。	浅黄橙色	
905	土師質杯	底径 8.1	底部より内彎気味に立ち上がる。	体部はナデ。	精良。	浅黄橙色	
906	陶器播鉢	口径 32.8	体部直線的。口縁端部は平坦に仕上げる。体部内面に5状以上を1単位とする櫛条線。	口縁部、体部内外面ロクロナデ。	砂粒を含む。	灰白色	備前焼
907	土師質鍋	口径 26.6	「く」の字状の口縁。口縁端面は丸い。体部内彎。	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ヨコ方向のハケ目。外面縦方向のハケ目。底部外面、横・斜め方向のハケ目。体部内外面共ユビオサエ有り。	砂粒を含む。	にぶい橙色	外面に煤付着
909	土師質杯	口径 11.3 器高 2.8 底径 6.1	体部直線的に斜め外方に立ち上がる。口縁部やや薄く仕上げる。	全体に丁寧なナデを施す。	精良。	浅黄橙色	
910	土師質椀	口径 10.7 器高 3.1 底径 3.7	体部から口縁部やや内彎。高台断面三角形。体部にナデによる稜が残る。	体部はナデ。外面にユビオサエ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
913	土師質椀	口径 11.0 器高 3.6 底径 3.2	体部、口縁部内彎。高台断面三角形。高台の一部変形。	底部外面以外ナデを施す。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
914	土師質土錘	長さ 2.7 胴径 0.9 重さ 2.5g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエの痕有り。	精良。	にぶい橙色	
915	土師質羽釜	口径 21.2	短い口縁部に断面方形の鐙が水平に付く。口縁端部は平坦。体部内彎。	鐙は貼り付け。鐙部ヨコナデ。体部内面ヨコハケ目。体部外面タテハケ目。体部内外面ユビオサエ痕有り。	精良。	にぶい黄褐色	内外面煤付着顕著
916	土師質椀	口径 10.4 器高 3.1 底径 4.1	体部やや内彎。口縁部外反口縁端部はやや丸い。	底部貼り付け高台。高台部は三角形に尖る。全面にわたりやや丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
917	土師質椀	口径 10.0 器高 3.1 底径 6.0	体部やや内彎。口縁部やや外反。口縁端部はやや丸い。	底部貼り付け高台。高台部ヨコナデ。高台部歪み有り。体部外面やや丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	

第66表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (50)

番号	器種	量法 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
918	土師質杯	底径 7.1	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いなデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
919	土師質杯	底径 5.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部ナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
920	土師質皿	口径 6.6 器高 1.5 底径 5.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	精良。	橙色	
921	土師質高台付皿	底径 4.65	底部高台状で器壁厚い。底部内面中央ややもり上がる。	底部回転糸切り後やや粗いなデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
922	陶器	—	体部やや内彎。	体部外面に格子目状の叩き有り。体部外面、内面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
923	陶器	—	体部やや内彎。	体部外面格子目状の叩きを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	常滑焼
924	土師質土錘	長さ 3.65 胴径 1.35 重さ 6.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	にぶい赤褐色	
925	土師質碗	口径 10.2 器高 3.4 底径 3.5	体部内彎。口縁部外反。口縁端部はやや肥厚する。体部中位器壁やや厚い。	高台部貼り付け高台。やや粗雑なつくり。全面にかけ丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
926	磁器皿	口径 10.9	口縁部はやや外反。先端丸い。	口縁端部は口禿。	精良。	素地灰白色	白磁
927	土師質土錘	長さ 4.8 胴径 1.3 重さ 7.5 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
928	土師質土錘	長さ 3.2 胴径 1.35 重さ 4.4 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
929	土師質土錘	長さ 3.2 胴径 1.3 重さ 6.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
930	土師質土錘	長さ 3.3 胴径 1.3 重さ 5.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	黄褐色	
931	土師質杯	口径 10.4 器高 3.2 底径 5.3	大部やや内彎。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。全体的に丁寧なクロコナデ。	砂粒を多く含む。	黄橙色	
932	土師質杯	底径 5.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
933	土師質杯	底径 6.6	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。全体的に丁寧なクロコナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	外面に煤付着
934	土師質杯	底径 8.0	底部より直線的に立ち上がる。底部は丸底状。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を含む。	にぶい黄褐色	
935	土師質杯	底径 9.0	底部から口縁端部にかけてゆるやかに内彎。器壁やや厚い。	底部回転糸切り。全面にかけやや粗いクロコナデ。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
936	土師質皿	口径 7.3 器高 1.4 底径 6.4	口縁部短く直線的に斜め上方にのびる。口縁端部はやや尖る。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
937	土師質皿	口径 7.2 器高 1.4 底径 6.0	口縁端部は丸い。底部より口縁端部にかけて直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後粗いなデ。全体に粗いなデ。	砂粒を多く含む。	橙色	

第67表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (51)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
938	土師質土錘	長さ 3.3 胴径 1.2 重さ 4.7g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエ後ナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
939	土師質土錘	長さ 3.4 胴径 1.2 重さ 3.5g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	橙色	
940	土師質杯	口径 12.1 器高 2.9 底径 7.2	底部から口縁部にかけてやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。底部内面ややもり上がる。	精良	(内側) 赤橙色 (外側) にぶい橙色	底部内外面に煤付着
941	土師質杯	口径 11.9 器高 2.8 底径 7.1	体部やや内彎。口縁部やや外反。体部にナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り後ユビオサエの痕有り。全体的に丁寧なロクロナデ。	精良。	(内側) 浅黄色 (外側) にぶい黄橙色	
942	土師質高台付杯	口径 8.4 器高 3.0 底径 5.6	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面はややもり上がる。底部高台状で器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
943	土師質皿	口径 7.6 器高 1.3 底径 5.9	口縁端部はやや丸い。底部より口縁部にかけてやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。内外面丁寧なロクロナデ。	精良。	灰黄褐色	
944	磁器碗	底径 5.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部断面台形状の高台。高台先端部口禿。全面にかけ淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
945	土師質土錘	長さ 3.3 胴径 1.0 重さ 3.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
946	土師質杯	口径 11.0 器高 3.3 底径 7.6	体部やや内彎し、口縁端部はやや尖る。体部にナデによる稜が残る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
947	土師質杯	口径 11.4 器高 3.5 底径 7.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや外反する。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。体部はナデ。	砂粒を含む。	黄橙色	
948	土師質杯	口径 10.9 器高 3.5 底径 7.6	口縁端部は尖る。底部より口縁部にかけて直線的に立ち上がる。底部内面やや凹む。	底部回転ヘラ切り。内外面とも丁寧なナデ。	精良。	灰白色	
949	土師質杯	口径 10.9 器高 3.05 底径 6.0	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。先端はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
950	土師質杯	口径 12.1 器高 3.1 底径 6.8	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を含む。	灰白色	
951	土師質杯	口径 10.7 器高 3.5 底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り。内外面共やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
952	土師質皿	口径 7.4 器高 1.3 底径 6.4	底部より口縁部にかけて直線的に立ち上がる。中央部わずかに凹む。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。全体的に丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
953	土師質皿	口径 7.6 器高 1.3 底径 6.3	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面はゆるやかにもり上がる。底部外面凹凸有り。	底部外面をのぞき丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	

第68表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (52)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
954	土師質皿	口径 6.8 器高 1.35 底径 5.3	底部より直線的に立ち上がり、口縁部やや外反。口縁端部は丸い。	全体的に丁寧なロクロナデ。底部回転切り。体部下位、底部外面ユビオサエの跡有り。	砂粒を多く含む。	橙色	
955	土師質椀	口径 10.5	体部内彎。口縁端部はやや尖る。	体部は丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
956	磁器碗	—	体部内彎。口縁端部は丸い。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面にかけ淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
957	瓦器椀	口径 10.3 器高 2.6	体部、口縁部内彎。口縁端部は丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。内面ナデ後、ヘラミガキを施す。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
959	土師質杯	口径 11.3 器高 3.5 底径 8.1	体部やや内彎。体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後粗いナデ。全体的にロクロナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
960	土師質杯	口径 11.7 器高 3.3 底径 6.6	体部から口縁部にかけてやや内彎。口縁端部は尖る。底部外面周縁部にわずかに稜をとどめる。	底部回転糸切り。板目有り。底部外面以外丁寧なナデ。	精良。	橙色	
961	土師質杯	口径 10.6 器高 3.8 底径 7.1	体部やや外反的で口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。底部内面やや凹凸有る。底部と体部の境にわずかに稜を留める。	底部回転糸切り。体部内外面ナデ。口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
962	土師質杯	口径 11.6 器高 3.15 底径 8.5	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
963	土師質杯	口径 11.0 器高 3.5 底径 8.2	底部下位より中位にかけてやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
964	土師質杯	口径 11.7 器高 3.5 底径 7.2	体部から口縁部にかけてほぼ直線的。口縁端部は丸い。体部外面に成形による弱い稜の痕を留める。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
965	土師質杯	口径 11.9 器高 3.6 底径 8.4	体部やや内彎。口縁部にかけて直線的。口縁部やや尖る。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
966	土師質杯	口径 11.4 器高 4.0 底径 8.2	底部よりやや内彎し、中位より上位にかけてやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り。内外面粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
967	土師質杯	口径 11.6 器高 3.2 底径 7.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや外反し、先端は尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。全面にかけやや粗いナデ。	微砂粒をやや含む。	橙色	
968	土師質高台付杯	口径 10.2 器高 4.1 底径 5.0	口縁端部はやや丸い。底部は高台状で器壁厚い。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
969	土師質杯	口径 11.3 器高 3.15 底径 5.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
970	土師質杯	口径 10.9 器高 3.6 底径 5.1	体部から口縁部直線的。口縁端部はやや尖る。体部外面下部に成形による稜有り。	底部回転ヘラ切り。板目有り。底部以外内外面ナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	

第69表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (53)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
971	土師質杯	口径 11.3 器高 3.0 底径 4.7	体部、口縁部内彎。口縁端部は尖る。体部内外面上部に成形による稜有り。	底部回転ヘラ切り。板目有り。底部以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
972	土師質杯	口径 12.8 器高 3.2 底径 7.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや外反し、先端は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
973	土師質杯	口径 11.8 器高 3.5 底径 8.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
974	土師質杯	底径 8.25	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、中位よりやや外反しながら口縁端部に向かって立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り。体部はナデ。	精良。	浅黄橙色	
975	土師質杯	底径 8.8	体部やや内彎。底部内面凹凸やや顕著。	底部回転ヘラ切り後ナデ。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	赤褐色	
976	土師質杯	底径 10.8	底部よりやや内彎しながら段階的に立ち上がる。口縁端部はやや外反し、先端はやや丸い。体部にナデによる稜を残す。	内外面とも丁寧なロクロナデ。	精良。	灰白色	
977	土師質皿	口径 6.5 器高 1.3 底径 4.6	口縁部内彎し、端部やや尖る。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	精良。	橙色	
978	土師質皿	口径 7.4 器高 1.6 底径 6.0	口縁部やや内彎し、端部はやや尖る。底部粘土はみ出し一部有り。	底部回転糸切り。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
979	土師質皿	口径 5.7 器高 1.4 底径 5.4	口縁部外反し、端部はやや尖る。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
980	土師質皿	口径 7.2 器高 1.5 底径 5.6	口縁部やや外反し、端部は丸い。底部器壁厚い。口縁部に歪みは認められる。	底部回転糸切り。底部以外、内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
981	土師質皿	口径 7.0 器高 1.3 底径 5.2	底部より口縁部にかけやや外反気味に立ち上がる。底部内面やや凹凸顕著。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。全体的に丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
982	土師質皿	口径 7.5 器高 1.2 底径 5.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
983	土師質皿	口径 7.5 器高 1.1 底径 5.8	底部よりやや外反気味に立ち上がる。底部内面はややもり上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
984	土師質皿	口径 7.6 器高 1.1 底径 6.9	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。底部内面凹凸顕著。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	やや粗い。	にぶい橙色	
985	土師質皿	口径 7.3 器高 1.3 底径 3.6	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。内面底部はややもり上がりユビオサエの跡有り。	底部回転糸切り後やや粗いナデを施し、その後ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
986	土師質皿	口径 8.2 器高 1.5 底径 6.8	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を含む。	にぶい橙色	
987	土師質高台付皿	口径 9.1 器高 3.1 底径 5.3	底部よりやや外反し、口縁部は直線的に立ち上がる。底部はやや凹み、中央部はややもり上がる。体部にナデによる稜が明瞭に残る。	底部回転糸切り。体部は丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第70表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (54)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
988	土師質高台付皿	底径 4.6	口縁部は大きく外反し、高台部はやや厚い。底部内面はややもり上がる。	底部回転糸切り。内外面共やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
989	土師質高台付皿	底径 6.3	底部より外反気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
990	土師質高台付皿	底径 3.7	底部よりやや外反気味に立ち上がる。底部器壁厚く、内面中央突出。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
991	土師質高台付皿	底径 7.6	高台部やや厚く、口縁端部にかやや外反しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。内外面やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
992	土師質皿	口径 7.0 器高 1.2 ~1.5 底径 5.8	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
993	土師質皿	口径 7.1 器高 1.4 底径 4.9	口縁部直線的に立ち上がる。底部内面中央部ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
994	土師質高台付皿	底径 4.6	高台部は器壁厚い。体部は大きく外反する。底部内面中央はややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
995	土師質椀	口径 10.3 器高 3.35 底径 4.3	体部やや内彎。口縁部やや外反。口縁端部は丸い。	底部貼り付け高台。高台部ヨコナデでやや歪む。内面全体的に丁寧なロクロナデ。外面やや粗いロクロナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
996	土師質椀	口径 10.7 器高 3.45 底径 4.6	体部内彎し、口縁部外反。底部外面ユビオサエ。口縁端部は丸い。	全体的に丁寧なロクロナデ。底部貼り付け高台。高台部丁寧なヨコナデ。三角形に尖る。高台部楕円形に歪む。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
997	土師質椀	口径 9.9 器高 3.05 底径 3.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。中位よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	貼り付け高台。高台部はヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
998	土師質椀	口径 10.9 器高 3.3 底径 4.0	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	貼り付け高台。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
999	土師質椀	口径 10.55 器高 3.1 ~3.4 底径 3.4	底部より中位にかけて直線的に立ち上がり、中位より上位にかけてやや外反しながら立ち上がる。口縁端部は丸く、肥厚する。	貼り付け高台。高台先端やや尖る。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1000	土師質椀	口径 10.8 器高 3.7 底径 3.3	体部内彎。口縁部やや外反口縁端部やや肥厚し丸い。	貼り付け高台。高台部はヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1001	土師質椀	口径 11.5 器高 3.45 底径 3.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は肥厚し、丸い。	貼り付け高台。内外面共丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	淡黄色	
1002	土師質椀	口径 10.3 器高 3.6 底径 3.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	貼り付け高台。体部はやや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	褐灰色	
1003	土師質椀	口径 11.4	体部やや内彎。口縁端部はやや丸い。	内外面共やや丁寧なロクロナデ。		灰褐色	

第71表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (55)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1004	土師質碗	口径 10.6	体部内彎。口縁端部は尖る。器壁薄い。	体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1005	土師質碗	口径 10.65	下部より中位にかけやや直線的に立ち上がり、中位より口縁端部にかけやや外反しながら立ち上がる。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1006	土師質碗	底径 3.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	貼り付け高台。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1007	土師質碗	口径 10.7	体部内彎。口縁端部はわずかに外反し、先端丸い。	体部内外面丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	褐灰色	
1008	土師質碗	口径 11.8	体部にナデによる量を残す口縁端部は丸い。	体部内外面共やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	褐灰色	
1009	瓦器碗	口径 11.0 器高 2.5 底径 3.5	体部内彎。口縁部は丸い。体部外面に成形による弱い稜有り。無高台で底部は平底状。	口縁部内外面ナデ。体部外面、底部外面ユビオサエ。体部内面に渦巻状のヘラミガキ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1010	瓦器碗	口径 12.7 器高 2.9 底径 3.0	体部内彎。口縁端部は丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。内面ナデ後、ヘラミガキ。貼り付け高台。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1011	瓦器碗	口径 10.9	体部内彎。口縁端部はやや尖る。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。内面ナデ後、ヘラミガキ。	微砂粒を多く含む。	灰色	
1012	瓦器碗	口径 11.2	体部内彎。口縁端部は丸い。	体部はナデ。内面にヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	
1013	瓦質羽釜	口径 38.3	体部やや内彎しながら立ち上がる。断面方形の鏝を持ち鏝先端部を凹面とする。口縁端部は平坦。	口縁部内外面、体部内面、鏝部共にヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	
1014	瓦質鍋	口径 22.0	口縁部大きく外反した後、直立。口縁端部はやや肥厚し端面は平坦に仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。体部内面ヨコ方向のハケ目。体部外面ユビオサエ。	微砂粒を少量含む。	灰色	外面煤付着
1015	陶器碗	口径 11.7 器高 3.5 底径 6.7	底部より口縁部にかけて内彎気味に立ち上がる。口縁部はやや丸い。	底部回転糸切り後粗いナデ。底部内面ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	備前焼
1016	須恵質こね鉢	口径 26.9	体部やや外反しながら立ち上がる。口縁端部を上方に拡張する。	内外面共ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1017	須恵質こね鉢	口径 27.4	体部直線的。口縁端部やや肥厚する。	口縁部内外ロクロナデ。体部内面にユビによるナデアゲの痕跡。	微砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
1018	陶器甕	口径 38.5	口縁部大きく外反し、受け口状を呈する。	口縁端部、自然釉付着する。	砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	常滑焼
1019	陶器甕	口径 39.0	体部より口縁部にかけて大きく外反する。受け口状の口縁をなす。	内外面ヨコハケ目有り。内面上部ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	常滑焼
1020	磁器碗	口径 15.2	体部外面鎧蓮弁文を施す。体部内彎。	全面に淡緑色釉を施す。	微砂粒を多く含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1021	磁器碗	口径 17.2	体部やや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや外反し、先端は丸い。体部にやや幅広の鎧蓮弁文を持つ。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1022	陶器	—	体部内彎。	内外面に平行叩きを施す。	砂粒を含む。	灰褐色	

第72表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (56)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1023	土師質土鍾	長さ 3.3 胴径 0.9 重さ 2.7g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	赤色	
1024	土師質土鍾	残存長 3.7 胴径 1.4 重さ 5.7g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
1025	土師質土鍾	長さ 4.0 胴径 1.2 重さ 4.2g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	橙色	
1026	土師質土鍾	長さ 3.85 胴径 1.2 重さ 3.9g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエの後ナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1027	土師質土鍾	長さ 4.1 胴径 1.4 重さ 4.2g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	橙色	
1028	陶器	—	体部小片。	体部外面格子状の押印文をスタンプする。	砂粒を多く含む。	灰色	
1037	陶器搦鉢	口径 33.8	体部直線的。口縁部直立。口縁端部に大きく、下に小さく拡張し、先端部はやや尖る。体部内面に15条を1単位とする櫛猫条線。	口縁部、体部内外面ロクロナデ。	精良。	灰褐色	備前焼
1039	土師質杯	口径 11.6 器高 3.2 底径 6.5	体部やや内彎。口縁部わずかに外反し、器壁が薄い。体部ナデによる稜が残る。	体部外面ロクロナデ。底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。	精良。	淡黄色	馬歯を乗せた状態で出土
1040	土師質土鍾	残存長 2.6 胴径 1.0 重さ 2.5g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	砂粒を多く含む。	赤褐色	
1041	磁器碗	口径 16.1 器高 8.2 底径 6.1	体部内彎し、口縁端部は丸い。底部の器壁は厚い。高台断面逆台形状で安定している。	全体的に丁寧なロクロナデ。底部外面周辺部以外、濃緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1042	磁器皿	底径 2.9	底部の器壁厚い。高台断面方形で安定している。	全体的に丁寧なロクロナデ。灰色味を帯びた白色透明釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地白色	白磁
1043	土師質碗	底径 4.0	底部より内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	精良。	浅黄橙色	
1044	磁器碗	口径 16.6	体部直線的。口縁端部やや丸みを持つ。体部外面に幅広の蓮弁文を削り出す。	全体的に丁寧なロクロナデ。淡緑色釉を薄めに施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1045	陶器甕	口径 30.7	口縁部やや外反。口縁端部を下方に折り曲げ、玉縁状に作る。	口縁部内外面共ヨコナデ。	微砂粒を含む。	暗赤褐色	備前焼
1046	土師質杯	口径 10.8 器高 3.1 底径 4.8	体部内彎気味に立ち上がり口縁部は直線的、口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。体部内外面丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	淡黄褐色	
1047	土師質皿	口径 11.4 器高 2.3 底径 8.8	体部直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部外面以外丁寧なロクロナデ。底部回転ヘラ切り。	微砂粒を少量含む。	赤褐色	体部外面に煤が付着
1048	瓦質火鉢	口径 45.0	口縁部直立気味。口縁端部は丸みを持つ。	口縁部外面、口縁端部ロクロナデ。口縁部内面、体部ナデ。口縁部に菊花紋を押印。	微砂粒を少量含む。	灰色	奈良火鉢
1049	磁器皿	口径 11.2	体部やや内彎。口縁部外反口縁端部は外側に尖らせる。	全体的に丁寧なロクロナデ。口縁部先端以外に灰色味を帯びた透明釉を施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地白色	白磁

第73表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (57)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1050	磁気碗	底径 5.2	底部の器壁厚。高台断面方形で内部の削り出しは深い。	全体的に丁寧なロクロナデ。底部外面以外、緑色釉を厚く施す。	微細な黒粒を含む。	素地白色	龍泉窯系青磁
1051	磁器皿	底径 6.9	体部やや内彎。平底。底部内面やや肥厚する。	全体的に丁寧なロクロナデ。内面全体、淡緑色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地白色	龍泉窯系青磁
1052	陶器播鉢	底径 12.65	体部やや内彎。体部内面に8条単位の櫛猫条線。	体部内外面ロクロナデ。	精良。	灰褐色	備前焼
1053	須恵質こね鉢	口径 24.0	体部直線的。口縁部拡張し端部を丸くおさめる。	口縁部、体部、内外面に丁寧なロクロナデ。口縁部外面に自然釉がかかる。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1054	須恵質土器	口径 27.6	口縁部やや内彎。口縁部拡張し、端面は丸くおさめる。	口縁部内外面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1055	陶器壺	口径 21.8	口縁部やや外反し、口縁部下方に拡張する。玉緑状。	口縁部内外面ロクロナデ。口縁部外面に釉を施す。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色 (外面) 褐色	備前焼
1056	土師質脚部	残存長11.2 径 2.7	断面不整円形。先端部直線的で尖っている。	全体にユビオサエ後ヘラケズリ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1057	土師質脚部	残存長 8.9 径 2.4	断面ほぼ円形。基部少し屈曲。	全体にユビオサエ後、ヘラケズリ。後に縦方向のナデを施す。	砂粒を多く含む。	暗褐色	煤付着
1058	土師質土鍾	長さ 3.5 胴径 1.2 重さ 3.7g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	砂粒を少量含む。	暗褐色	
1059	土師質土鍾	残存長 3.7 胴径 1.2 重さ 4.3g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	砂粒を多く含む。	黒褐色	
1061	土師質鍋	口径 27.7	体部、口縁部やや内彎。口縁部やや肥厚し、端面は凹面に仕上げる。	口縁部、体部内面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	赤褐色 (外面) 黒色	外面及び口縁部に煤付着
1062	土師質土鍾	残存長 3.1 胴径 1.2 重さ 4.3g	紡錘形の管状土鍾。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を少量含む。	灰色	
1064	土師質杯	口径 11.9 器高 3.6 底径 7.4	体部内彎し、口縁部直立気味に立ち上がる。口縁部はやや尖る。底部外面粘土はみ出し有り。底部の器壁厚。体部にナデによる稜が残る。	底部回転糸切り。口縁部内外面、体部外面ヨコナデ。底部内面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい黄橙色	
1065	土師質杯	口径 12.0 器高 3.8 底径 8.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1066	土師質杯	口径 11.4 器高 3.7 底径 8.0	体部直線的に立ち上がる。口縁部は直線的で、端部はやや尖る。器形やや歪む。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
1067	土師質杯	口径 11.4 器高 3.1 底径 7.7	体部内彎した後やや外反する。口縁部やや内彎し、端部はやや尖る。底部中央部器壁厚。	底部回転糸切り。口縁部内外面ヨコナデ。体部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1068	土師質杯	口径 11.4 器高 3.0 底径 7.0	体部内彎し、上位で屈曲する。口縁部は直立気味に立ち上がり、端部はやや尖る。底部内面成形によりやや凹凸有り。	底部回転糸切り。体部口縁部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	
1069	土師質杯	口径 11.0 器高 3.3 底径 6.0	体部内彎。口縁部直立する。体部にナデによる稜が残る。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	

第74表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (58)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1070	土師質杯	口径 10.9 器高 3.3 底径 5.2	体部内彎。体部にナデによる稜が残る。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り。体部口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1071	土師質杯	口径 10.7 器高 2.6 底径 5.8	体部やや内彎。口縁端部尖り気味に仕上げる。底部と体部の境目、粘土のはみ出し有り。	底部回転糸切り。底部外面以外丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
1072	土師質杯	口径 10.5 器高 3.0 底径 6.0	底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後粗いナデ。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1073	土師質杯	口径 12.2 器高 3.5 底径 6.0	体部やや内彎。口縁端部は丸い。	底部回転糸切り。体部内外面ロクロナデ。	精良。	灰白色	
1074	土師質杯	口径 12.2 器高 4.0 底径 7.6	体部、口縁部直線的。口縁端部丸い。底部内面わずかに凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
1075	土師質杯	口径 11.25 器高 3.0 底径 5.6	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1076	土師質杯	口径 10.9 器高 3.25 底径 7.3	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜が残る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1077	土師質杯	口径 12.2 器高 3.5 底径 8.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁部直線的に立ち上がる。端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1078	土師質杯	口径 11.4 器高 3.8 底径 8.5	体部やや外反。口縁部内彎し、端部やや尖る。体部内面中位に弱い稜有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1079	土師質杯	口径 11.3 器高 4.1 底径 7.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1080	土師質杯	口径 9.7 器高 3.7 底径 7.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや外反する。体部にナデによる稜が残る。	底部回転糸切りやや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1081	土師質杯	底径 6.0	底部よりやや外反気味に立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1082	土師質杯	口径 11.0 器高 3.1 底径 7.0	底部はやや内彎し、口縁端部はやや外反する。端部はやや丸い。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1083	土師質杯	口径 11.55 器高 3.35 底径 8.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1084	土師質杯	口径 11.4 器高 6.8 底径 3.4	体部わずかに内彎し、口縁部直線的。体部外面成形による弱い稜を留める。	底部回転糸切り。底部外面以外丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
1085	土師質杯	口径 10.3 器高 3.2 底径 7.9	体部内彎し、口縁部直立気味に立ち上がる。口縁端部は丸い。底部内面は成形による凹凸有り。底部外面粘土はみ出し有り。	底部回転糸切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
1086	土師質杯	底径 8.2	底部より直線的に立ち上がる。底部内面中央ややもり上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1087	土師質杯	底径 6.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	

第75表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (59)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1088	土師質杯	底径 7.7	底部内面やや凹む。	底部回転糸切り。体部内外面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1089	土師質杯	底径 5.5	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1090	土師質杯	底径 6.0	体部内彎。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1091	土師質杯	底径 6.0	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1092	土師質杯	底径 7.8	底部より内彎気味に立ち上がる。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1093	土師質杯	底径 8.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	明赤褐色	
1094	土師質杯	底径 8.2	体部内彎。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1095	土師質杯	底径 7.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1096	土師質杯	底径 6.5	底部よりやや直線的に立ち上がる。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1097	土師質杯	底径 8.5	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部内外面、底部内面ナデ。	微砂粒を含む。	にぶい褐色	
1098	土師質杯	底径 8.5	底部よりやや内彎して立ち上がる。底部内面中央凹む。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1099	土師質杯	底径 8.5	底部よりやや外反しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1100	土師質杯	底径 8.5	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1101	土師質杯	底径 6.8	体部直線的に立ち上がる。底部と体部の境に明瞭な稜有り。底部粘土はみ出し有り。	底部回転糸切り。体部内外面ナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1102	土師質杯	底径 6.7	体部やや内彎気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。板目の痕有り。底部内面一定方向のナデ。体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	体部、底部内面煤付着
1103	土師質杯	底径 6.6	器壁薄く、体部やや内彎。	底部回転糸切り。底部内面ナデ。体部外面ロクロナデ。	砂粒をわずかに含む。	淡黄色	
1104	土師質杯	底径 7.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1105	土師質杯	底径 8.0	底部よりやや外反気味に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1106	土師質杯	底径 8.1	底部よりやや外反しながら立ち上がり、上位よりやや内彎する。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1107	土師質杯	底径 7.75	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	精良。 (砂粒を含む。)	橙色	
1108	土師質杯	底径 8.8	底部内面凹凸有り。底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1109	土師質杯	口径 8.8 器高 2.25 底径 5.9	体部外反し、口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	口縁部内外面に煤付着

第76表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (60)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1110	土師質杯	口径 11.2 器高 3.8 底径 4.1	体部下方向外反。口縁部直線的。端部は丸い。底部の器壁厚く、内面中央部やや突出する。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1111	土師質杯	口径 11.0 器高 4.2 底径 5.6	体部やや内彎。口縁部わずかに外反。器壁の歪み顕著。底部わずかに凹む。	底部回転ヘラ切り。口縁部、体部内外面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1112	土師質杯	口径 10.3 器高 2.3	底部より内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1113	土師質杯	口径 11.7 器高 3.0 底径 7.5	底部から体部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。口縁部から体部内外面丁寧なロクロナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1114	土師質杯	口径 11.6 器高 3.6 底径 7.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1115	土師質杯	口径 11.45 器高 3.7 底径 6.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1116	土師質杯	底径 7.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部内面中央凹む。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1117	土師質杯	口径 11.1 器高 3.6 底径 8.3	体部内彎した後、口縁部直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。底部内面中央部やや突出する。底部外面粘土はみ出し有り。器壁やや厚い。	底部回転ヘラ切り。口縁部内外面ヨコナデ。体部、底部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
1118	土師質杯	口径 11.2 器高 3.5 底径 8.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。先端は丸い。体部にナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	精良。	橙色	
1119	土師質杯	口径 11.6 器高 3.9 底径 6.3	体部から口縁部にかけてやや内彎。口縁端部を丸く仕上げる。底部内面凹凸有り。底部と体部の境に稜有り。	底部回転ヘラ切り。口縁部、体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	にぶい褐色	
1120	土師質杯	口径 10.7 器高 2.5 底径 6.2	体部やや内彎。口縁部の器壁薄い。底部凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り後ナデ。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	淡橙色	
1121	土師質杯	口径 11.1 器高 3.1 底径 7.0	口縁部直線的。端部は尖り気味。底部内面凹凸有り。器壁薄い。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	精良。	浅黄橙色	
1122	土師質杯	口径 10.6 器高 2.9 底径 5.4	体部直線的に立ち上がる。底部の器壁薄く凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り後ナデ。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	淡黄褐色	
1123	土師質杯	口径 10.5 器高 2.9 底径 5.7	底部よりやや直線的に立ち上がり、口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	口縁部煤付着
1124	土師質杯	口径 10.5 器高 3.0 底径 7.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がり、中位より上位にかけてやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	灰黄褐色	
1125	土師質杯	口径 12.8 器高 2.5 底径 8.4	体部直線的。底部中央もり上がる。全体に器壁薄い。	底部回転ヘラ切り。体部内外面ロクロナデ。	精良。	橙色	
1126	土師質杯	口径 11.15 器高 3.2 底径 6.0	底部よりやや直線的に立ち上がり、口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第77表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (61)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1127	土師質杯	口径 11.0 器高 3.15 底径 6.0	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	白色	
1128	土師質杯	口径 10.8 器高 3.1 底径 6.3	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1129	土師質杯	口径 11.8 器高 3.1 底径 6.0	底部より直線的に立ち上がり、口縁端部はやや外反し先端部は丸い。体部にナデによる稜有り。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。全体的に丁寧なロクロナデ。	精良。	(内側) 黄褐色 (外側) にぶい黄褐色	
1130	土師質杯	口径 11.2 器高 3.3 底径 6.0	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。体部にナデによる稜が残る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1131	土師質杯	口径 9.6 器高 2.2 底径 6.3	口縁部やや内彎。口縁端部は丸い。器壁薄い。	口縁部内外面ヨコナデ。底部回転ヘラ切り。底部外面板目。	精良。	にぶい橙色	
1132	土師質杯	口径 11.3 器高 2.7 底径 7.4	体部やや内彎し、口縁部直線的。口縁端部はやや丸い底部内外面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。底部内外面以外ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	淡赤橙色	
1133	土師質杯	口径 12.8 器高 3.3 底径 8.0	体部直線的に立ち上がる。底部内面中央もり上がる。	底部回転ヘラ切り。体部内外面ロクロナデ。	精良。	淡黄色	
1134	土師質杯	口径 11.4 器高 3.3 底径 7.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1135	土師質杯	口径 11.3 器高 3.7 底径 6.0	底部やや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄橙色	
1136	土師質杯	口径 11.4 器高 3.4 底径 6.4	底部よりやや外反して立ち上がる。口縁端部は丸い。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1137	土師質杯	口径 11.7 器高 3.2 底径 5.7	体部やや内彎し、口縁部にかけて直線的に外方へ開く。体部内外面成形による数本の稜有り。器壁全体に薄い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1138	土師質杯	口径 11.2 器高 3.4 底径 5.0	底部より直線的に立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1139	土師質杯	口径 12.6 器高 3.4 底径 6.5	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸く肥厚する。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1140	土師質杯	口径 11.5 器高 3.5 底径 3.8	体部内彎。口縁部内彎し、端部やや尖る。体部内外面に成形による稜有り。底部内面やや凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。底部外面板目有り。内外面全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1141	土師質杯	口径 13.0 器高 3.0 底径 7.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切りやや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1142	土師質杯	口径 11.9 器高 3.8 底径 6.8	底部よりやや外反して立ち上がり、中位より上位にかけてやや内彎して立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	

第78表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (62)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1143	土師質杯	口径 10.6 器高 3.05 底径 7.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1144	土師質杯	口径 12.3 器高 2.7 底径 9.1	体部から口縁部直線的。器壁やや薄い。底部内面凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。結晶片岩の細粒を含む。	橙色	
1145	土師質杯	口径 12.2 器高 2.9 底径 6.8	底部よりやや外反して立ち上がり、中位より上位にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1146	土師質杯	口径 11.8 器高 3.1 底径 8.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1147	土師質杯	口径 10.0 器高 2.8 底径 7.6	体部から口縁部にかけて直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。底部内面凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1148	土師質杯	口径 11.7 器高 3.55 底径 6.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1149	土師質杯	口径 11.2 器高 3.2 底径 5.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1150	土師質杯	底径 6.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。底部外面凹凸有り。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1151	土師質杯	底径 6.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部中央凹む。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1152	土師質杯	底径 7.3	体部内彎。底部内面中央部やや凹む。体部と底部の境に稜有り。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を含む。	橙色	
1153	土師質杯	底径 6.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。底部凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1154	土師質杯	底径 6.3	底部より内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1155	土師質杯	底径 6.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部内面中央凹む。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1156	土師質杯	底径 4.55	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	精良。	橙色	
1157	土師質杯	底径 8.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1158	土師質杯	底径 8.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1159	土師質杯	底径 5.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切りやや丁寧なナデ。	精良。	橙色	
1160	土師質杯	底径 6.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1161	土師質杯	底径 7.0	底部より直線的に立ち上がる。体部器壁薄い。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1162	土師質杯	底径 6.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後、板ナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1163	土師質杯	底径 8.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後、板ハケ目有り。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	

第79表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (63)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1164	土師質杯	底径 5.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1165	土師質杯	底径 6.7	底部よりわずかに外反しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1166	土師質杯	底径 7.9	体部やや内彎。底部わずかに凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。体部内外面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1167	土師質杯	底径 6.5	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部凹凸有り。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1168	土師質杯	底径 6.1	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜有り。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
1169	土師質杯	底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1170	土師質杯	底径 6.5	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後、板ナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1171	土師質杯	底径 4.8	底部より直線的に立ち上がる。底部内面中央もり上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1172	土師質杯	底径 5.0	底部より内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1173	土師質杯	底径 4.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部外面に成形による稜。	底部回転ヘラ切り。体部内外面丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
1174	土師質杯	底径 7.8	底部より内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1175	土師質杯	口径 12.0 器高 3.8 底径 8.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1176	土師質杯	底径 6.7	体部やや内彎気味に立ち上がる。底部の器壁やや凹凸有り。	底部回転ヘラ切後ナデ体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄橙色	
1177	土師質杯	底径 7.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1178	土師質杯	底径 7.3	体部やや内彎気味に立ち上がる。体部と底部の境、わずかに稜を残す。	底部回転ヘラ切り。体部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1179	土師質杯	底径 6.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1180	土師質杯	底径 8.0	体部やや内彎。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り。体部内外面、底部内面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡赤褐色	
1181	土師質杯	底径 4.2	体部やや内彎。	底部回転ヘラ切り。	結晶片岩の細粒を含む。	浅黄橙色	
1182	土師質杯	底径 7.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1183	土師質杯	底径 6.2	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。	砂粒を含む。	にぶい橙色	
1184	土師質杯	底径 8.15	底部よりやや外反気味に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1185	土師質杯	底径 7.6	底部よりやや外反しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1186	土師質杯	底径 6.9	体部内彎。底部の器壁やや肥厚。底部中央の器壁薄くなる。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	明黄橙色	

第80表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (64)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1187	土師質杯	底径 6.3	体部と底部の境に段が付く。底部内面凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。	精良。	橙色	
1188	土師質杯	底径 8.05	底部よりやや内彎気味に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1189	土師質高台付杯	口径 9.0 器高 4.05 底径 4.4	底部より内彎しながら立ち上がり、口縁端部はやや外反する。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1190	土師質杯	底径 7.6	体部外方に開き、やや内彎する。底部の器壁やや肥厚する。	底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄色	
1191	土師質杯	底径 6.0	体部やや内彎。体部と底部の境の器壁やや肥厚。器壁の凹凸顕著。	底部、体部内外面ロクロナデ。底部切り離し不明。	微砂粒を多く含む。	淡黄褐色	
1192	土師質杯	口径 12.1 器高 2.8 底径 6.0	体部やや内彎。	口縁部内外面ロクロナデ。底部切り離し不明。	精良。	浅黄橙色	
1193	土師質杯	底径 12.1	体部から口縁部にかけてやや内彎気味に立ち上がる。器壁やや厚い。	体部、口縁部内外面ロクロナデ。底部切り離し不明。	結晶片岩の細粒を含む。	にぶい橙色	
1194	土師質皿	口径 6.9 器高 1.3 底径 5.9	口縁部直線的に立ち上がり端部はやや尖る。	底部回転糸切り。口後部内外面ヨコナデ。底部内面ナデ。	微砂粒を含む。	橙色	
1195	土師質皿	口径 8.2 器高 1.4 底径 6.6	体部内彎気味。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1196	土師質皿	口径 6.9 器高 1.2 底径 4.7	底部より直線的に立ち上がり、口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1197	土師質皿	口径 7.3 器高 1.2 底径 6.2	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1198	土師質皿	口径 6.7 器高 1.4 底径 4.9	口縁部外方へ開いた後、内彎。口縁端部は丸い。全体に器壁やや厚い。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を含む。	にぶい橙色	
1199	土師質皿	口径 7.0 器高 1.4 底径 5.7	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1200	土師質皿	口径 7.6 器高 1.25 底径 5.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1201	土師質皿	口径 8.0 器高 1.4 底径 6.5	体部内彎気味。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多量に含む。	暗黄褐色	
1202	土師質皿	口径 7.0 器高 1.1 底径 5.5	底部より中位にかけ直線的で、中位より稜をなし、口縁部にかけて直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1203	土師質皿	口径 7.2 器高 1.1 底径 6.5	口縁部外反気味に立ち上がる。口縁部はやや尖る。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1204	土師質皿	口径 7.75 器高 1.0 底径 6.85	体部直線的。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	

第81表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (65)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1205	土師質皿	口径 7.4 器高 1.3 底径 6.4	底部より直線的に立ち上がる。 口縁端部は尖る。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	
1206	土師質皿	口径 6.6 器高 1.6 底径 6.0	底部より直線的に立ち上がる。 底部内面中央ややもり上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1207	土師質皿	口径 7.1 器高 1.25 底径 5.15	底部より直線的に立ち上がる。 口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1208	土師質皿	口径 7.4 器高 1.2 底径 6.3	口縁部内彎し、端部やや尖る。 底部内外面凹凸有り。底部と口縁部の境、稜有り。底部粘土はみ出し一部有り。	底部回転糸切り。板目有り。口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1209	土師質皿	口径 7.4 器高 1.6 底径 5.3	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り。板ハケ目有り。体部はナデ。	精良。	にぶい橙色	
1210	土師質皿	口径 7.3 器高 1.1 底径 6.5	口縁部やや内彎。口縁端部は丸い。底部内面中央凹む。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	淡褐色	
1211	土師質皿	口径 7.3 器高 1.2 底径 6.2	口縁部やや外反し、端部やや尖る。底部内外面やや凹凸有り。器形の歪み顕著。底部粘土はみ出し有り。	底部回転糸切り。口縁部内外面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	(内面) にぶい褐色 (外面) 淡赤橙色	
1212	土師質皿	口径 6.6 器高 1.6 底径 5.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。底部内面中央凹む。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1213	土師質皿	口径 7.4 器高 1.1 底径 6.1	底部より直線的に立ち上がる。 口縁端部はやや尖る。	底部回転糸切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1214	土師質皿	口径 7.0 器高 1.1 底径 5.6	底部より直線的に立ち上がる。 口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜を残す。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1215	土師質皿	口径 6.8 器高 1.65 底径 6.3	底部よりやや外反しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1216	土師質皿	口径 7.4 器高 1.4 底径 6.0	口縁部やや内彎し、端部は丸い。 底部外面粘土はみ出し有り。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1217	土師質皿	口径 6.9 器高 1.0 底径 5.9	底部よりやや直線的に立ち上がる。 口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1218	土師質皿	底径 5.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。 底部内面中央ややもり上がる。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。	精良。	橙色	
1219	土師質皿	底径 5.8	底部より大きく外反しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1220	土師質皿	底径 5.65	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1221	土師質皿	底径 7.0	底部よりやや外反気味に立ち上がる。	底部回転糸切り。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1222	土師質皿	口径 6.5 器高 1.7 底径 5.8	底部より直線的に立ち上がる。 口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後ナデ。底部外面以外、丁寧なロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	明黄褐色	

第82表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (66)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1223	土師質皿	底径 7.0	底部より直線的に立ち上がる。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	赤褐色	
1224	土師質皿	口径 8.5 器高 1.2 底径 6.7	口縁部直線的に立ち上がる。口縁端部尖る。底部内面凹凸有り。	底部回転糸切り。体部はナデ。	結晶片岩を含む。	浅黄橙色	
1225	土師質皿	底径 8.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1226	土師質皿	口径 7.0 器高 1.1 底径 6.6	底部から体部にかけて垂直に立ち上がる。口縁部やや外反し、端部はやや丸い。底部粘土はみ出し一部有り。底部中央器壁厚い。	底部回転糸切り。口縁部内外面ヨコナデ。底部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1227	土師質皿	口径 8.0 器高 1.3 底径 7.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1228	土師質高台付皿	底径 4.2	底部よりやや外反しながら直線的に立ち上がる。底部内面やもり上がる。底部高台状で器壁厚い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1229	土師質高台付皿	底径 4.7	底部より外反しながら立ち上がる。	底部静止糸切り後や粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1230	土師質高台付皿	口径 8.45 器高 3.15 底径 5.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。底部高台、台形状で厚い。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1231	土師質高台付皿	底径 3.5	底部内面凹む。中央部はわずかにもり上がる。	底部回転糸切り後ナデ消し。高台部厚く粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1232	土師質高台付皿	口径 8.4 器高 2.2 底径 5.7	口縁部内彎。口縁端部はやや丸い。底部の器壁厚い。底部内面やや凹凸有り。	底部回転糸切り。内外面全体にナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1233	土師質高台付皿	底径 5.3	底部高台状で器壁厚い。	底部回転糸切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1234	土師質高台付皿	底径 5.2	底部よりやや外反気味に立ち上がる。底部内面中央やもり上がる。	底部回転糸切り体部はナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1235	土師質皿	口径 7.0 器高 2.35 底径 5.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部静止糸切後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1236	土師質皿	口径 11.2 器高 1.8 底径 7.8	底部の器壁厚く、中央部凹む。口縁部やや内彎。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り。体部内外面ロクロナデ。	微細な黒粒を含む。	橙色	
1237	土師質皿	口径 7.2 器高 1.2 底径 6.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1238	土師質皿	口径 7.9 器高 1.4 底径 6.4	体部やや内彎。底部外面中央凹む。体部下方粘土はみ出し有り。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	精良。	黄橙色	
1239	土師質皿	口径 6.65 器高 1.5 底径 4.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1240	土師質皿	口径 7.25 器高 1.3 底径 5.45	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第83表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (67)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1241	土師質皿	口径 7.2 器高 1.3 底径 5.7	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1242	土師質皿	口径 7.5 器高 6.2 底径 1.3	底部よりやや直線的に立ち上がる。底部外面中央凹む。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1243	土師質皿	口径 7.6 器高 1.2 底径 5.1	口縁部直線的に外方へ開き端部は丸い。底部中央部、器壁やや厚い。	底部回転ヘラ切り。口縁部外面ヨコナデ。内面全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	
1244	土師質皿	口径 7.6 器高 1.8 底径 6.2	口縁部直線的。底部の器壁肥厚し、底部内面凹凸顕著。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	黄褐色	
1245	土師質皿	口径 7.4 器高 1.05 ~1.45	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや丸く、粗い仕上がり。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。内外面共やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1246	土師質皿	口径 6.45 器高 1.3 底径 4.4	底部より直線的に立ち上がる。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1247	土師質皿	口径 7.2 器高 1.5 底径 5.4	口縁部短く直線的。口縁端部は丸い。	口縁部内面ヨコナデ。底部内面ナデ。底部回転ヘラ切り後ナデ。	精良。	橙色	
1248	土師質皿	口径 7.8 器高 1.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1249	土師質皿	口径 8.2 器高 1.7 底径 6.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1250	土師質皿	口径 7.8 器高 1.8 底径 5.8	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	精良。	にぶい橙色	
1251	土師質皿	口径 7.8 器高 1.3 底径 5.9	口縁部直線的で短い。口縁端部は丸い。底部凹凸有り。	底部回転ヘラ切り。板目有り。底部内面ナデ。口縁部内外面ロクロナデ。	精良。	浅黄橙色	
1252	土師質皿	口径 8.0 器高 1.3 底径 6.0	口縁部やや外反し、端部は尖る。底部内面やや凹凸有り。器形やや歪み有り。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1253	土師質皿	口径 9.2 器高 1.5 底径 6.6	口縁部内彎し、端部尖る。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り。内面全体ヨコナデ。外面全体ナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1254	土師質皿	口径 7.6 器高 1.6 底径 6.0	口縁部やや外反し、口縁端部はやや丸い。底部外面凹凸有り。丸底状。	底部回転ヘラ切り。全体に丁寧なヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1255	土師質皿	口径 7.3 器高 1.3 底径 4.6	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部は肥厚しやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1256	土師質皿	口径 7.4 器高 1.1 底径 6.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1257	土師質皿	口径 8.1 器高 1.4 底径 4.8	口縁部直線的に外方へ開き端部やや外反。体部から底部にかけて丸く底を仕上げる。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄色	

第84表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (68)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1258	土師質皿	口径 6.8 器高 1.6 底径 4.7	口縁部やや外反。体部外面成形による稜有り。	体部内外面ロクロナデ。底部回転ヘラ切り。	精良。	浅黄橙色	
1259	土師質皿	口径 7.6 器高 1.2 底径 5.8	底部よりやや外反しながら立ち上がる。先端はやや丸い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	精良。	浅黄橙色	
1260	土師質皿	口径 8.2 器高 1.15 底径 7.0	底部より直線的に立ち上がり、先端はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	精良。	灰褐色	
1261	土師質皿	口径 7.2 器高 1.5 底径 4.2	口縁部やや外反。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	淡橙色	
1262	土師質皿	口径 7.5 器高 1.5 底径 6.0	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1263	土師質皿	口径 7.2 器高 1.2 底径 5.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。先端はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1264	土師質皿	口径 7.1 器高 1.0 底径 4.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部凹凸有り。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1265	土師質皿	口径 7.7 器高 1.6 底径 5.8	底部より直線的に立ち上がり、口縁端部はやや外反する。	底部回転ヘラ切り後、丁寧なナデ。	精良。	橙色	
1266	土師質皿	口径 6.0 器高 1.15 底径 5.45	底部よりやや直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	
1267	土師質皿	底径 6.4	底部よりやや外反して立ち上がる。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	暗灰黄色	
1268	土師質皿	口径 7.6 器高 1.5 底径 5.7	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	
1269	土師質皿	底径 4.2	底部より内彎気味に立ち上がる。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後ナデ。体部内外面、底部内面ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	淡黄色	
1270	土師質皿	底径 6.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部中央部、器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	精良。	浅黄橙色	
1271	土師質皿	底径 5.2	底部凹凸顕著。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り。底部内面、体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	黒灰色	
1272	土師質皿	底径 6.4	底部よりやや直線的に立ち上がる。体部下方に稜有り。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1273	土師質高台付皿	口径 6.2 器高 3.1 底径 4.7	口縁部直線的に外方へ開き端部は丸い。底部高台状で器壁は極めて厚い。	底部回転ヘラ切り。口縁部と高台部外面丁寧なヨコナデ。内面全体と底部外面ナデ。	精良。	浅黄橙色	
1274	土師質高台付皿	底径 4.7	底部より内彎気味に立ち上がる。底部やや厚く、内面中央ややもり上がる。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1275	土師質高台付皿	底径 4.5	底部より内彎気味に立ち上がる。底部高台状で器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後やや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第85表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (69)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1276	土師質高台付皿	底径 4.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	底部回転ヘラ切り。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1277	土師質高台付皿	底径 4.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。底部高台状で器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1278	土師質高台付皿	底径 5.0	底部よりやや外反しながら立ち上がる。底部の器壁厚い。	底部回転ヘラ切り後やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1279	土師質高台付皿	底径 5.2	高台部の器壁厚い。底部内面中央部やや突出。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1280	土師質高台付皿	底径 5.0	底部の器壁厚い。底部内面中央部凹む。高台部から体部にかけて成形により斜めの稜をわずかに残す。	底部回転ヘラ切り。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1281	土師質皿	口径 7.85 器高 1.25 底径 5.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	底部外面以外ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	灰褐色	
1282	土師質皿	口径 7.8 器高 1.0 底径 5.0	口縁部直線的に外方へ開き端部はやや肥厚し、丸い。	底部外面以外ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	淡橙色	
1283	土師質皿	口径 7.5 器高 1.0 底径 6.0	体部わずかに内彎。口縁端部丸く仕上げる。全体に器壁薄い。	底部切り離し不明。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1284	土師質皿	口径 7.1 器高 1.4 底径 6.0	口縁部外反し、端部は丸い。	底部切り離し不明。内外面全体丁寧なロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	浅褐色	
1285	土師質皿	口径 7.4 器高 1.2 底径 5.4	口縁部外方へ開いて直線的。口縁端部は丸い。	底部切り離し不明。底部外面以外ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	淡黄色	
1286	土師質高台付皿	底径 5.6	体部わずかに外反。底部中央凹む。	底部切り離し不明。底部外面以外ナデ。	精良。	橙色	
1287	土師質高台付皿	底径 4.7	底部の器壁厚く、内面中央部やや突出。体部にナデによる稜を残す。	底部切り離し不明。体部はナデ。	微砂粒を含む。	橙色	
1288	土師質高台付皿	底径 5.0	底部の器壁厚く、内面中央部やや突出。	底部切り離し不明。全体にナデ。	微砂粒を少量含む。	橙色	
1289	土師質高台付皿	底径 4.7	高台部器壁厚く、外面位に成形による斜めの稜をわずかに残す。体部やや外反。	底部切り離し不明。全体にナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1290	土師質椀	口径 11.3 器高 3.1 底径 3.4	体部内彎。口縁部やや外反し、端部やや丸い。体部外面上位でやや屈曲する。無高台。	底部外面板目有り。外面全体にナデ。内面全体丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1291	土師質椀	口径 11.2 器高 3.2 底径 4.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部は丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1292	土師質椀	口径 9.7 器高 3.1 底径 4.65	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1293	土師質椀	口径 10.6 器高 3.2 底径 5.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	貼り付け高台。体部は丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	

第86表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (70)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1294	土師質碗	口径 7.3 器高 1.2 底径 6.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1295	土師質碗	口径 10.6 器高 3.1 底径 3.2	底部よりやや内彎し、中位よりやや外反気味に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	灰黄褐色	
1296	土師質碗	口径 11.1 器高 3.1 底径 4.0	底部より内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1297	土師質碗	口径 10.8 器高 3.0 底径 3.7	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜を残す。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1298	土師質碗	口径 10.6 器高 3.0 底径 4.0	体部やや内彎し、口縁部やや外反。端部は丸い。体部上位にナデによる稜有り。高台断面逆三角形で低い。器形歪み有り。	内外面全体にナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1299	土師質碗	口径 10.0 器高 2.5 底径 2.4	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1300	土師質碗	口径 11.2 器高 3.1 底径 3.4	体部内彎。口縁部やや外反口縁端部は尖る。断面方形の押し潰されたような低い高台が付く。	内面全体丁寧なナデ。口縁部、体部外面粗いナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	白色	
1301	土師質碗	口径 11.1 器高 3.6 底径 4.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部は丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1302	土師質碗	口径 10.1 器高 2.7 底径 3.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色 (口縁部) 黒褐色	口縁部煤付着
1303	土師質碗	口径 10.8 器高 3.0 底径 4.0	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。体部にナデによる稜を残す。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1304	土師質碗	口径 11.1 器高 3.0 底径 3.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。断面方形の押し潰されたような高台が付く。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1305	土師質碗	口径 10.2 器高 3.2 底径 3.6	底部より内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	貼り付け高台。体部はナデ。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1306	土師質碗	口径 11.15 器高 3.2 底径 4.65	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁部やや外反する。高台断面台形。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒をやや含む。	浅黄橙色	
1307	土師質碗	口径 10.1 器高 3.2 底径 3.7	体部、口縁部内彎。口縁端部は丸い。高台断面逆三角形でやや低い。器形やや歪み有り。器壁やや厚い。	体部、口縁部内外面ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	体部外面煤付着
1308	土師質碗	口径 10.4 器高 3.4 底径 4.35	体部内彎。口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜を残す。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1309	土師質碗	口径 10.85 器高 3.5 底径 3.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	

第87表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (71)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1310	土師質椀	口径 11.2 器高 3.4 底径 4.0	体部内彎し、口縁部外反する。体部にナデによる稜を残す。高台断面方形。	貼り付け高台。体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
1311	土師質椀	口径 10.4 器高 1.7 底径 4.0	底部より上位にかけ内彎し上位より口縁端部にかけ外反しながら立ち上がる。口縁端部は肥厚し先端丸い。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部、高台部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	明褐灰色	
1312	土師質椀	口径 10.4 器高 3.5 底径 4.0	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1313	土師質椀	口径 11.0	体部内彎。口縁部やや外反体部にナデによる稜を残す。貼り付け高台の痕有り。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	淡黄色	
1314	土師質椀	口径 11.0 器高 3.1 底径 4.0	体部内彎。口縁端部は丸い。体部外面わずかに稜を残す。高台断面逆三角形で低い。	底部外面板目有り。体部、口縁部外面ナデ。内面全体に丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1315	土師質椀	口径 10.3 器高 3.2 底径 3.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1316	土師質椀	口径 11.6 器高 3.6 底径 4.2	体部内彎。口縁部やや外反し端部は丸い。高台断面逆台形。一部逆三角形で低い。	内外面全体に丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1317	土師質椀	口径 11.0 器高 4.1 底径 3.9	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。体部にナデによる稜を残す。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1318	土師質椀	口径 11.6 器高 3.8 底径 4.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。体部にナデによる稜を残す。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1319	土師質椀	口径 11.4 器高 3.6 底径 4.6	底部より内彎しながら立ち上がり、口縁部にかけやや外反する。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1320	土師質椀	口径 11.2 器高 3.4 底径 4.7	体部から口縁部にかけてやや内彎。口縁部肥厚し、端部丸く仕上げる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1321	土師質椀	口径 11.0 器高 3.4 底径 3.8	体部、口縁部内彎。高台断面逆台形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1322	土師質椀	口径 11.3 器高 3.2 底径 4.0	体部から口縁部にかけて内彎。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。口縁部体部外面、高台部ヨコナデ。内面も丁寧なナデを施す。	精良。	淡黄色	体部下方煤付着
1323	土師質椀	口径 10.8 器高 3.3 底径 2.8	体部内彎。体部にナデによる稜を残す。押し潰されたような低い高台が付く。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。口縁部、体部内外面丁寧なナデ。	精良。	にぶい黄橙色	
1324	土師質椀	口径 10.2 器高 3.3 底径 4.4	体部、口縁部やや内彎。口縁端部は丸い。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1325	土師質椀	口径 10.5 器高 3.7 底径 4.1	体部内彎。口縁部外反。口縁端部は丸い。高台断面方形状。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	

第38表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (72)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1326	土師質碗	口径 10.1 器高 2.9 底径 3.6	体部やや内彎し、中位で屈曲する。口縁部やや外反し端部は丸い。高台断面逆台形で低い。	内外面全体にナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	淡橙色	
1327	土師質碗	口径 9.8 器高 3.0 底径 4.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。押し潰されたような低い高台が付く。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1328	土師質碗	口径 10.8 器高 3.4 底径 3.1	体部内彎。口縁部やや外反し、端部は丸い。高台部は逆三角形で低い。	内面全体丁寧なナデ。外面全体ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1329	土師質碗	口径 11.6 器高 3.0 底径 5.7	体部、口縁部内彎。高台断面半円形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1330	土師質碗	口径 11.1 器高 4.0 底径 3.9	体部内彎。口縁部直線的。口縁端部は丸い。高台断面逆三角形。	口縁部ヨコナデ。体部外面ユビオサエ後粗いナデ。体部内面丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	底部外面を除き煤付着
1331	土師質碗	口径 10.6 器高 3.7 底径 4.6	体部内彎。口縁部やや外反。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。内外面全体に丁寧なロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	(底部) 黒色 (口縁部) 白色	
1332	土師質碗	口径 11.0 器高 2.9 底径 4.0	体部内彎し、口縁端部は丸い。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1333	土師質碗	口径 11.0 器高 2.5 底径 3.8	口縁部内彎。底部やや肥厚し、断面三角形の高台が付く。体部にナデによる稜を残す。	内面全体丁寧なナデ。口縁部外面ナデ。体部外面粗いナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	淡橙色	
1334	土師質碗	口径 10.8 器高 2.9 底径 3.2	底部よりやや直線的に立ち上がる。上位より口縁端部にかげやや外反する。口縁端部は丸い。高台断面逆三角形で低い。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1335	土師質碗	口径 11.0 器高 3.0 底径 4.0	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1336	土師質碗	口径 11.1	底部より口縁端部にかげやや段階的に内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	内外面共やや丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	橙色	
1337	土師質碗	口径 11.3	体部内彎し、中位よりやや屈曲する。口縁部は直線的で、端部はやや尖る。	外面全体にナデ。内面全体に丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1338	土師質碗	口径 10.9	体部内彎。口縁部外反。口縁端部はやや丸い。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1339	土師質碗	口径 11.0	体部内彎。口縁部内彎。口縁端部は尖る。	体部、口縁部内外面共ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	暗褐色	
1340	土師質碗	口径 11.2	体部内彎。口縁部外反し、端部やや丸い。体部外面中位に成形による稜有り。	体部、口縁部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	体部内面煤付着
1341	土師質碗	口径 11.15	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。体部にナデによる稜を残す。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1342	土師質碗	口径 11.0	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。体部にナデによる稜を残す。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	

第89表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (73)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1343	土師質碗	口径 10.5	体部内彎。口縁部やや外反し、端部は丸い。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1344	土師質碗	口径 11.1	体部外方へ開いた後内彎。口縁部内彎。端部は丸い。体部中位で強いナデ痕有り。無高台。	内外面全体にナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1345	土師質碗	口径 11.3	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄褐色	
1346	土師質碗	口径 11.1	体部やや内彎。口縁端部は丸い。	体部はナデ。	微砂粒を含む。	灰白色	
1347	土師質碗	口径 11.2	体部内彎。口縁部やや外反端部はやや尖る。	外面全体ナデ。内面全体丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1348	土師質碗	口径 10.4	体部から口縁部にかけて内彎。	口縁部、体部外面ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1349	土師質碗	口径 10.5	体部内彎。口縁部やや外反。口縁端部は丸い。	口縁部外面ヨコナデ。内面丁寧なナデ。	砂粒を少量含む。	灰白色	
1350	土師質碗	口径 12.3	体部やや内彎し、口縁端部は外反し、先端丸い。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1351	土師質碗	口径 11.4	体部内彎し、口縁端部は丸い。体部にナデによる稜を残す。	外面全体にナデ。内面全体に丁寧なナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1352	土師質碗	口径 10.9	体部内彎しながら立ち上がる。	体部はナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1353	土師質碗	口径 11.4	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	体部はナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄色	
1354	土師質碗	底径 4.2	高台部断面逆三角形で低い。	全体にナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1355	土師質碗	底径 4.7	断面逆台形状の低い高台が付く。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	
1356	土師質碗	底径 4.45	断面逆三角形の低い高台が付く。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1357	土師質碗	底径 4.0	体部やや内彎。高台断面逆三角形。	体部内外面、底部内面丁寧なナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	淡黄色	
1358	土師質碗	底径 4.3	断面逆三角形の低い高台が付く。	底部外面以外ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	にぶい黄橙色	
1359	土師質碗	底径 3.7	高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	精良。	浅黄橙色	
1360	土師質碗	底径 4.3	高台断面逆三角形。一部逆台形で低い。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を含む。	浅黄橙色	
1361	土師質碗	底径 4.2	高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1362	土師質碗	底径 4.2	高台断面逆三角形で、一部逆台形で低い。	体部内外面ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を少量含む。	浅黄橙色	
1363	土師質碗	底径 3.4	体部ゆるやかに外方へ開く高台部断面逆台形で低い。	体部内外面ナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1364	土師質碗	底径 5.2	体部内彎。底部丸くやや肥厚する。高台断面逆三角形で低い。	体部、底部内面丁寧なナデ。体部外面粗いナデ。貼り付け高台。高台部ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	淡褐色	
1365	土師質碗	底径 3.6	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。内面丁寧なナデを施し、外面はやや粗いナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	

第90表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (74)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1366	土師質椀	底径 4.1	底部より内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1367	土師質椀	底径 3.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1368	土師質椀	底径 4.2	体部にナデによる稜を残す。高台断面逆三角形。	貼り付け高台。高台部ヨコナデ。体部はナデ。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1369	土師質鍋	口径 24.3	「く」の字状の口縁。口縁端部は丸い。	口縁部内面ヨコハケ目。口縁部外面細かいタテハケ目。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	外面煤付着
1370	土師質鍋	口径 32.0	体部やや内彎。口縁部は「く」の字状。	口縁部内面ヨコ方向のハケ目。外面はタテ方向のハケ目。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1371	土師質鍋	口径 27.7	口縁部外反した後内彎。口縁部肥厚し、平坦に仕上げる。	口縁部内面丁寧なナデ。口縁部外面ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	明褐色 (外面) 黒褐色	体部外面に煤付着
1372	土師質鍋	口径 29.8	体部内彎。口縁端部は「く」の字状に外反する。先端丸い。	口縁部内面にヨコ方向のハケ目。外面にタテ方向のハケ目。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1373	土師質鍋	口径 31.2	体部、口縁部やや内彎。口縁部端部は凹面に仕上げる。	体部外面ユビオサエ。内面ナデ。口縁部端部ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	外面煤付着 顕著
1374	土師質鍋	口径 27.9	体部やや内彎。口縁部は「く」の字状に外反する。口縁端部は丸い。	体部内面ヨコ方向のハケ目。体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	口縁部外面煤付着
1375	土師質鍋	口径 29.5	体部やや内彎。口縁端部は「く」の字状に大きく外反する。端部平坦。	内面ヨコ方向のハケ目。外面ユビオサエ痕有り。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	
1376	土師質鍋	口径 26.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部は「く」の字状に外反する。先端は平坦。	体部外面はヨコ及び斜め方向のハケ目有り。	砂粒を多く含む。	褐灰色	
1377	土師質鍋	口径 26.3	体部内彎。「く」の字状の口縁。口縁端部やや肥厚し断面丸く仕上げる。	体部内外面にハケ目。口縁部外面ナデ後ユビオサエ。外面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	外面煤付着 顕著
1378	土師質鍋	口径 36.4	「く」の字状の口縁。口縁部端部は平坦。	口縁部内外面共ヨコハケ目。ユビオサエ痕有り。	結晶片岩。微砂粒を含む。	(内面) にぶい橙色	外面に煤付着
1379	土師質鍋	底径 9.4	底部より口縁部にかけてやや直線的に立ち上がる。	全面に粗いナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1380	土師質羽釜	口径 24.4	体部内彎。断面三角形の鑊が付く。口縁端部は平坦。	体部外面にタテ方向のハケ目。体部内面ヨコ方向のハケ目。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1381	土師質羽釜	口径 27.0	口縁部直立気味。口縁端部は平坦。断面方形の鑊が付く。	口縁部外面、鑊部ヨコナデ。体部外面ユビオサエ後ナデを施す。	砂粒を含む。	橙色	体部外面煤付着
1382	土師質羽釜	口径 25.0	口縁部直線的に立ち上がる。口縁端部は平坦。短い口縁部に断面三角形の短い鑊が水平に付く。	口縁部内面ユビオサエ後ヨコ方向のハケ目。口縁部外面、鑊部ヨコナデ。	砂粒を少量含む。	にぶい褐色	体部、鑊部煤付着
1383	土師質羽釜	口径 25.5	体部やや内彎。断面三角形の鑊部平行に付く。口縁端部はやや尖る。	体部外面ユビオサエ痕顕著。内面ヨコ方向のハケ目。	砂粒を多く含む。	(内側) にぶい橙色 (外側) 灰褐色	

第91表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (75)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1384	土師質羽釜	口径 24.2	断面方形の鐔が水平方向に付く。口縁端部は平坦。	口縁部外面ヨコナデ体部内外面ユビオサエ後ヨコナデを施す。鐔折り曲げる。	微砂粒を多く含む。	浅黄橙色	体部外面煤付着
1385	土師質羽釜	口径 31.4	口縁部直線的。断面三角形の鐔が水平に付く。	体部内面ヨコ方向のハケ目。口縁部、鐔部外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ後、タテ方向のハケ目を施す。	微砂粒を少量含む。	にぶい黄橙色	外面煤付着顕著
1386	土師質播鉢	底径 12.5	底部小片。	体部内面に6条以上を1単位とする。櫛猫条線を施す。	微細な黒粒を含む。	にぶい黄橙色	
1387	土師質脚部	長さ 18.7 径 2.1	断面円形。基部屈曲。	粘土を棒状に成形。全面ユビオサエ後、タテ方向のナデを施す。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	
1388	土師質脚部	残存長13.6 径 2.3	断面楕円形。基部屈曲。身部直線的。	全体にユビオサエ後、ヘラケズリを施す。	砂粒を多く含む。	暗褐色	部分的に煤付着顕著
1389	土師質脚部	残存長11.9	断面円形。基部屈曲。身部直線的。	全体にユビオサエ後、ヘラケズリを施す。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	基部から身部外面にかけて煤付着
1390	土師質脚部	残存長 8.8 径 2.6	断面楕円形。基部屈曲。	粘土を棒状に成形。全体にヘラケズリ後、粗いナデを施す。	砂粒を多く含む。	暗褐色	一部煤付着
1391	土師質脚部	残存長 9.5 径 2.1	断面方形に近い円形。身部直線的。	粘土を棒状に成形。全体にユビオサエ後、丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	暗橙色	
1392	土師質脚部	残存長 7.7 径 2.5	断面ほぼ円形。基部屈曲。	粘土を棒状に成形。全体にヘラケズリを施した後ナデ。	砂粒を多量に含む。	暗赤褐色	一部煤付着
1393	土師質脚部	長さ 6.0 径 2.25	身部直線的。	粘土を棒状に成形。ユビオサエ後ヘラケズリ。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1394	瓦器椀	口径 10.6 器高 2.7	体部、口縁部内彎。口縁端部はやや尖る。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。内面ナデ後ヘラミガキ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1395	瓦器椀	口径 11.3 器高 2.9	体部、口縁部内彎。口縁端部はやや丸い。	底部ユビオサエの跡有り。内面ヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	暗灰色	
1396	瓦器椀	口径 11.6 器高 2.9 底径 4.7	体部内彎。体部にナデによる稜を残す。	底部外面ユビオサエ痕有り。内面ヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	
1397	瓦器椀	口径 12.1 器高 2.8	体部内彎。口縁端部は丸い。	底部外面ユビオサエ。口縁部内外面ヨコナデ。内面見込み部にわずかにヘラミガキを施す。	微砂粒を多く含む。	灰色	
1398	瓦器椀	口径 11.5 器高 2.35	底部よりゆるやかに内彎しながら立ち上がる。	底部外面ユビオサエ痕有り。内面わずかにヘラミガキを施す。	砂粒を含む。	灰色	
1399	瓦器椀	口径 11.6 器高 3.6	体部内彎。体部にナデによる稜を残す。	底部外面ユビオサエ。内面わずかにヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1400	瓦器椀	口径 10.5 器高 2.7	体部内彎。口縁端部はやや丸い。	底部より体部にかけてユビオサエ痕有り。内面わずかにヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	
1401	瓦器椀	口径 11.4 器高 2.9	体部内彎。体部にナデによる稜を残す。	底部外面ユビオサエ。内面わずかにヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	

第92表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (76)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1402	瓦器碗	口径 11.0 器高 2.9	体部内彎。口縁部やや外反し、端部は丸い。	内面ナデ後、ヘラミガキを施す。外面ナデ後ユビオサエ。	微砂粒を含む。	灰色	
1403	瓦器碗	口径 11.6	体部外方へ開いた後やや内彎。口縁部やや外反し、端部は丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ナデ後ユビオサエ。体部内面ナデ後ヘラミガキを施す。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1404	瓦器碗	口径 12.9 器高 2.6	体部内彎。口縁部はやや内彎し、端部はやや丸い。体部上位に成形による稜有り。	口縁部外面ヨコナデ。体部外面ヘラミガキとユビオサエ有り。内面全体ナデ後ヘラミガキ。	微砂粒を少量含む。	灰色	
1405	瓦器碗	口径 11.9	体部内彎。口縁端部は丸い。	底部外面ユビオサエ。内面わずかにヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	
1406	瓦器碗	口径 11.6 器高 2.4	体部、口縁部内彎。口縁端部は丸い。	体部外面ユビオサエ痕有り。体部内外面ナデ。	微砂粒を少量含む。	灰色	
1407	瓦器碗	口径 11.2 器高 2.2 底径 5.2	体部内彎。体部にナデによる稜を残す。口縁端部は丸い。	体部下位外面ユビオサエ。底部内面、渦巻状のヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	
1408	瓦器碗	口径 11.9	体部内彎。口縁部はやや肥厚し、端部は丸い。	口縁部内外面ヨコナデ。体部外面ユビオサエ。内面わずかにヘラミガキを施す。	微砂粒を少量含む。	灰色	
1409	瓦器碗	口径 10.7 器高 2.6 底径 5.5	体部内彎。器壁薄く、口縁端部はやや尖る。	底部外面ユビオサエ痕顕著。	砂粒を多く含む。	灰色	
1410	瓦器碗	口径 10.7	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。	体部外面ユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	褐灰色	
1411	瓦器碗	口径 10.8	体部内彎。口縁端部はやや丸い。	体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1412	瓦器碗	口径 12.6 器高 4.1 底径 3.3	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部外反し端部は丸い。	底部断面三角形の低い高台が付く。体部外面ユビオサエ。体部内面にヘラミガキを施す。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1413	瓦器碗	口径 11.3 器高 2.8	体部から口縁部にかけてやや内彎。口縁端部は丸い。	口縁部、体部、底部内面丁寧なナデ。体部、底部外面ユビオサエ。	精良。	灰白色	体部内外面煤付着
1414	瓦器碗	口径 12.13	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	体部外面ユビオサエ。内面わずかにヘラミガキを施す。	砂粒を含む。	灰色	
1415	瓦器碗	口径 12.0	体部やや内彎。口縁端部は丸い。	口縁部外面ヨコナデ。わずかにヘラミガキが認められる。	微砂粒を少量含む。	灰色	
1416	瓦器碗	口径 11.0 器高 2.25 底径 3.65	底部より内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。体部にナデによる稜を残す。	底部高台付で、高台部は潰れる。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1417	瓦器碗	口径 3.7	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。断面逆台形の高台が付く。	貼り付け高台。底部ユビオサエ痕有り。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1418	瓦器皿	口径 8.2 器高 0.9 底径 6.7	体部大きく外方へ開き、口縁部短い。底部凹凸有り。	体部内外面ヨコナデ。	砂粒を含む。	灰色	

第93表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (77)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1419	瓦質鍋	口径 27.5	体部内彎。断面方形の罫が水平方向に付く。口縁先端はやや平坦。	体部外面ユビオサエ。内面はヨコ方向のハケ目。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1420	瓦質羽釜	口径 18.5	断面三角形の短い罫が付く口縁端部は丸みを持つ。	口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を含む。	灰色	
1421	瓦質羽釜	口径 20.0	体部やや内彎。口縁部直立断面台形状の短い罫が付く。	口縁部内外面、罫部ヨコナデ。罫部貼り付け。体部外面ユビオサエ。内面ナデ。	微砂粒を多量に含む。	灰色	口縁部煤付着
1422	瓦質羽釜	口径 25.0	口縁部内彎。口縁端部は丸く仕上げる。外面に3条の沈線を施す。罫がやや下向きに付く。	口縁部内外面丁寧なヨコナデ。	微砂粒を含む。	黒色	
1423	瓦質鍋	口径 33.5	口縁部直立気味。断面方形の短い罫が水平に付く。	口縁部内外面ヨコナデ。内面ユビオサエ後ヨコナデ。罫下部指圧痕。体部下部叩き目、斜めハケ目。	微砂粒を含む。	灰白色	体部下部外面煤付着
1424	瓦質脚部	残存長 9.3 径 3.0	断面不整形。身部直線的。	粘土を棒状に成形。全面ユビオサエ後ナデを施す。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
1425	瓦質脚部	残存長 9.1 径 2.3	断面円形。身部わずかに内彎。	粘土を棒状に成形。タテ方向に粗いナデを施す。	微砂粒を多く含む。	黄灰色	
1426	瓦質脚部	残存長 7.5 径 2.1	断面円形。身部直線的。下端部やや屈曲。	粘土を棒状に成形。タテ方向丁寧なナデ。	微砂粒を含む。	灰色	
1427	瓦質脚部	残存長 8.0 径 2.5	断面不整形。身部やや内彎。	粘土を棒状に成形。タテ方向のナデを施す。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
1428	瓦質脚部	長さ 14.2 径縦 3.0 径横 2.7	基部屈曲。身部直線的。	ユビオサエ後タテ方向のナデ。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1429	瓦質脚部	残存長 7.7 径 2.3	断面不整形。身部直線的。	粘土を棒状に成形。一部ヘラケズリ。タテ方向のナデを施す。	砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1430	瓦質火鉢	—	体部やや内彎。	体部外面に菊花紋を施す。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	奈良火鉢
1431	瓦質火鉢	—	体部小片。	体部外面に菊花紋を施す。	微砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	奈良火鉢
1432	瓦質火鉢	—	体部小片。	体部外面に菊花紋を施す。	砂粒を多く含む。	にぶい黄橙色	奈良火鉢
1433	陶器擂鉢	口径 25.6	口縁部端面は平坦に仕上げる。7条の櫛猫条線。口縁部やや内彎。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	暗褐色	備前焼
1434	陶器擂鉢	口径 27.8	口縁部直線的。口縁端部拡張し、端面を平坦に仕上げる。体部内面に6条の櫛猫条線。	口縁部内外面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	備前焼
1435	陶器擂鉢	口径 26.5	口縁部やや内彎。口縁端部拡張し、端面を平坦に仕上げる。内面に8条単位の櫛猫条線。	口縁部内外面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	備前焼
1436	陶器擂鉢	口径 24.6	体部内面に7条以上を1単位とする櫛猫条線を施す。口縁部内彎。口縁端部拡張し、端部は平坦に仕上げる。片口が付く。口縁端面に自然釉。	口縁部内外面、口縁部端面ヨコナデ。片口は指で押し出す。	砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	備前焼

第94表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (78)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1437	陶器擂鉢	口径 33.0	体部内面に7条を1単位とする櫛猫条線。口縁部内彎口縁端部拡張し、平坦に仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。口縁部端面ナデ。	微砂粒を多量に含む。	灰白色	備前焼
1438	陶器擂鉢	口径 34.7	口縁部わずかに拡張し、端面を平坦に仕上げる。体部内面に8条の櫛猫条線。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	灰白色	備前焼
1439	陶器擂鉢	口径 34.4	口縁部直線的。口縁端部は拡張し、端面を平坦に仕上げる。体部内面に櫛猫条線。	口縁部内外面ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	備前焼
1440	陶器擂鉢	底径 10.8	底部より直線的に立ち上がる。8条単位以上の櫛猫条線。	体部内面ヨコナデ。	微砂粒を含む。	にぶい黄褐色	備前焼
1441	陶器擂鉢	底径 12.8	体部直線的。底部平底。体部内面に櫛猫条線有り。	内外面ヨコナデ。	砂粒を含む。	にぶい赤褐色	備前焼
1442	陶器擂鉢	底径 10.7	内面に8条の櫛猫条線。	体部外面粗いナデ。	砂粒を少量含む。	にぶい赤褐色。	備前焼
1443	陶器擂鉢	底径 16.6	底部より直線的に立ち上がる。体部内面に6条単位以上の櫛猫条線。	体部内外面ロクロナデ。	砂粒を含む。	明黄褐色	備前焼
1444	須恵質こね鉢	口径 22.2	口縁部はやや上下に拡張端面はわずかに丸みを持つ。	口縁部内外面ヨコナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
1445	須恵質こね鉢	口径 20.6	口縁部直線的。口縁部上方に拡張し、先端部丸く仕上げる。器壁薄い。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1446	須恵質こね鉢	口径 25.5	口縁部直線的。口縁部上下に拡張し、先端部丸く仕上げる。器壁薄い。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1447	須恵質こね鉢	口径 24.1	口縁部先端部、端面やや丸みを持つ。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	灰色 (内面) オリーブ色	東播系
1448	須恵質こね鉢	口径 26.0	口縁部を拡張し、端面を丸く仕上げる。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1449	須恵質こね鉢	口径 27.1	口縁部上方に拡張し、先端部尖る。端面は平坦に仕上げる。器壁薄い。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	灰白色	東播系
1450	須恵質こね鉢	口径 24.6	体部直線的。口縁部やや拡張し、端面を丸く仕上げる。	体部、口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系 口縁部煤付着
1451	須恵質こね鉢	口径 25.6	口縁部上下にやや拡張し端面を丸く仕上げる。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	東播系
1452	須恵質こね鉢	口径 27.8	口縁部やや内彎。口縁部下方にわずかに拡張し、先端部は尖る。端面は丸く仕上げる。	口縁部内外面ロクロナデ。口縁部外面に自然釉がかかる。	微砂粒を多く含む。	暗灰色	東播系
1453	須恵質こね鉢	口径 25.6	口縁部下方にわずかに拡張し、端面、先端部共にやや丸く仕上げる。器壁やや薄い。	体部、口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	灰色	東播系
1454	須恵質こね鉢	底系 8.7	体部は内彎気味に立ち上がる。	体部内外面ロクロナデ。外面にユビオサエ痕残る。	砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1455	須恵質こね鉢	口径 29.0	口縁部やや外反。口縁部上下にやや拡張。端面丸い。器壁やや厚い。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系

第95表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (79)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1456	須恵質こね鉢	底径 8.3	体部ほぼ直線的に立ち上がる。	体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	灰色	東播系
1457	須恵質こね鉢	口径 32.0	口縁端部上下に拡張し、端部はやや丸みを持つ。	口縁部内外面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1458	須恵質こね鉢	底径 10.2	体部外方へ開きながらやや内彎する。底部の器壁薄い底部平底。	底部回転糸切り。体部内外面、底部内面ロクロナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	東播系
1459	須恵質こね鉢	口径 34.4	口縁部上下に拡張し、先端部を丸く仕上げる。器壁薄い。	体部内外面ロクロナデ。	微砂粒を含む。	灰色	東播系
1460	陶器甕	口径 43.5	口縁部折り返し、玉縁状を呈する。	全体に丁寧なロクロナデ。	砂粒を多く含む。	褐灰色	備前焼
1461	陶器甕	口径 51.2	口縁部は大きく外反し、口縁端部は平坦。	口縁部内外面ロクロナデ。体部外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色。	常滑焼
1462	陶器甕	口径 41.2	口縁端部は大きく外反し、端部を上下に拡張。	口縁部内外面ナデ。	砂粒を多く含む。	灰赤色	常滑焼
1463	陶器甕	口径 36.7	口縁部大きく外反。端部を上方につまみ出し、先端部をやや尖り気味に仕上げる。	口縁部から頸部にかけて内外面共ヨコナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色。	常滑焼
1464	陶器甕	口径 44.8	口縁部折曲げ、口縁部上方に拡張。	口縁部内外面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	にぶい褐色	常滑焼
1465	陶器甕	口径 40.4	口縁部やや外反し、端部を丸く仕上げる。	口縁部内外面ヨコナデ。	砂粒を含む。	灰色	常滑焼
1466	陶器甕	底径 17.0	体部斜め上方に直線的に伸びる。平底。底部から体部にかけて器壁薄くなる。	厚めの濃緑色の自然釉がかかる。	砂粒を多く含む。	灰赤色	常滑焼
1467	陶器甕	底径 17.0	体部やや内彎。底部平底。器壁薄い。	全体にナデを施すが、外面に比べて内面のナデは粗い。	砂粒を多く含む。	淡黄灰色	
1468	陶器	—	体部内彎。	体部外面に平行叩きを施す。	砂粒を含む。	浅黄橙色	
1469	陶器	—	体部直線的。	体部外面に平行叩きを施す。	微砂粒を含む。	にぶい橙色	
1470	陶器	—	体部やや内彎。	体部外面に平行叩きを施す。	砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1471	陶器	—	体部内彎。	底部外面に格子目状の叩きを施す。体部内外面ユビオサエ。	砂粒を多く含む。	暗褐色	
1472	陶器	—	体部小片。	体部外面に格子目状の叩きを施す。	砂粒を多く含む。	灰色	
1473	陶器	—	体部小片。	体部外面に格子目状の叩きを施す。	砂粒を多く含む。	灰白色	
1474	須恵質甕	口径 20.8	口縁部「L」字状。	口縁部上面、ヘラケズリで調整。体部内面ロクロナデ。	砂粒を多く含む。	灰色	
1475	陶器壺	底径 8.5	底部より斜め上方に開いて立ち上がる。	底部に糸切り痕を留め体部との境の外面にヨコナデが施される。	砂粒を多く含む。	茶褐色	
1476	陶器筒形容器	底径 11.0	低い高台を有し、体部はほぼ直立して立ち上がる。	全体に淡緑色釉を施す。	微砂粒を多く含む。	素地灰白色	瀬戸焼
1477	陶器小壺	口径 4.5	底部より大きく内彎しながら立ち上がる。口縁端部は丸い。内外面にヨコナデを施す。	体部外面に淡緑色釉を施す。	砂粒を含む。	素地灰白色	瀬戸焼

第96表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (80)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1478	陶器杯	底径 3.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部回転糸切り後丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
1479	須恵質杯	底径 6.3	底部から体部にかけて直立気味に立ち上がる。	底部回転ヘラ切り。底部外面以外コクロナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	
1480	陶器杯	底径 6.8	体部やや内彎気味に立ち上がる。底部平底。	底部回転糸切り。底部外面以外ロクロナデ。	微砂粒を少量含む。	灰白色	備前焼
1481	陶器椀	底径 4.6	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。	底部高台断面三角形の高台を付ける。	精良。	灰色	
1482	陶器椀	底径 3.8	底部平底で高台状に突出。	底部回転糸切り。高台部ナデ。底部内面丁寧なナデ後、黒褐色釉を施す。	精良。	黒褐色 (素地白色)	天目茶碗
1483	陶器梅瓶	口径 9.2	体部内彎。口縁端部は外反し、丸い。	全面にかけ、茶褐色釉を施す。	微砂粒を含む。	茶褐色 (素地灰白色)	瀬戸焼
1484	陶器輪花入子	口径 6.5 器高 4.0 底径 2.85	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや外反する。口縁部を内外に折り曲げて8弁の輪花とする。	体部内面丁寧なロクロナデ。	精良。	白色	瀬戸焼
1485	陶器香炉	—	体部やや内彎。体部外面に印花文を押す。	体部外面に鉄釉を施す。	微砂粒を多く含む。	暗緑褐色 (素地灰色)	瀬戸焼
1486	陶器壺	—	体部小片。体部外面に唐草文を描く。	全面丁寧なロクロナデ。外面に淡緑色の灰釉をやや薄めに施す。内面は露胎。	微砂粒を含む。	素地灰白色	瀬戸焼
1487	陶器	—	体部やや内彎。	全面にかけ淡緑色釉を施す。	精良。	灰白色	
1488	陶器	—	体部内彎。体部外面に渦文または波濤文。	全面に淡青白色釉を施す。	微砂粒を含む。	灰白色	
1489	陶器椀	底径 5.0	体部下部や内彎。高台断面方形。	内面全体に灰釉。底部回転糸切り。外面にロクロナデ。	微細な粒子を含む。	灰白色	瀬戸焼
1490	陶器椀	口径 12.2	体部やや内彎。口縁端部はやや丸い。体部外面に鎬蓮弁文。	全面にかけ淡緑色釉を施す。	微砂粒を多く含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1491	磁器碗	口径 14.0	体部内彎。口縁部やや外反。体部外面に鎬蓮弁文を削り出す。	全面丁寧なロクロナデ。淡緑色釉を薄めに施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1492	磁器碗	口径 12.8	体部内彎。口縁端部はやや丸い。体部に鎬蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1493	磁器碗	口径 13.6	体部内彎。口縁端部はやや尖る。体部に鎬蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1494	磁器碗	口径 15.2	体部内彎。口縁部やや外反。口縁端部は丸い。体部外面に鎬蓮弁文。	全面丁寧なロクロナデ。淡緑色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1495	磁器碗	口径 14.9	口縁端部はやや尖る。体部外面に蓮弁文有り。	全面丁寧なロクロナデ。全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1496	磁器碗	口径 14.7	体部内彎。体部に鎬蓮弁文を施す。口縁端部はやや丸い。	内外面共丁寧なナデ。全面に淡緑色釉を施す。	微砂粒を多く含む。	灰白色	龍泉窯系青磁
1497	磁器碗	口径 16.3	体部、口縁部やや内彎。口縁端部は尖る。体部外面に鎬蓮弁文。	全体丁寧なナデ。淡緑色釉をやや厚めに施す。	精良。	素地白色	龍泉窯系青磁
1498	磁器碗	口径 16.0	体部内彎。口縁部やや外反。体部外面に幅広の鎬蓮弁文有り。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1499	磁器碗	口径 16.3	体部直線的。口縁端部は尖る。体部外面に幅広の鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。やや厚めの濃緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁

第97表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (81)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1500	磁器碗	口径 15.4	体部やや内彎。口縁部内彎後やや外反。口縁端部は尖る。体部外面に幅広の鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。濃綠色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1501	磁器碗	口径 16.0	体部直線的。口縁端部はやや尖る。体部外面に幅広の鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡綠色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1502	磁器碗	口径 17.0	口縁部やや外反。体部外面に鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡綠色釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1503	磁器碗	口径 16.4	体部直線的。口縁端部はやや尖る。体部外面に幅広の鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。淡綠色釉を薄めに施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1504	磁器碗	口径 17.2	口縁部やや外反。やや幅広の蓮弁文。	濃綠色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1505	磁器碗	口径 15.8	体部内彎。口縁部やや外反口縁端部は尖る。体部外面に幅広の鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。濃綠色釉を厚めに施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1506	磁器碗	口径 16.5	体部内彎。口縁端部はやや丸い。体部に蓮弁文。	淡綠色釉を施す。	微砂粒を多く含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1507	磁器碗	口径 15.8	体部内彎。体部外面に鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に濃綠色釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1508	磁器碗	口径 15.2 器高 7.3 底径 4.1	体部やや内彎。口縁端部は尖る。体部外面に鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。やや厚めの濃綠色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1509	磁器碗	口径 22.8	体部直線的。口縁部やや外反。口縁端部は丸い。体部外面に鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。濃綠色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1510	磁器盤	口径 29.0	体部内彎。口縁端部は大きく外反し、先端尖る。	内外面共丁寧なロクロナデ。淡綠色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰色	青磁
1511	磁器碗	口径 14.1	体部、口縁部内彎。口縁端部はやや尖る。	全体的に丁寧なナデ。淡綠色釉を施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1512	磁器碗	底径 4.2	体部内彎気味に立ち上がる。高台部露胎。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡綠色釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1513	磁器碗	底径 5.1	底部より内彎しながら立ち上がる。安定した高台が付く。	高台やや丁寧なナデ。全面に綠色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1514	磁器碗	底径 4.2	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。安定した高台を持つ。	全面に淡青色釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1515	磁器碗	底径 7.0	体部やや内彎しながら立ち上がる。器壁は厚い。	内外面共丁寧なロクロナデ。淡綠色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1516	磁器碗	底径 5.8	底部内面、粘土はみ出しにより突出する。	高台内面を大きく削り高台を高めに仕上げる。高台畳付部以外濃綠色釉を厚めに施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰白色 高台部のみ灰色	龍泉窯系青磁
1517	磁器碗	底径 4.8	底部よりやや内彎しながらゆるやかに立ち上がる。内面見込み部にスタンプ文。	全面にオリーブ色の釉を施す。高台部は丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1518	磁器碗	底径 3.7	体部やや内彎。体部外面に鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。内外面に明綠色釉を薄く施す。高台部は台形状で、先端の釉を掻き取る。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1519	磁器香炉	底径 3.7	体部やや内彎。体部内面に蓮弁文状の波状の凹凸が認められる。	全体的に丁寧なロクロナデ。内外面に青白色釉をやや薄めに施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰色	青白磁

第98表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (82)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1520	磁器杯	—	内面見込み部に魚文。	全面にかけ淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1521	磁器碗	—	体部外面に蓮弁文を施す。口縁端部は丸い。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡緑色釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1522	磁器碗	—	体部やや内彎。口縁端部はやや丸い。体部に鎬蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1523	磁器碗	—	口縁端部はやや丸い。体部に鎬を持つ鎬蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	微砂粒を多く含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1524	磁器碗	—	体部わずかに内彎。口縁端部はやや丸い。体部外面に蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1525	磁器碗	—	体部内彎。口縁端部は丸い。体部外面に鎬蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1526	磁器碗	—	体部外面に蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地杯色	龍泉窯系青磁
1527	磁器碗	—	体部外面に蓮弁文。口縁端部は丸い。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1528	磁器碗	—	体部に鎬蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	微砂粒を多く含む。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1529	磁器碗	—	体部直線的で口縁端部はやや丸い。体部外面に蓮弁文。	全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1530	磁器碗	—	体部内彎。体部外面に鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1531	磁器碗	—	体部内彎。体部外面に鎬蓮弁文。	体部にやや丁寧なロクロナデ。全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1532	磁器碗	—	体部内彎。体部外面に鎬蓮弁文。口縁端部はやや丸い。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡緑色釉を厚めに施す。	精良。	素地灰色	龍泉窯系青磁
1533	磁器碗	—	体部やや内彎。口縁部やや外反し、端部は丸い。体部外面に鎬蓮弁文。	全体的に丁寧なナデ。全面に濃緑色釉を施す。	精良。	素地灰白色	龍泉窯系青磁
1534	磁器皿	口径 7.85 器高 1.25 底径 5.65	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや尖る。	底部回転ヘラ切り後丁寧なナデ。口縁端部口禿。	精良。	素地白色	白磁
1535	磁器皿	口径 9.7 器高 1.9 底径 7.0	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部はやや丸く肥厚する。先端の釉を掻き取る。口禿。	全体的に丁寧なロクロナデ。口縁端部以外、淡緑色釉を施す。	精良。	素地杯色	白磁
1536	磁器皿	口径 9.1 器高 1.7 底径 5.2	底部より直線的に立ち上がる。口縁端部口禿。	全体的に丁寧なロクロナデ。全面に淡緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	白磁
1537	磁器皿	口径 10.1 器高 2.8 底径 6.0	体部直線的に立ち上がる。口縁部やや外反。見込み部と体部内面の境に沈線有り口縁端部口禿。	全面丁寧なナデ。白色透明釉を薄く施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	白磁
1538	磁器皿	口径 8.6 器高 2.85 底径 5.8	底部よりやや内彎しながら立ち上がる。口縁端部はやや丸い。	底部回転糸切り後、丁寧なナデ。口縁端部の釉を掻き取る。体部は白色釉を施す。	砂粒を多く含む。	素地灰白色	白磁
1539	磁器皿	底径 5.3	底部よりほぼ直線的に立ち上がる。	体部は丁寧なロクロナデ。白色釉を施す。	精良。	素地灰色	白磁
1540	磁器皿	口径 11.8	体部やや内彎。口縁端部はやや尖る。口縁端部口禿。	全面に淡緑色釉を施す。	微砂粒を含む。	素地灰色	白磁

第99表 出土遺物観察表 土器・陶磁器 (83)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1541	磁器皿	口径 11.6	体部やや内彎。口縁端部はやや外反し、先端丸い。口縁端部口禿。	内外面とも丁寧なロクロナデ。白色釉を施す。	精良。	素地灰白色	白磁
1542	磁器皿	口径 10.9	体部やや内彎。口縁端部はやや外反。口縁部内面口禿。	全体的に丁寧なロクロナデ。口縁端部以外、淡黄緑色釉を施す。	精良。	素地灰色	白磁
1543	磁器皿	口径 11.3	口縁部やや外反。口縁端部はやや尖る。口禿。	全体的に丁寧なロクロナデ。白色釉を薄めに施す。	微細な黒粒を少量含む。	素地灰白色	白磁
1544	磁器皿	口径 9.5	体部直線的に伸びる。口縁端部は口禿。	白色釉を施す。	砂粒を多く含む。	素地灰白色	白磁
1545	磁器皿	口径 11.6	体部ほぼ直線的。口縁端部は尖り気味で、口禿。	全面に白色透明釉を施す。	精良。	素地灰白色	白磁
1546	磁器皿	口径 14.2	口縁部外反。口縁端部はやや丸く、口禿。	全体的に丁寧なロクロナデ。白色釉を施す。	精良	素地灰色	白磁
1547	磁器皿	口径 11.5	口縁部外反。口縁端部はやや尖り気味で、口禿。	全体的に丁寧なロクロナデ。白色釉を施す。	精良	素地灰色	白磁
1548	磁器皿	口径 14.6	体部やや内彎。口縁端部は大きく外反し、先端丸い。口縁部口禿。	内外面丁寧なロクロナデ。	精良	素地灰白色	白磁
1549	磁器碗	底径 5.6	高台断面逆台形状で、やや低い。	全体的に丁寧なロクロナデ。灰色味を帯びた白色透明釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰色	白磁
1550	磁器碗	底径 5.0	底部よりやや直線的に立ち上がる。断面逆台形状の高台を持つ。	体部下位、底部外面施釉されない。	微砂粒を多く含む。	素地灰白色	白磁
1551	磁器碗	底径 5.9	高台断面逆台形状が高い。	全体的に丁寧なロクロナデ。体部内外面全体に灰色味を帯びた白色透明釉を施す。	微細な黒粒を含む。	素地灰白色	白磁
1552	磁器合子	口径 7.8	体部は球形状。体部外面に縦位の沈線をめぐらす。	口縁端部の釉を掻き取る。体部外面下位は施釉されていない。	精良	素地灰白色	白磁

第100表 出土遺物観察表 土製品 (1)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1553	土師質土錘	長さ 4.8 胴径 1.35 重さ 7.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	明褐色	
1554	土師質土錘	長さ 4.7 胴径 1.5 重さ 8.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	淡黄色	
1555	土師質土錘	残存長 4.8 胴径 1.3 重さ 7.6g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を少量含む。	淡赤橙色	
1556	土師質土錘	長さ 4.7 胴径 1.45 重さ 7.8g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を含む。	赤灰色	
1557	土師質土錘	長さ 4.7 胴径 1.6 重さ 10.2g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい赤褐色	

第101表 出土遺物観察表 土製品 (2)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1558	土師質土錘	長さ 4.85 胴径 1.6 重さ 8.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰色	
1559	土師質土錘	長さ 4.6 胴径 1.2 重さ 6.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	砂粒を多く含む。	明赤褐色	
1560	土師質土錘	長さ 4.9 胴径 1.5 重さ 11.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	にぶい橙色	
1561	土師質土錘	長さ 5.8 胴径 1.6 重さ 10.1 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を少量含む。	にぶい橙色	
1562	土師質土錘	長さ 4.9 胴径 1.55 重さ 9.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	浅黄橙色	
1563	土師質土錘	長さ 5.0 胴径 1.0 重さ 4.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	浅黄色	
1564	土師質土錘	長さ 5.0 胴径 1.2 重さ 8.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	淡赤橙色	
1565	土師質土錘	長さ 5.1 胴径 1.6 重さ 12.4 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
1566	土師質土錘	長さ 5.3 胴径 1.5 重さ 9.0 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエ後ナデ。	微砂粒を多く含む。	灰色	
1567	土師質土錘	長さ 5.4 胴径 1.6 重さ 11.3 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰白色	
1568	土師質土錘	長さ 5.5 胴径 1.7 重さ 11.2 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	暗赤灰色	
1569	土師質土錘	長さ 4.8 胴径 1.0 重さ 3.8 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエ痕残る。	精良。	にぶい橙色	
1570	土製品土錘	長さ 5.5 胴径 1.0 重さ 5.5 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエ後ナデ。	精良。	淡黄色	
1571	土師質土錘	長さ 4.9 胴径 1.1 重さ 3.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	明赤褐色	
1572	土師質土錘	長さ 4.9 胴径 0.8 重さ 3.4 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	淡橙色半分 黒色	
1573	土師質土錘	長さ 4.6 胴径 1.35 重さ 7.6 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1574	土師質土錘	長さ 6.1 胴径 1.9 重さ 3.78 g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。ユビオサエ後、丁寧なナデ。	微砂粒を多く含む。	灰白色	

第102表 出土遺物観察表 土製品 (3)

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
1575	土師質土錘	長さ 6.2 胴径 1.35 重さ 8.7g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	暗赤灰色	
1576	土師質土錘	長さ 6.8 胴径 1.8 重さ 18.0g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1577	瓦質土錘	長さ 3.2 胴径 0.9 重さ 3.1g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデ。	精良	灰白色	
1578	瓦質土錘	長さ 4.5 胴径 0.95 重さ 4.6g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	微砂粒を多く含む。	灰色	
1579	瓦質土錘	長さ 5.56 胴径 1.3 重さ 4.8g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にナデを施す。	微砂粒を少量含む。	灰色	
1580	瓦質土錘	長さ 4.9 胴径 1.1 重さ 4.8g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。	精良。	灰白色	
1581	土師質土錘	長さ 8.4 胴径 3.4 重さ 82.14g	紡錘形の管状土錘。	棒に粘土を巻き付けて成形。全体にユビオサエ。	微砂粒を多く含む。	淡赤橙色	
1582	土師質土錘	長さ 4.75 胴径 3.9 重さ 63.16g	中央部に溝を持つ。 (有溝土錘)	外面丁寧なナデ。ユビオサエ後丁寧なナデ。	砂粒を多く含む。	橙色	

第103表 出土遺物観察表 金属製品 (1)

番号	器種	法量				備考
		長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	
157	鉄鍋	口径=16.1				
162	鉄釘	3.8	0.5	0.65	4.49	
163	鉄釘	3.1	0.25	0.25	1.17	
164	鉄釘	3.65	0.5	0.4	1.43	
165	鉄釘	2.6	0.4	0.55	2.75	
166	鉄釘	5.7	0.45	0.45	5.02	
167	鉄釘	2.1	0.4	0.3	0.76	
195	鉄釘	3.9	0.3	0.3	2.85	
196	鉄釘	2.1	0.3	0.3	0.74	
208	鉄釘	2.3	0.4	0.55	1.30	
209	鉄釘	2.4	0.4	0.35	1.53	
210	鉄釘	2.6	0.25	0.3	0.52	

第104表 出土遺物觀察表 金屬製品 (2)

番号	器種	法 量				備 考
		長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	
239	鉄釘	3.3	0.5	0.15	3.79	
245	鉄釘	4.6	0.65	0.8	5.47	
287	鉄釘	2.52	—	—	3.56	
349	鉄釘	3.7	0.45	0.55	3.85	
401	鉄釘	3.9	0.4	0.7	4.00	
526	鉄釘	3.6	0.25	0.35	2.64	
527	鉄釘	4.9	0.4	0.2	4.12	
528	鉄釘	2.3	0.35	0.25	1.26	
529	鉄釘	2.1	0.25	0.2	1.28	
530	鉄釘	2.4	0.3	0.25	1.49	
600	鉄釘	3.8	0.45	0.4	2.93	
605	鉄釘	3.2	0.45	0.4	4.45	
685	鉄釘	2.3	0.35	0.45	1.48	
686	鉄釘	4.25	0.3	0.3	3.29	
687	鉄釘	4.35	0.45	0.3	1.56	
703	鉄釘	7.6	0.3	0.4	3.07	
705	鉄釘	2.8	0.3	0.3	1.42	
718	鉄釘	5.8	0.35	0.35	4.96	
720	銅錢	2.46	—	—	3.33	「元豐通宝」
721	銅錢	2.40	—	—	3.29	「熙寧元宝」
727	鉄釘	3.3	0.2	0.2	1.02	
728	鉄釘	4.0	0.4	0.35	2.79	
729	鉄釘	4.15	0.4	0.4	1.06	
808	銅錢	2.54	—	—	2.62	「景祐元宝」
908	銅製仏具	口径=3.9 器高=1.2 高台底径=2.2				
1030	銅錢	2.43	—	—	3.02	「景德元宝」
1031	銅錢	2.50	—	—	3.35	「景祐元宝」

第105表 出土遺物觀察表 金属製品 (3)

番号	器種	法 量				備 考
		長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	
1032	銅錢	2.51	—	—	2.70	「皇宋通宝」
1033	銅錢	2.46	—	—	3.33	「熙寧元宝」
1034	銅錢	2.42	—	—	2.42	「元祐通宝」
1035	銅錢	2.30	—	—	2.21	「元符通宝」
1036	銅錢	2.50	—	—	3.27	「政和通宝」
1583	銅製品和鏡	7.80	—	—	—	
1584	青銅製筭	18.1	—	—	—	
1585	銅製品	3.40	—	—	—	外面煤付着
1586	青銅製飾り金具	2.32	—	—	—	
1587	黄銅製把手	7.11	—	—	13.55	
1588	鉄釘	4.6	0.4	0.5	7.6	
1589	鉄釘	3.4	0.55	0.45	3.29	
1590	鉄釘	4.9	0.4	0.2	3.41	
1591	鉄釘	3.7	0.4	0.4	3.27	
1592	鉄釘	4.10	0.45	0.5	2.82	
1593	銅錢	2.32	—	—	2.32	「開元通宝」
1594	銅錢	2.40	—	—	2.84	「開元通宝」
1595	銅錢	2.50	—	—	1.69	「宋通元宝」
1596	銅錢	(2.35)	—	—	1.18	「太平通宝」
1597	銅錢	2.50	—	—	4.01	「至道元宝」
1598	銅錢	2.11	—	—	1.73	「至道元宝」
1599	銅錢	2.43	—	—	2.64	「咸平元宝」
1600	銅錢	(2.30)	—	—	0.93	「咸平元宝」
1601	銅錢	2.51	—	—	2.57	「祥符通宝」
1602	銅錢	2.46	—	—	3.08	「祥符通宝」
1603	銅錢	2.20	—	—	1.75	「祥符通宝」
1604	銅錢	2.70	—	—	2.64	「祥符元宝」

第106表 出土遺物觀察表 金屬製品 (4)

番号	器種	法 量				備 考
		長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	
1605	銅錢	2.49	—	—	1.44	「天禧通寶」
1606	銅錢	2.51	—	—	2.80	「天聖元寶」
1607	銅錢	2.51	—	—	3.48	「皇宋通寶」
1608	銅錢	2.49	—	—	3.12	「皇宋通寶」
1609	銅錢	2.50	—	—	2.82	「皇宋通寶」
1610	銅錢	2.40	—	—	3.15	「嘉祐元寶」
1611	銅錢	2.50	—	—	3.14	「嘉祐元寶」
1612	銅錢	2.40	—	—	2.94	「嘉祐元寶」
1613	銅錢	2.40	—	—	3.73	「嘉祐元寶」
1614	銅錢	2.41	—	—	3.23	「熙寧元寶」
1615	銅錢	2.42	—	—	3.01	「熙寧元寶」
1616	銅錢	2.42	—	—	3.57	「熙寧元寶」
1617	銅錢	2.43	—	—	3.07	「景德元寶」
1618	銅錢	2.43	—	—	3.02	「景德元寶」
1619	銅錢	2.40	—	—	3.06	「元豐通寶」
1620	銅錢	2.23	—	—	1.70	「元豐通寶」
1621	銅錢	2.52	—	—	3.56	「元豐通寶」
1622	銅錢	2.43	—	—	2.79	「元豐通寶」
1623	銅錢	2.41	—	—	2.95	「元祐通寶」
1624	銅錢	2.32	—	—	3.12	「紹聖元寶」
1625	銅錢	2.50	—	—	2.91	「紹聖元寶」
1626	銅錢	2.40	—	—	2.24	「紹聖元寶」
1627	銅錢	2.51	—	—	3.66	「聖宋元寶」
1628	銅錢	2.41	—	—	3.30	「聖宋元寶」
1629	銅錢	2.48	—	—	2.89	「政和通寶」
1630	銅錢	2.41	—	—	2.82	「政和通寶」
1631	銅錢	2.41	—	—	2.46	「洪武通寶」

第107表 出土遺物観察表 金属製品 (5)

番号	器種	法 量				備 考
		長 (cm)	幅 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	
1632	銅銭	2.20	—	—	1.30	銭種不明
1633	銅銭	2.40	—	—	2.42	銭種不明
1634	銅銭	2.30	—	—	2.01	銭種不明

第108表 出土遺物観察表 石製品

番号	器種	法量 (cm)	形態の特徴	成形・技法	胎土	色調	備考
639	石鍋	口径 18.4	体部内彎。直立気味の口縁部に部厚い鏝が水平に付く口縁端部は丸い。	内面丁寧な削りを施し器面を平滑に仕上げる。		灰色	外面全体に煤付着 滑石製
640	石製品	径 3.4	球状の石。やや歪に仕上げるが、表面は滑らかである。		砂粒を多く含む。	暗灰色	
833	砥石	長さ 9.9 幅 4.0 厚さ 0.7	長方形で全面平らに磨かれる。表面平滑。		精良。	にぶい黄橙色	
899	石鍋	底径 17.1	底部より直線的に立ち上がる。	内外面共、ノミ状工具で調整。		黒色	滑石製
911	砥石	長さ 8.8 幅 7.2 厚さ 4.7	平面、断面とも不整な方形中央部凹む。			灰白色	2面使用
958	砥石	長さ 9.4 幅 2.4 厚さ 6.0	平面断面長方形。			浅黄橙色	2面使用
1029	砥石	長さ 5.9 幅 4.6 厚さ 0.8	長方形で全面平らに磨かれる。表面平滑。		微砂粒を多く含む。	にぶい橙色	
1038	磨製石斧	残存長10.5 最大幅 4.4 最大厚 3.3 重さ 169.8g	柱状片刃石斧。			暗オリーブ灰色	
1635	石鍋	口径 21.4	体部やや内彎。鏝部水平方向に張り出す。口縁端部は平坦。	ノミ状工具による削り。	砂粒を多く含む。	灰色	滑石製
1636	石鍋	底径 18.6	体部下部やや内彎。底部平坦。内面平滑。外面やや凹凸有り。	ノミ状工具による削り。		黒色	滑石製 外面に煤付着
1637	石鍋	底径 17.2	体部下部やや内彎。底部平底。内面平滑。	ノミ状工具による削り。		黒色	滑石製 外面に煤付着
1638	石鍋	口径 25.4	断面不等辺台形状の鏝が削り出される。	ノミ状工具による削り。		黒色	滑石製
1639	砥石	長さ 5.2 幅 5.1 厚さ 3.1	断面台形状。三面平滑。		砂粒を多く含む。	浅黄橙色	
1640	硯	残存長 4.7 幅 6.0 厚さ 0.6	底部欠損。方形で浅い縁を持つ。			灰色	

第109表 出土遺物観察表 木製品

番号	器種	法 量 (cm)	備 考
317	ハケ	長= 7.5 幅= 2.2 厚= 0.1	漆付着
318	刀形	長=(13.3) 幅= 1.2 厚= 0.5	
319	漆椀	口径= 15.2 器高= 7.3 高台底径= 7.3	
320	碗蓋	縦= 13.4 横=10.0 厚= 0.8	裏面墨付着
321	板塔婆	長=(68.4) 幅= 4.5 厚= 0.5	一部墨痕
398	串状木製品	長= 20.6 径= 0.5	
399	串状木製品	長=(14.8) 径= 0.6	
400	串状木製品	長=(12.6) 径= 0.7	
420	呪符木簡	長=(7.5) 幅= 2.0 厚= 0.2	両面墨書
421	将棋の駒	長= 3.1 駒尻幅= 1.6 厚= 0.4~0.6	「歩兵」
1060	曲物	長=(18.4) 最大幅= 2.4 厚= 0.4	
1063	柄杓底板	長=(9.0) 厚= 0.8	

() は残存の法量を示す。



圖 版



(1) 調査前風景 (A・B調査区) 北より



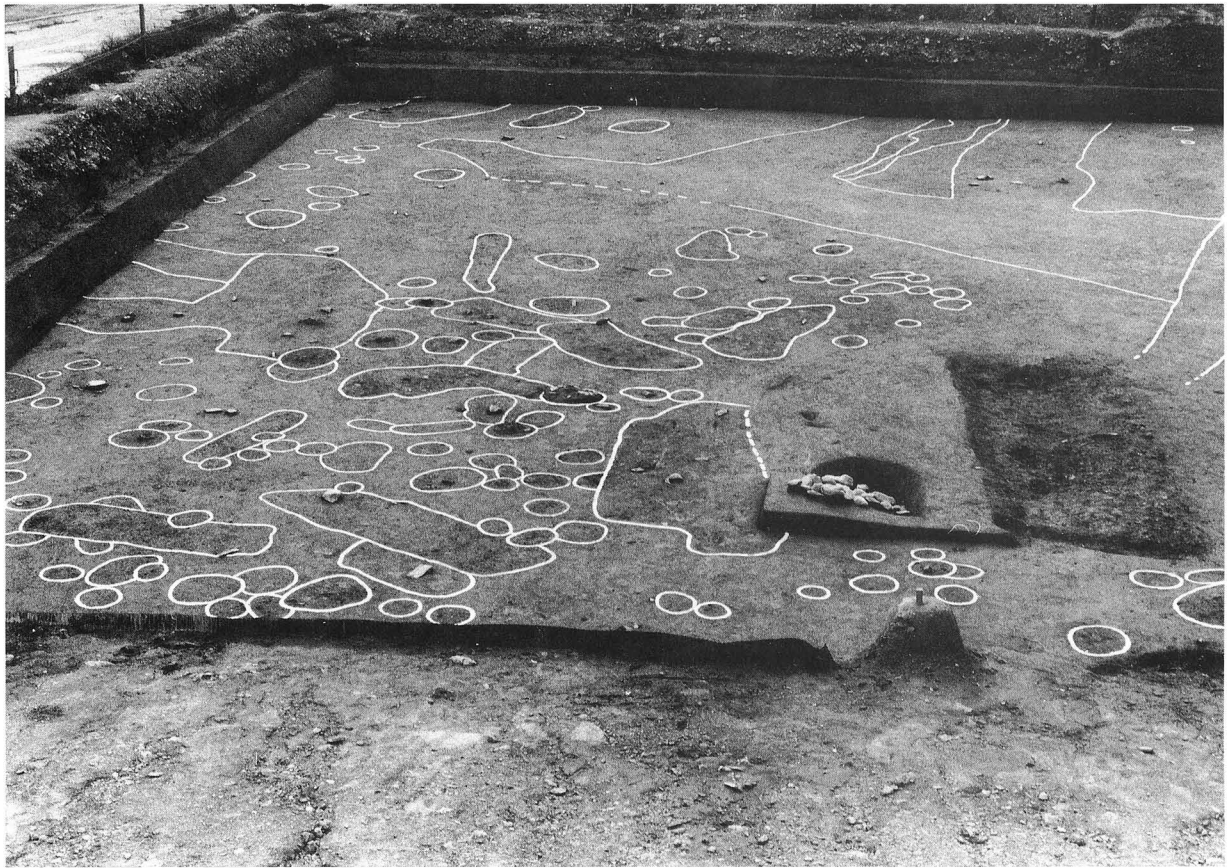
(2) 調査前風景 (C調査区) 東より



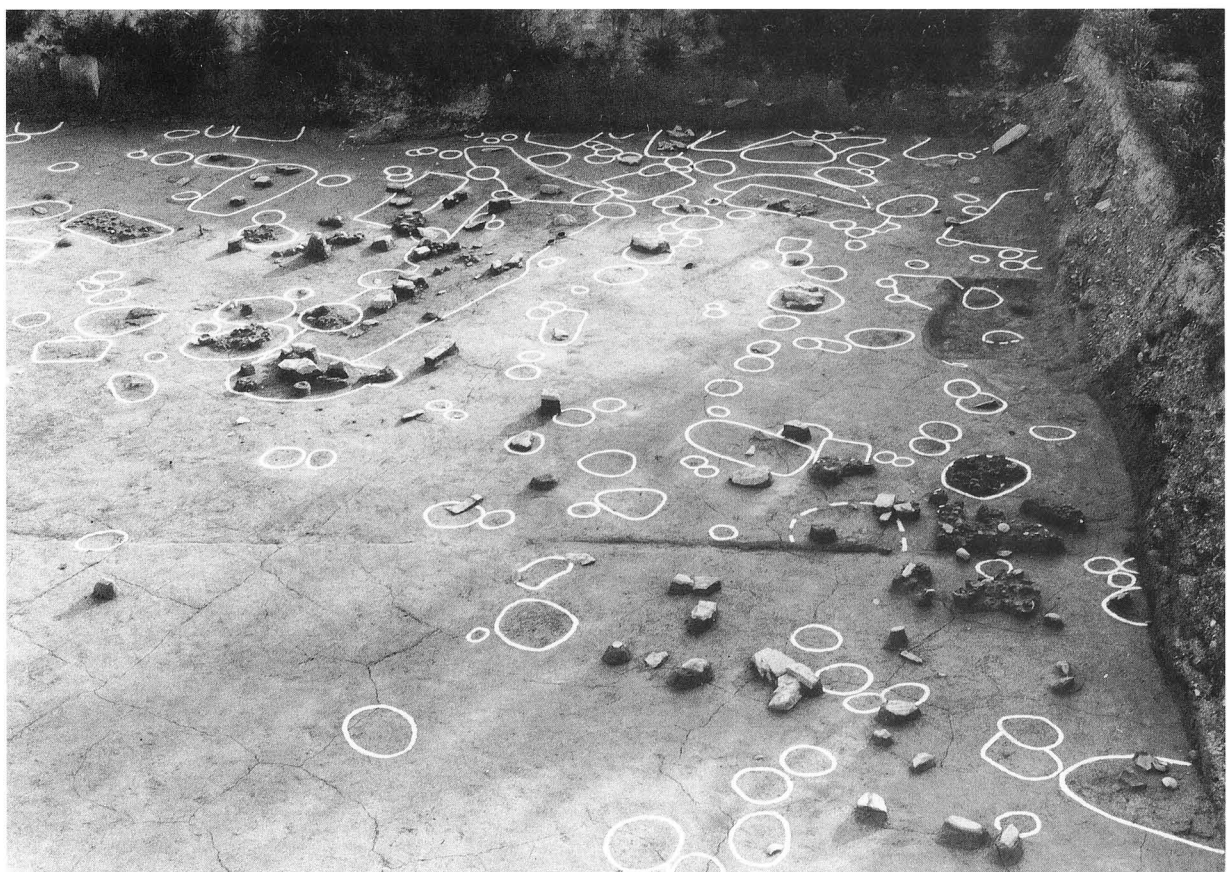
(1) 調査前風景 (F調査区) 東より



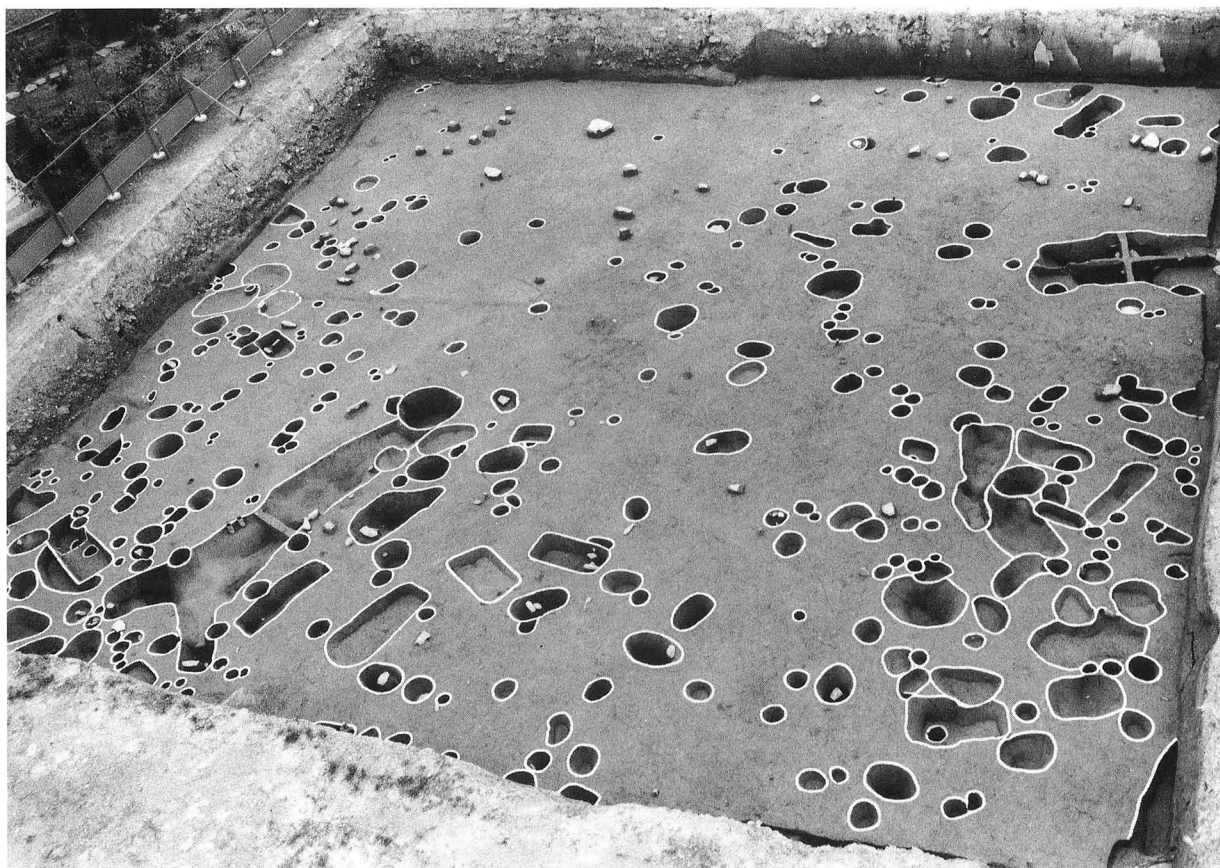
(2) 土層断面 (B区南壁)



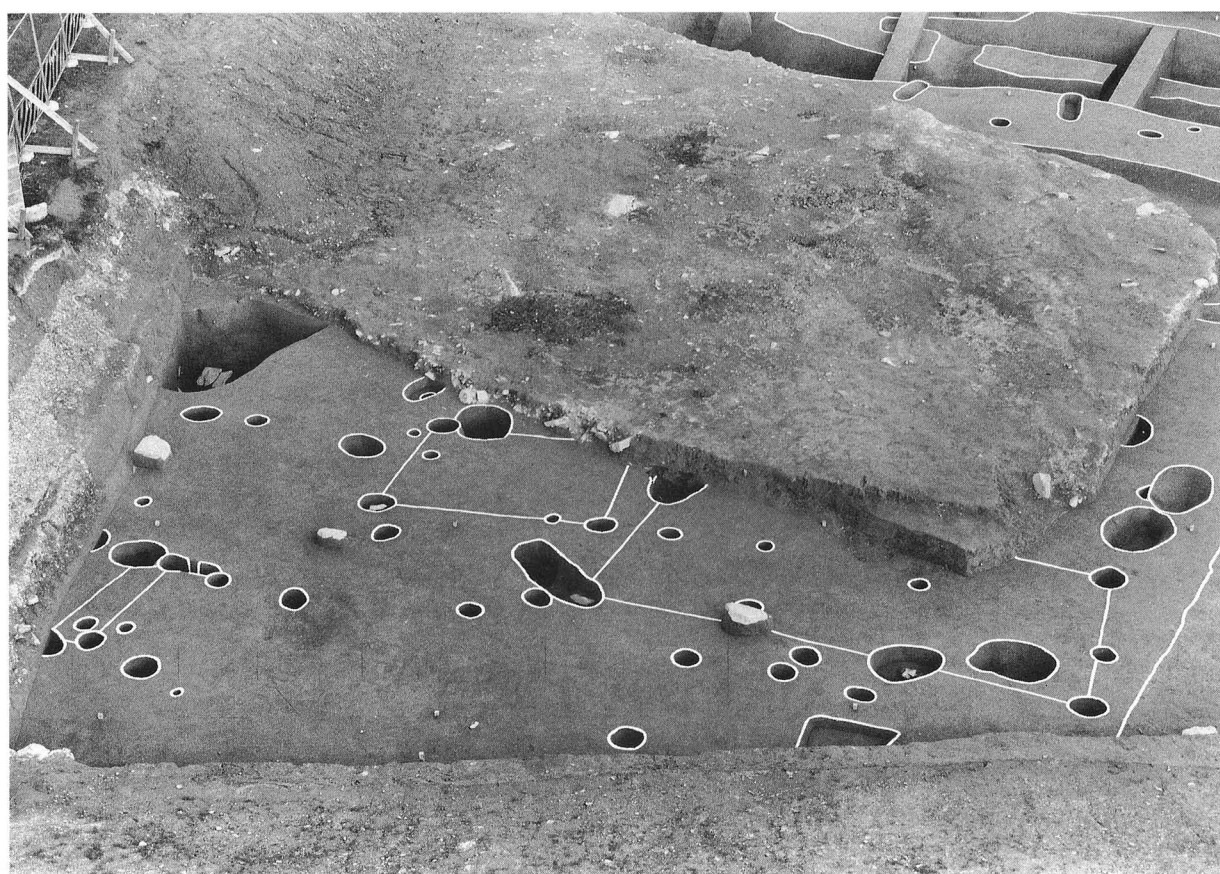
(1) 第3遺構面 遺構検出状況 (A調査区)



(2) 第3遺構面 遺構検出状況 (B調査区)



(1) 第3遺構面 遺構完掘状況 (B調査区)



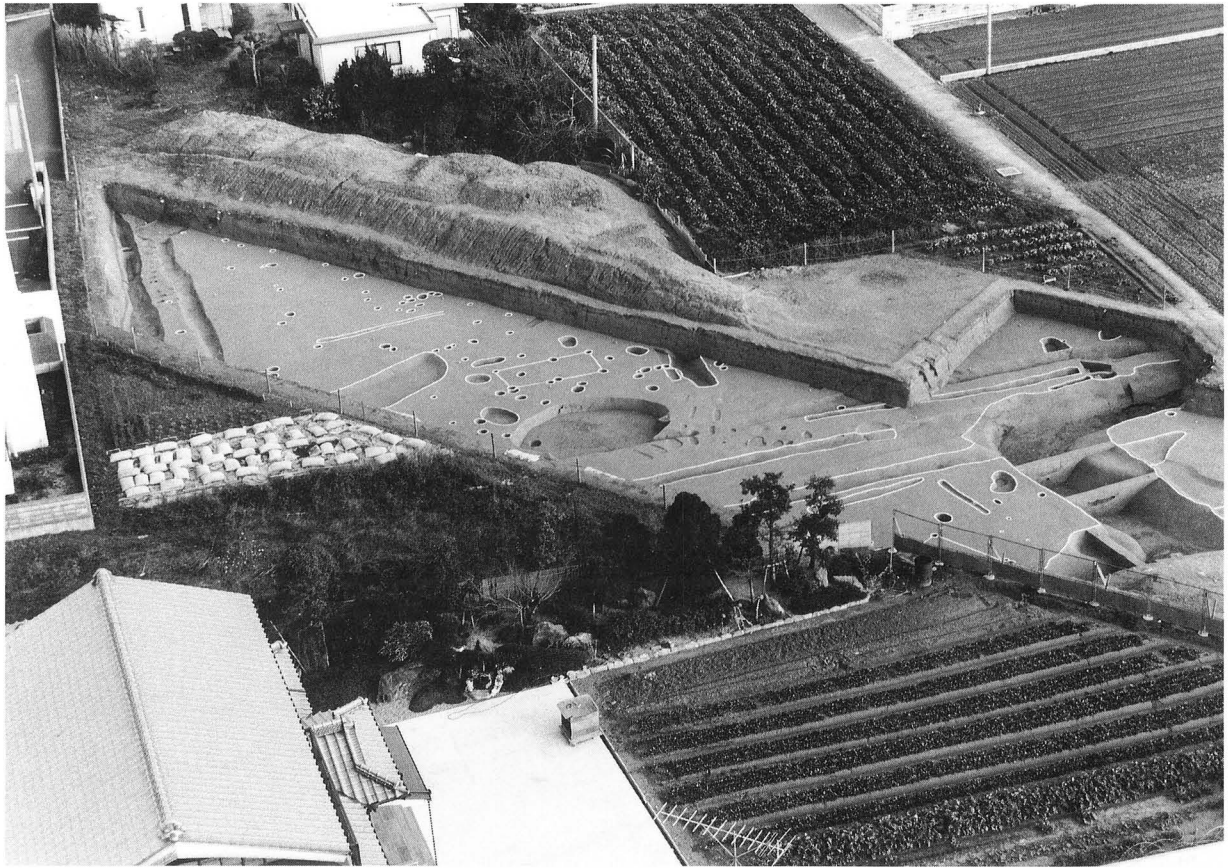
(2) 第3遺構面 遺構完掘状況 (C調査区)



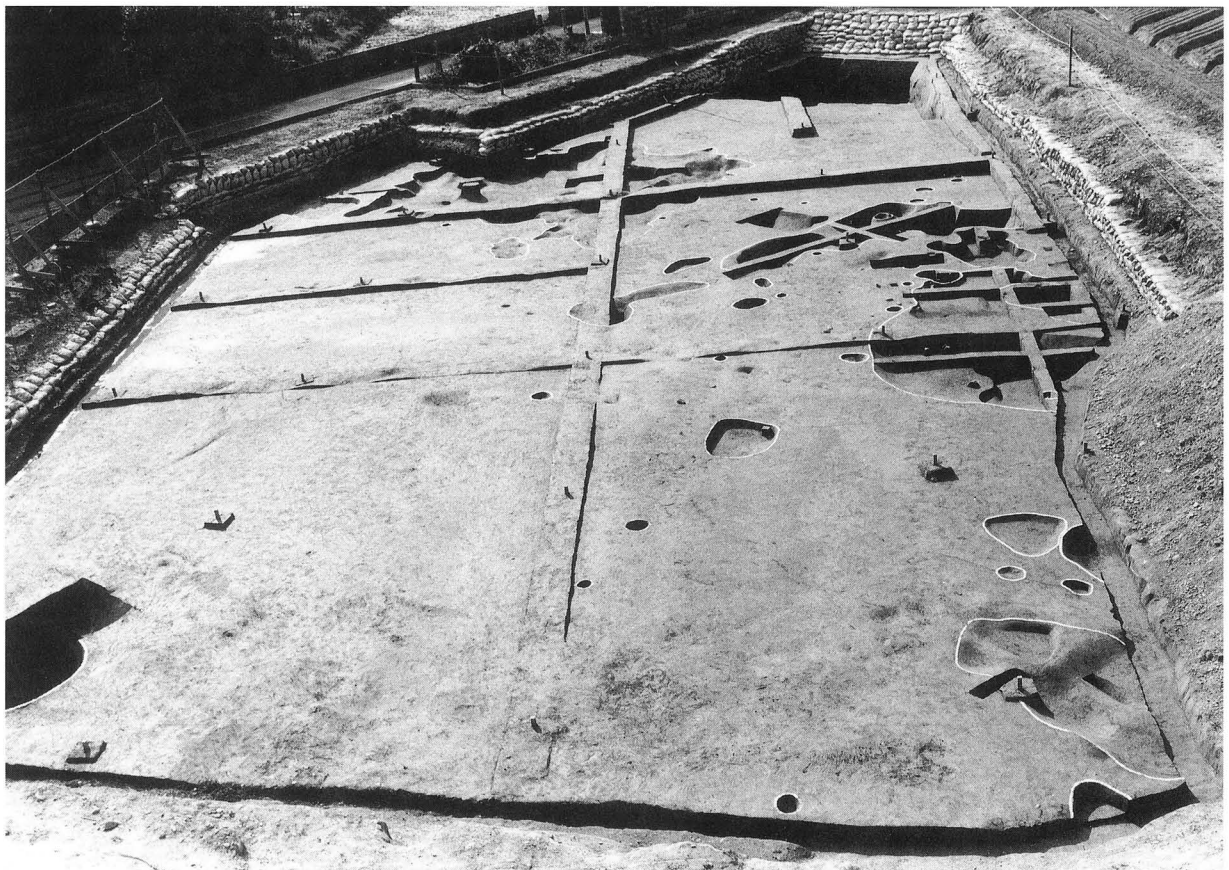
(1) 第3遺構面 遺構完掘状況 (C調査区) 北より



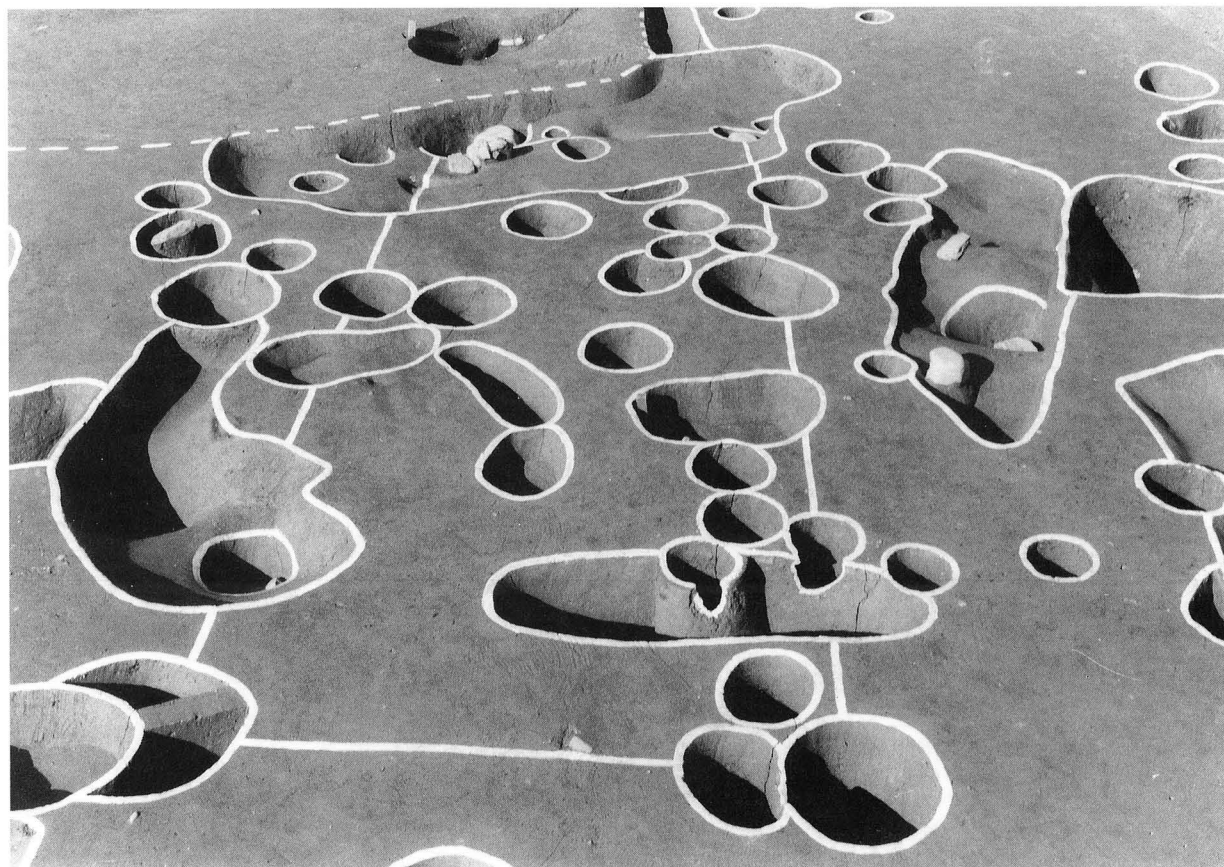
(2) 第3遺構面 遺構完掘状況 (C・D調査区) 西より



(1) 第3遺構面 遺構完掘状況 (D調査区) 北より



(2) 第3遺構面 遺構完掘状況 (F調査区) 西より



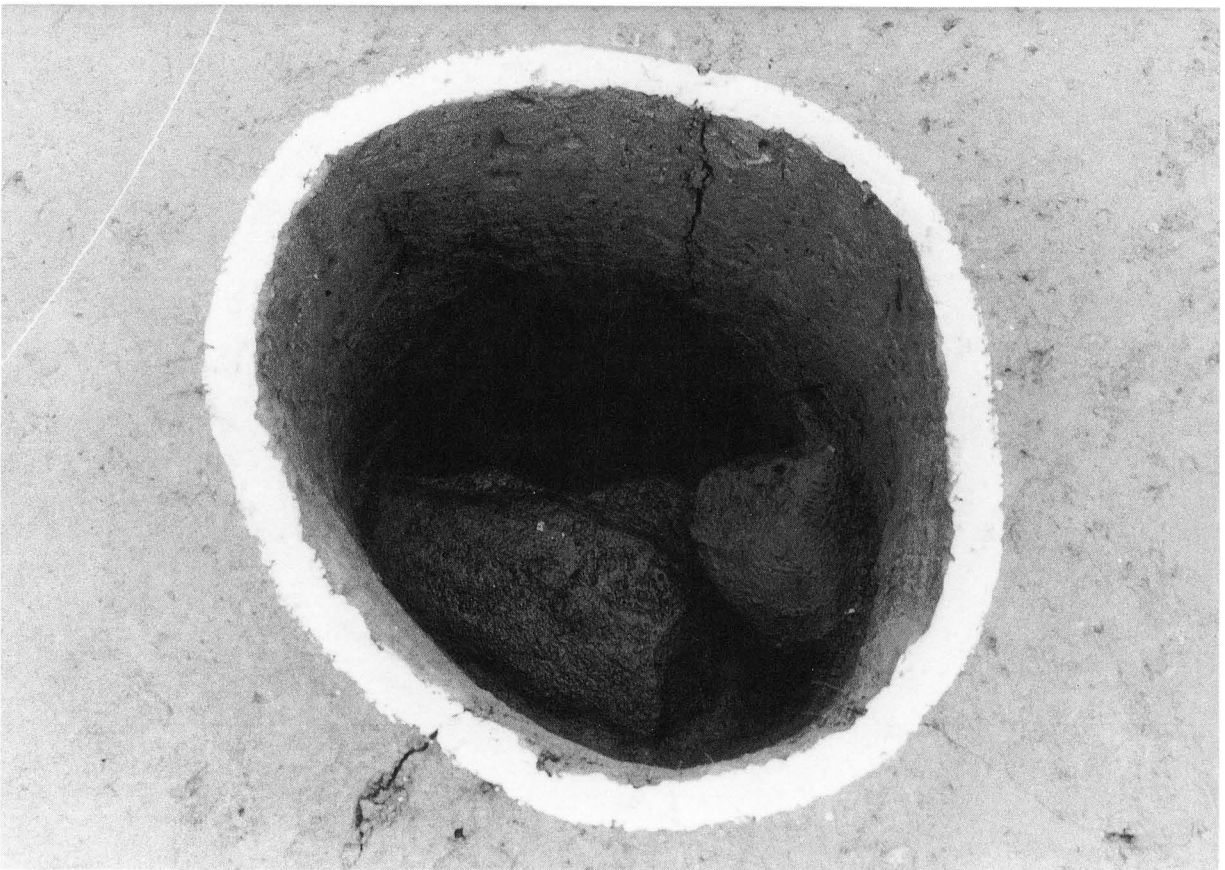
(1) SA3003完掘状況



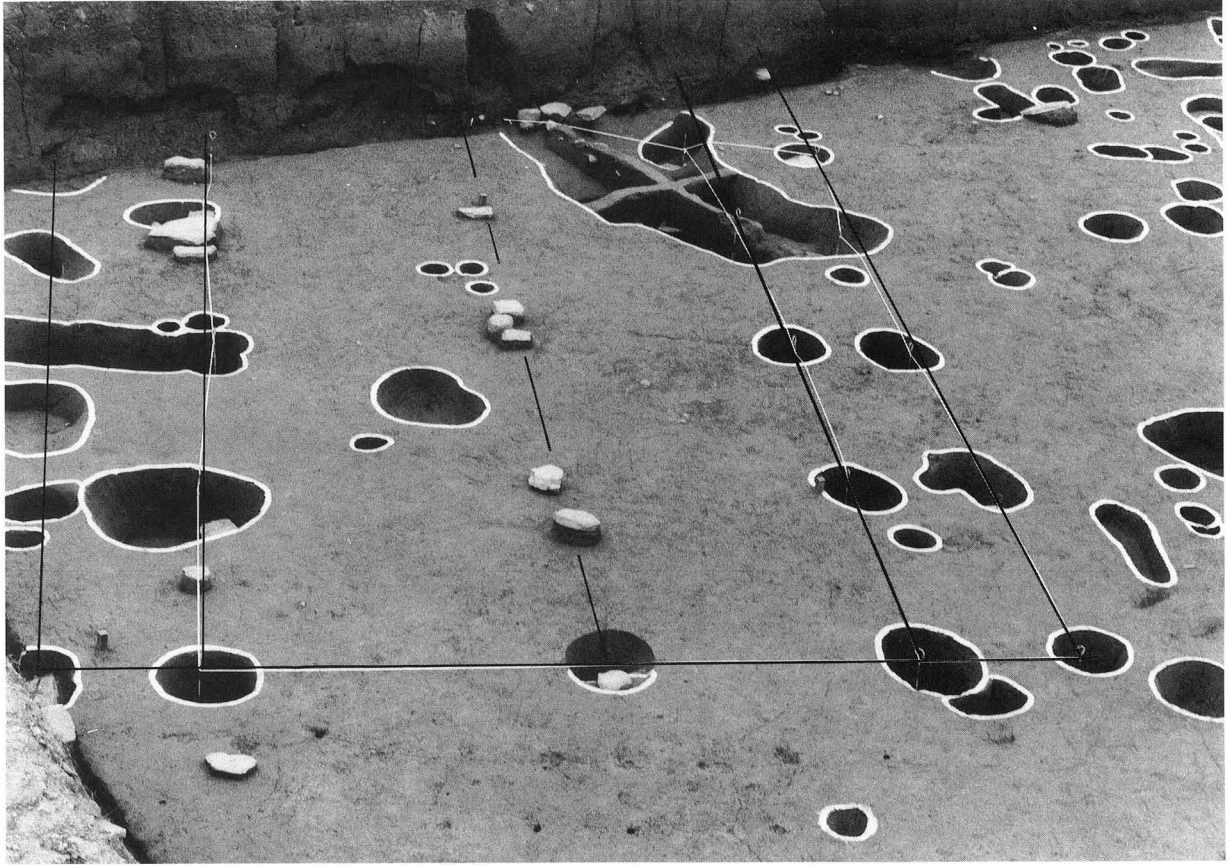
(2) SA3003内柱穴 柱根・根石出土状況



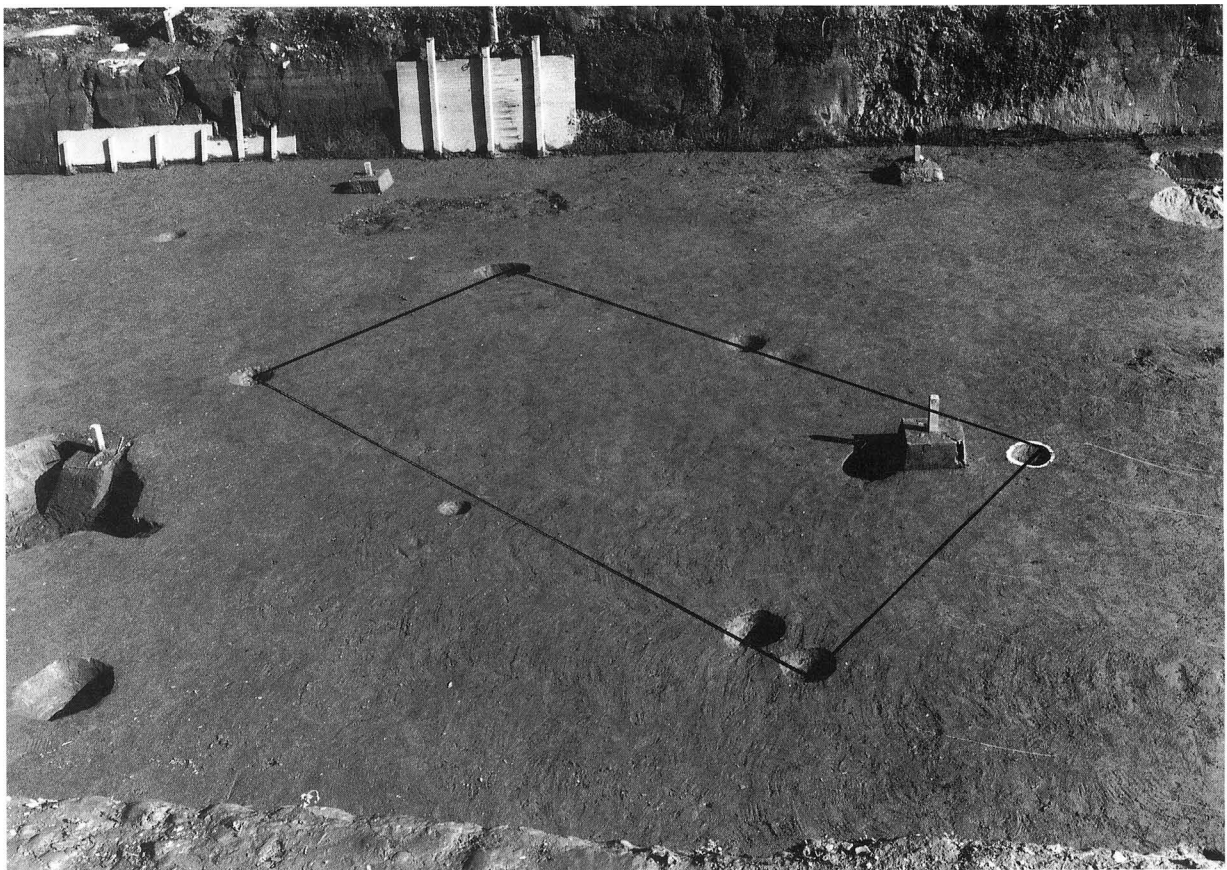
(1) SA3007内柱穴 根石出土状况



(2) SA3007内柱穴 根石出土状况



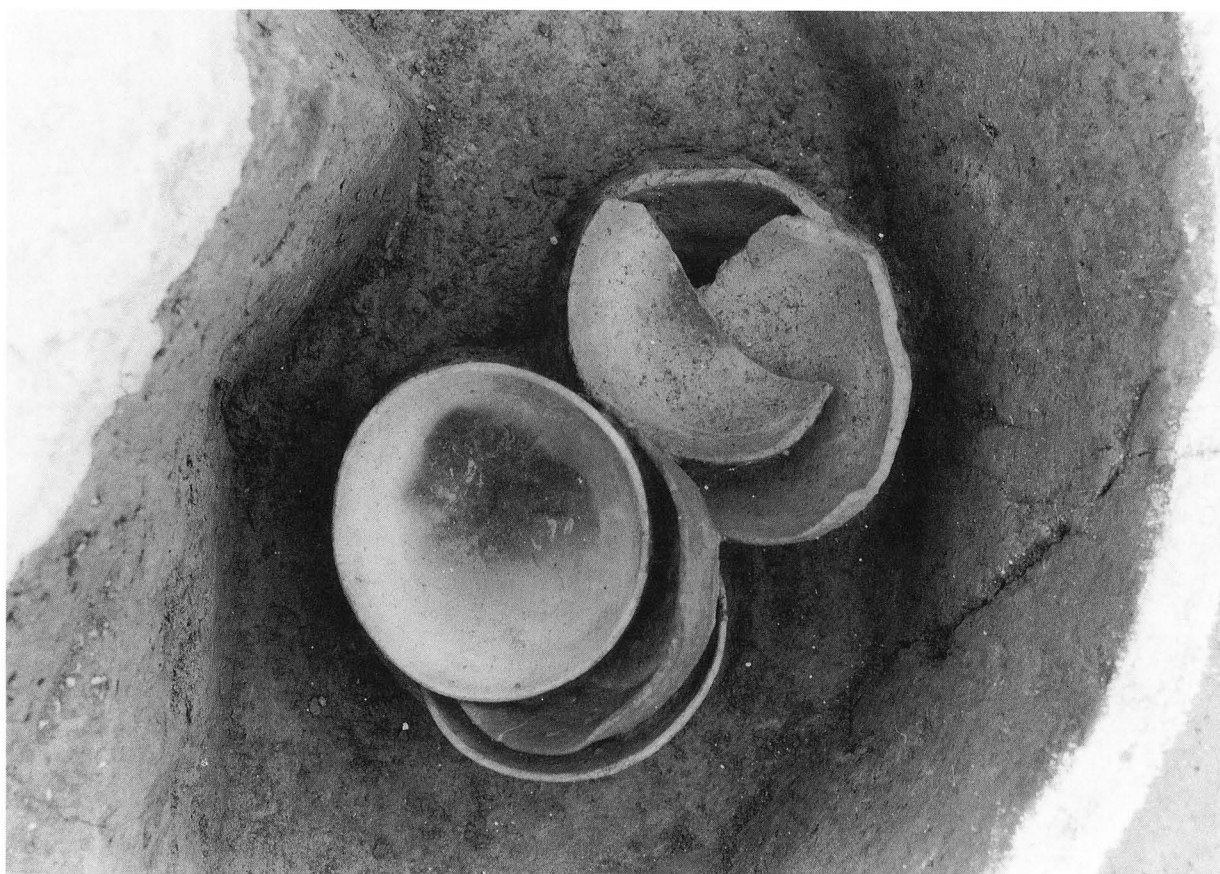
(1) SA3007完掘状况



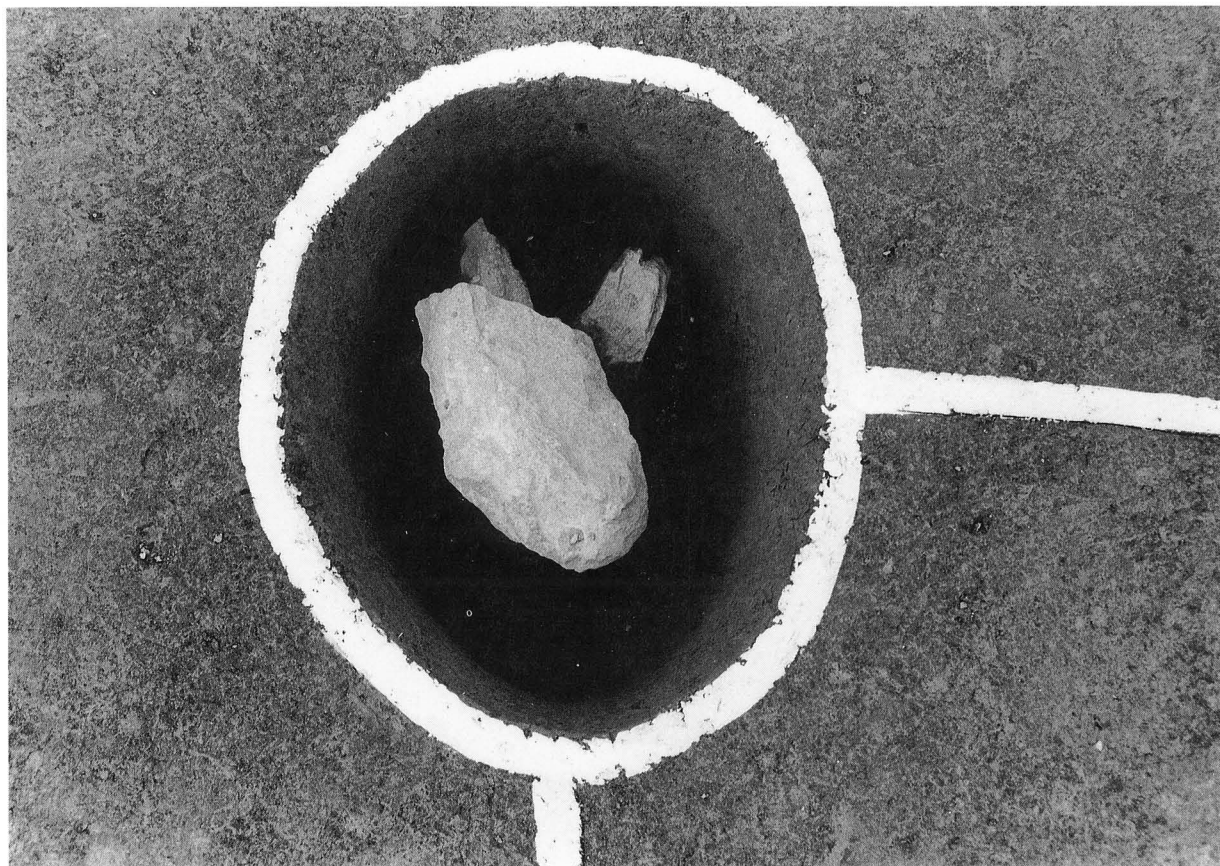
(2) SA3014完掘状况



(1) SA3005内柱穴 遺物出土状況 (SP3100)



(2) SP3100遺物出土状況



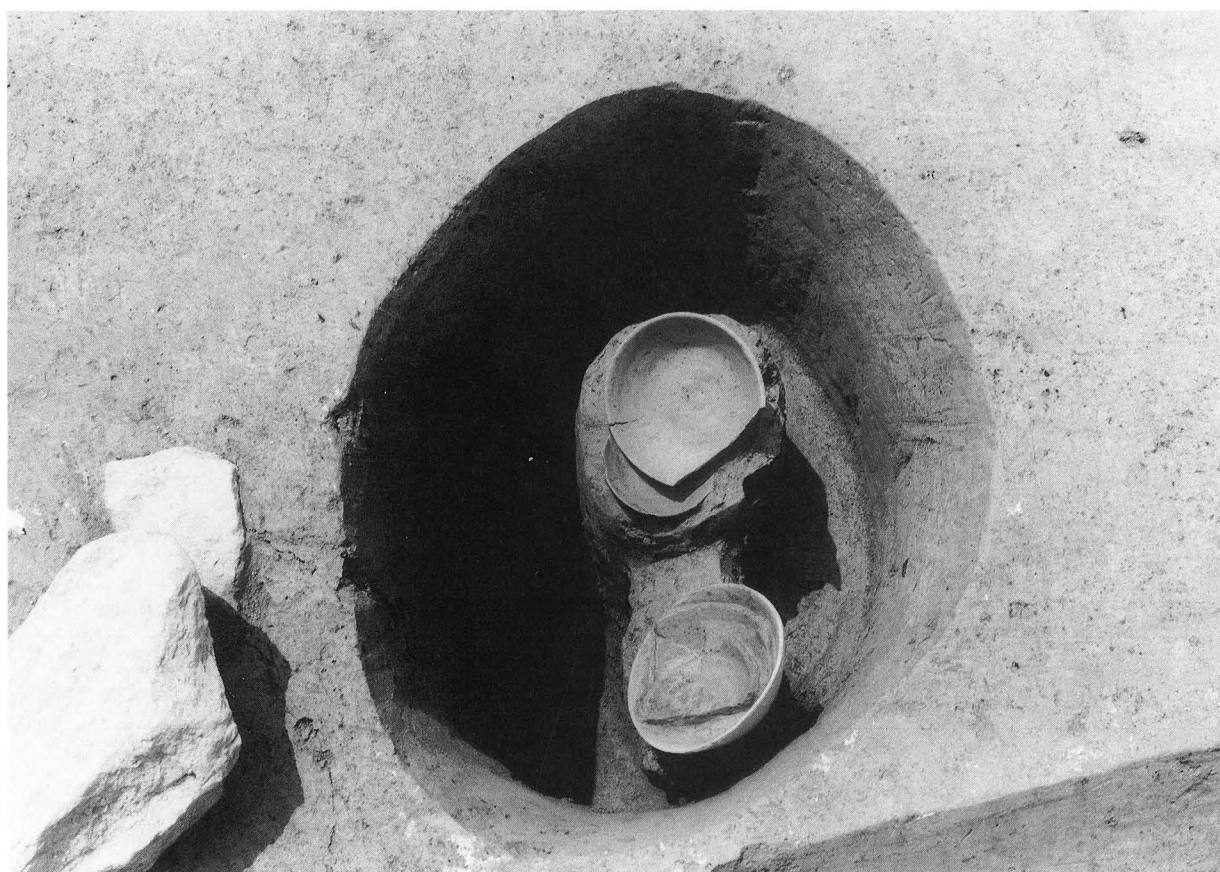
(1) SA3006内柱穴 根石検出状況



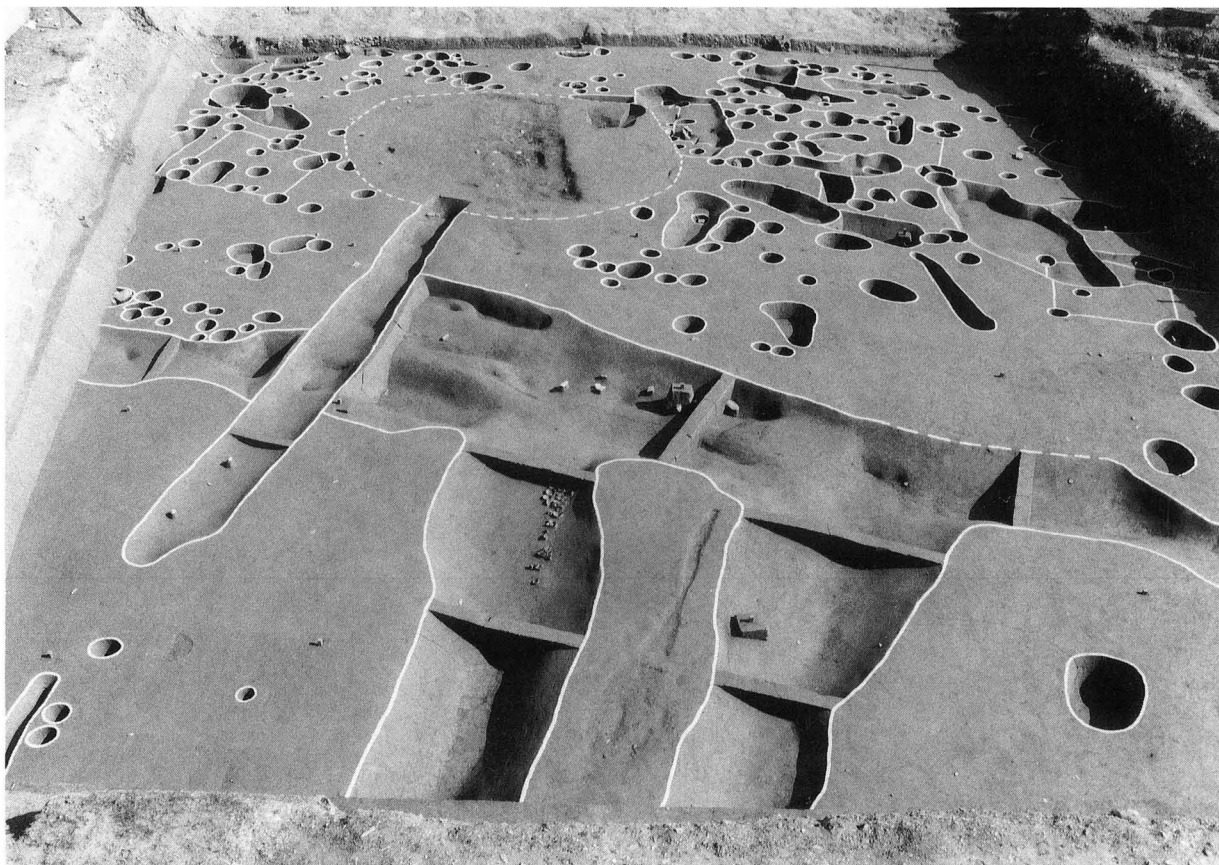
(2) SK3028集石検出状況



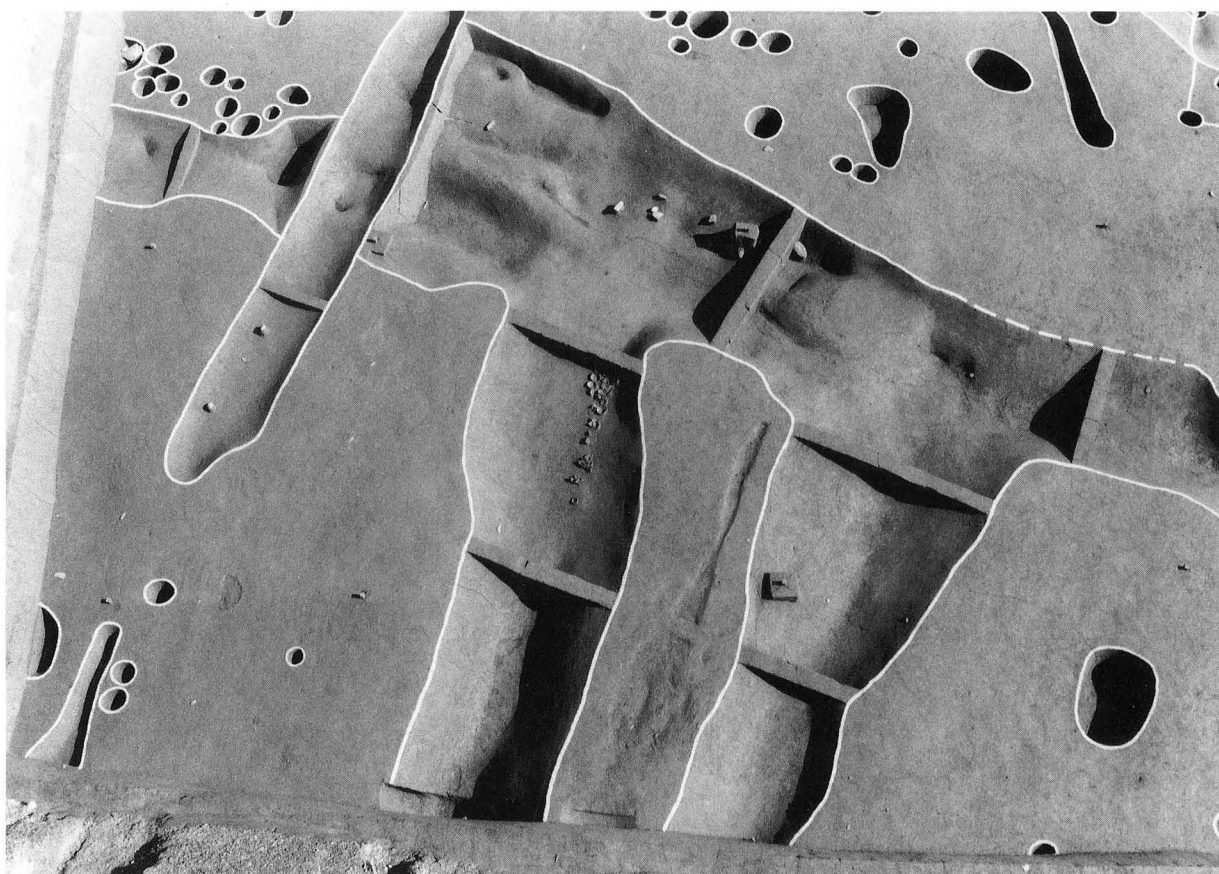
(1) SP3130遺物出土状況 東より



(2) SP3130遺物出土状況 (石除去後) 南より



(1) 第3遺構面 遺構完掘状況 (A調査区) 西より



(2) SD3005~SD3009 完掘状況



(1) SD3020 (SD3020-1・3020-2) 完掘状況 南より



(2) SD3020土層堆積状況 南より